

## 6.7. 最大浸水深分布の予測結果

### (1) 全割れ地震の予測結果

過去地震最大モデルでは、堤防の耐震対策の効果を反映した結果、浸水深 1cm 以上の浸水面積および浸水深は前回調査（愛知県（2014））よりも大きく減少している。また、名古屋市中村区、名古屋市瑞穂区、名古屋市熱田区、津島市、愛西市、あま市及び阿久比町においては、理論上最大モデルでは浸水が生じるが、過去地震最大モデルでは、浸水が生じない結果となっている。

県全体の浸水面積（浸水深 1cm 以上）は、過去地震最大モデルでは 11,636ha となっている。理論上最大モデルでは、5 ケースの最大値はケース 1 の 34,540ha、最大包絡（5 ケースの浸水結果を重ね合わせた時の最大の浸水深および最大の浸水範囲を示す）は 35,434ha となっている。

各市町村の浸水面積（浸水深 1cm 以上）は、過去地震最大モデルでは、西尾市の 3,988ha が最大となっている。理論上最大モデルでは、ケース 1 における名古屋市の 6,926ha が最大となっている。

各市町村の理論上最大モデルの浸水面積において、ケース 1、6、7、8、9 の全 5 ケースの最大値は、概ねケース 1 あるいはケース 7 によるものである。ケース 1 は、県全体の死者数が最大となるケースであり、ケース 7 は、県全体の全壊・焼失棟数が最大となるケースである。

特にゼロメートル地帯では、津波が収まった後も、堤防等の被災により潮位による浸水が継続し、長期にわたって湛水することが予想される。

なお、ここで示された浸水域や浸水深には、河川等からの浸水によるものも含む。

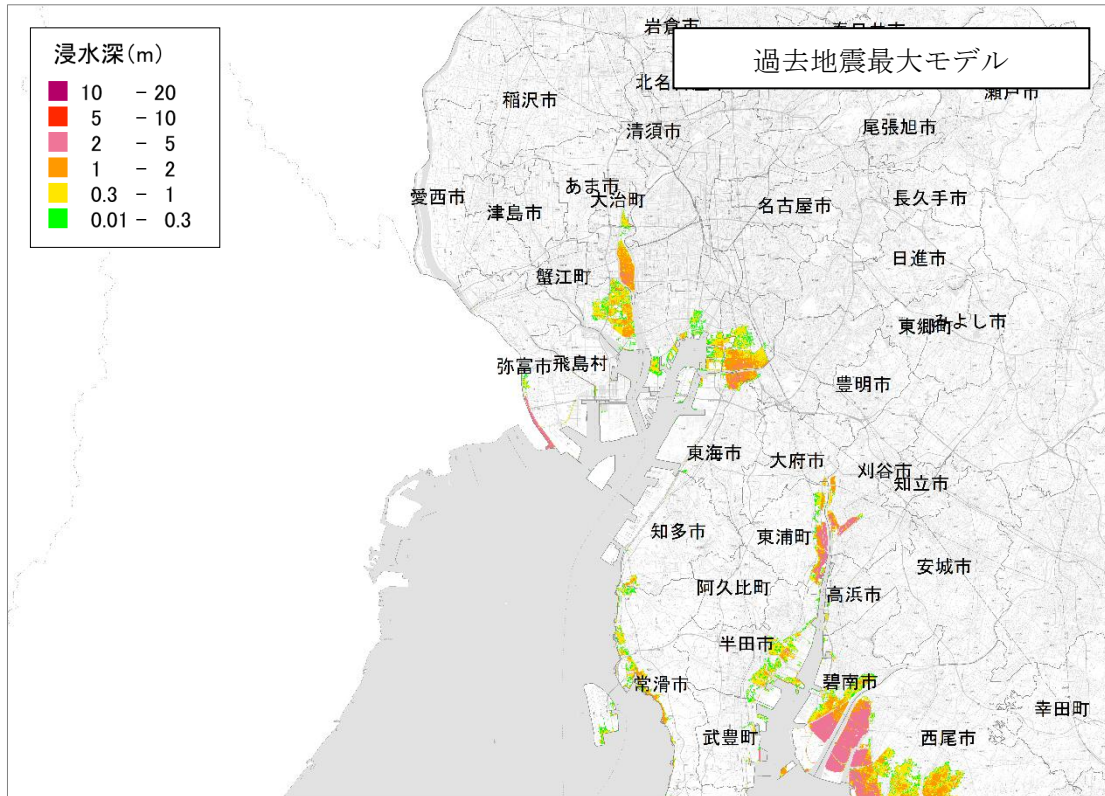
表 6-6 市区町村別浸水面積一覧（浸水深 1cm 以上）

市町村名	浸水深1cm以上の浸水面積 (ha)							
	過去最大モデル	理論上最大モデル						
		ケース1	ケース6	ケース7	ケース8	ケース9	左の5ケースの最大値	最大包絡
名古屋市	1,900	6,926	6,880	6,908	6,798	6,818	6,926	7,020
名古屋市中村区	—	102	98	112	92	98	112	112
名古屋市瑞穂区	—	124	123	130	124	125	130	130
名古屋市熱田区	—	283	276	281	266	254	283	284
名古屋市中川区	297	2,088	2,079	2,147	2,069	2,081	2,147	2,147
名古屋市港区	991	3,122	3,098	3,032	3,051	3,068	3,122	3,132
名古屋市南区	531	1,041	1,039	1,040	1,034	1,032	1,041	1,048
名古屋市緑区	82	165	167	167	162	160	167	168
豊橋市	725	2,697	2,716	2,356	2,639	2,310	2,716	2,724
半田市	504	588	565	556	544	547	588	612
豊川市	29	306	298	243	294	214	306	313
津島市	—	2,046	2,047	2,126	2,064	2,068	2,126	2,126
碧南市	721	1,065	1,063	1,021	1,024	1,035	1,065	1,081
刈谷市	184	369	368	362	365	364	369	369
安城市	0	238	239	235	238	240	240	240
西尾市	3,988	4,780	4,765	4,567	4,729	4,800	4,800	4,825
蒲郡市	145	231	205	171	224	195	231	249
常滑市	410	493	462	319	386	604	604	608
東海市	148	269	267	263	259	266	269	275
大府市	5	5	5	5	5	5	5	5
知多市	50	54	52	52	49	58	58	58
高浜市	22	70	66	68	64	60	70	79
田原市	1,817	3,183	2,251	1,503	2,321	2,903	3,183	3,208
愛西市	—	3,447	3,460	3,563	3,479	3,480	3,563	3,563
弥富市	126	3,819	3,820	3,827	3,818	3,817	3,827	3,829
あま市	—	771	772	949	800	805	949	949
大治町	37	31	31	38	32	34	38	38
蟹江町	0	928	928	931	929	929	931	931
飛島村	13	1,165	1,165	1,169	1,166	1,171	1,171	1,173
阿久比町	—	9	9	8	8	9	9	9
東浦町	367	444	441	407	424	414	444	447
南知多町	271	396	337	257	344	421	421	430
美浜町	98	142	125	95	91	185	185	192
武豊町	75	69	68	63	63	71	71	81
合計	11,636	34,540	33,408	32,065	33,157	33,822	34,540	35,434

・浸水面積は、河川等部分を除いた陸域部の浸水深 1cm 以上の範囲で、小数点以下第一位を四捨五入している。  
 ・—は浸水しないことを示す。

今回調査

愛知県西部



愛知県東部

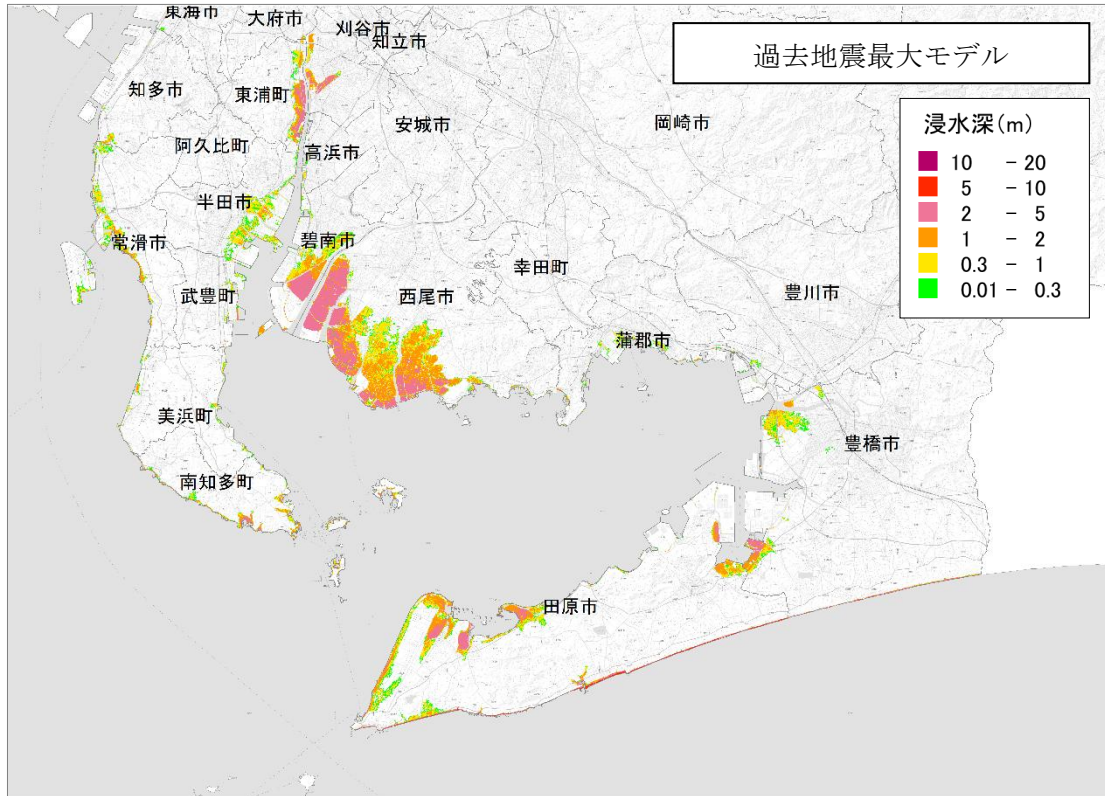
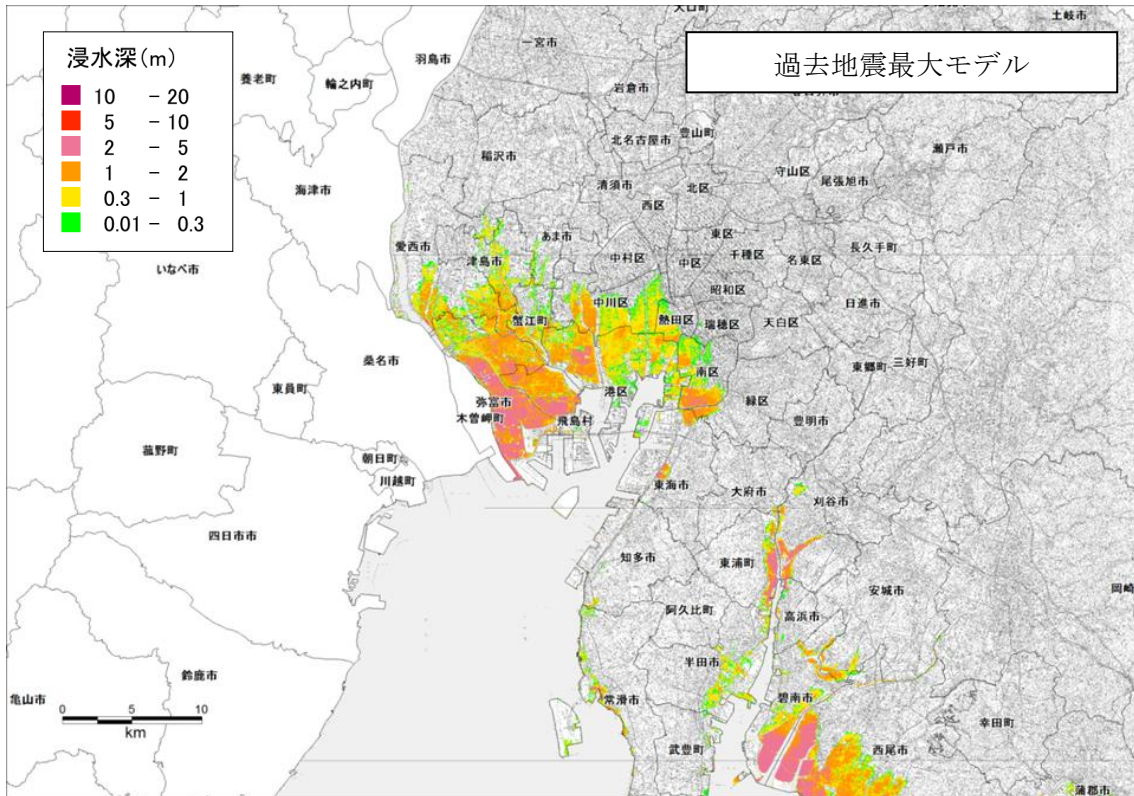


図 6-27 過去地震最大モデルの最大浸水深分布

前回調査

愛知県西部



愛知県東部

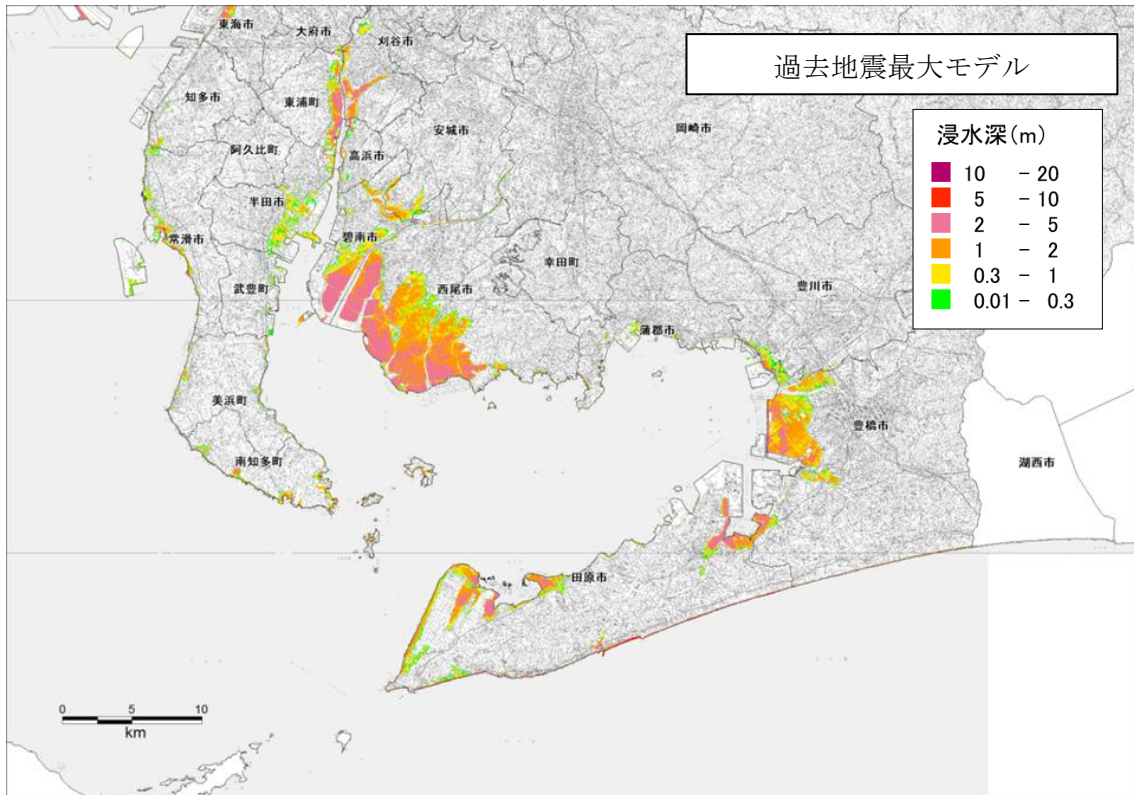
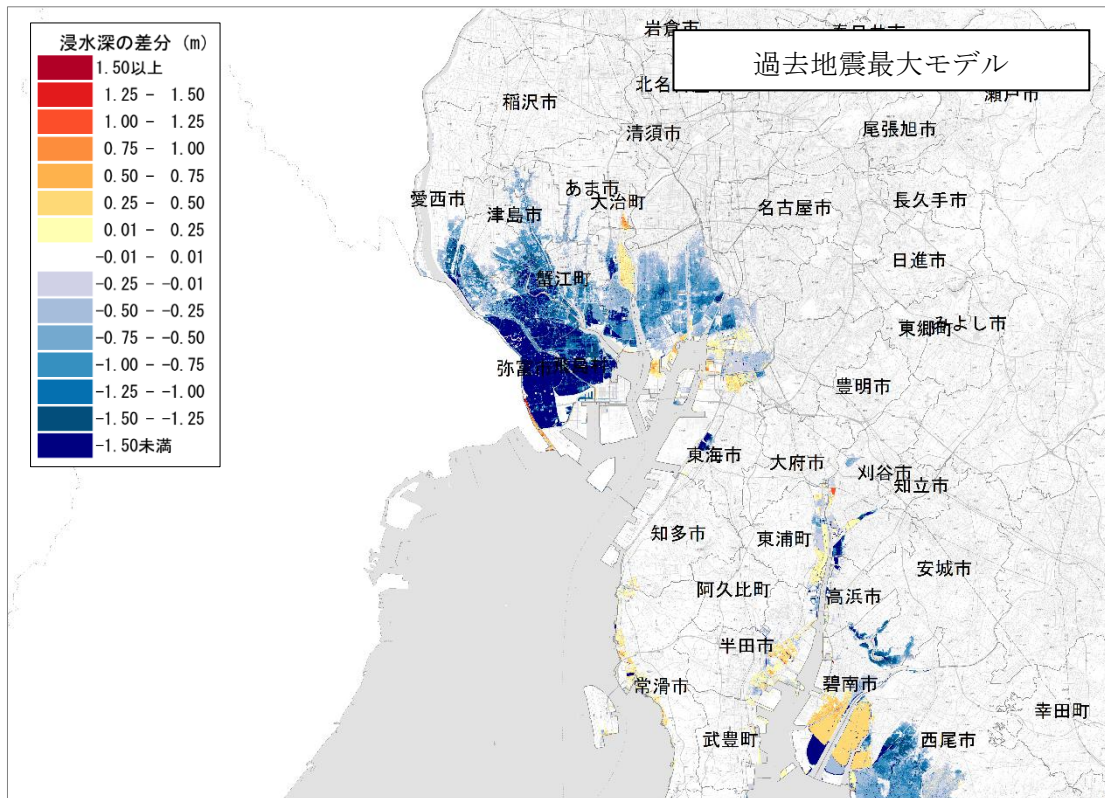


図 6-28 愛知県 (2014) の最大浸水深分布 (5 地震参考モデルの地震)

浸水深差分（今回-前回）

愛知県西部



愛知県東部

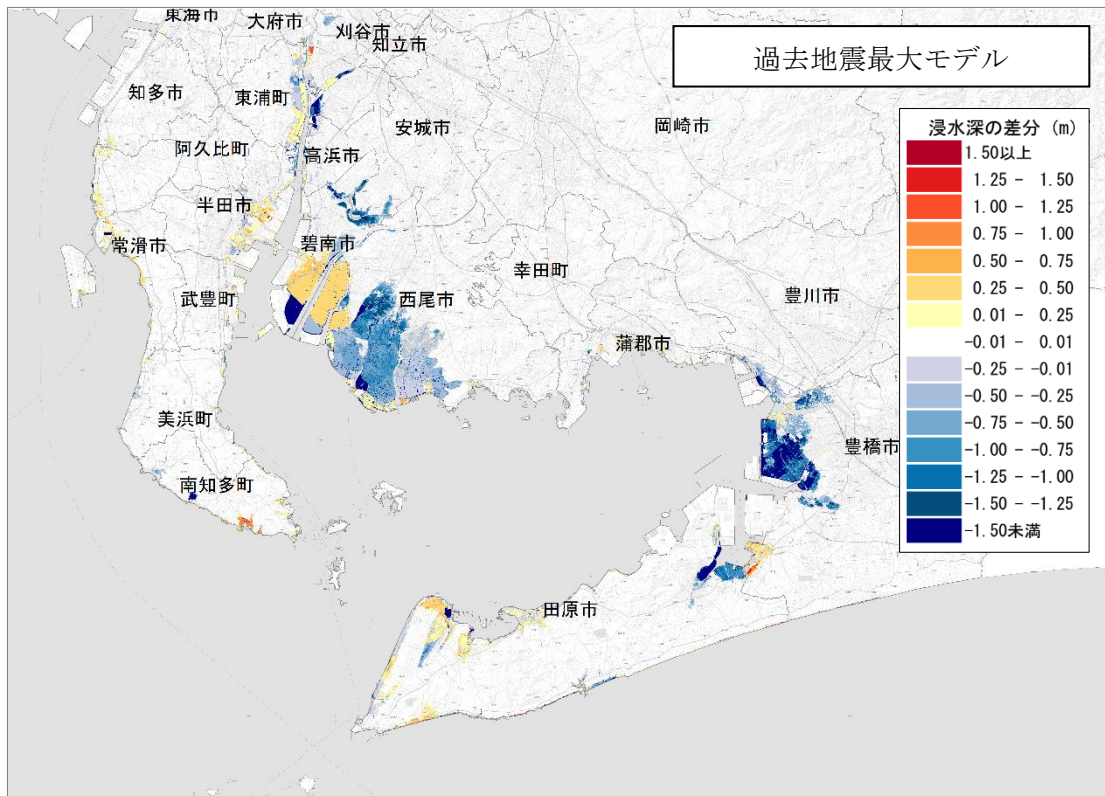
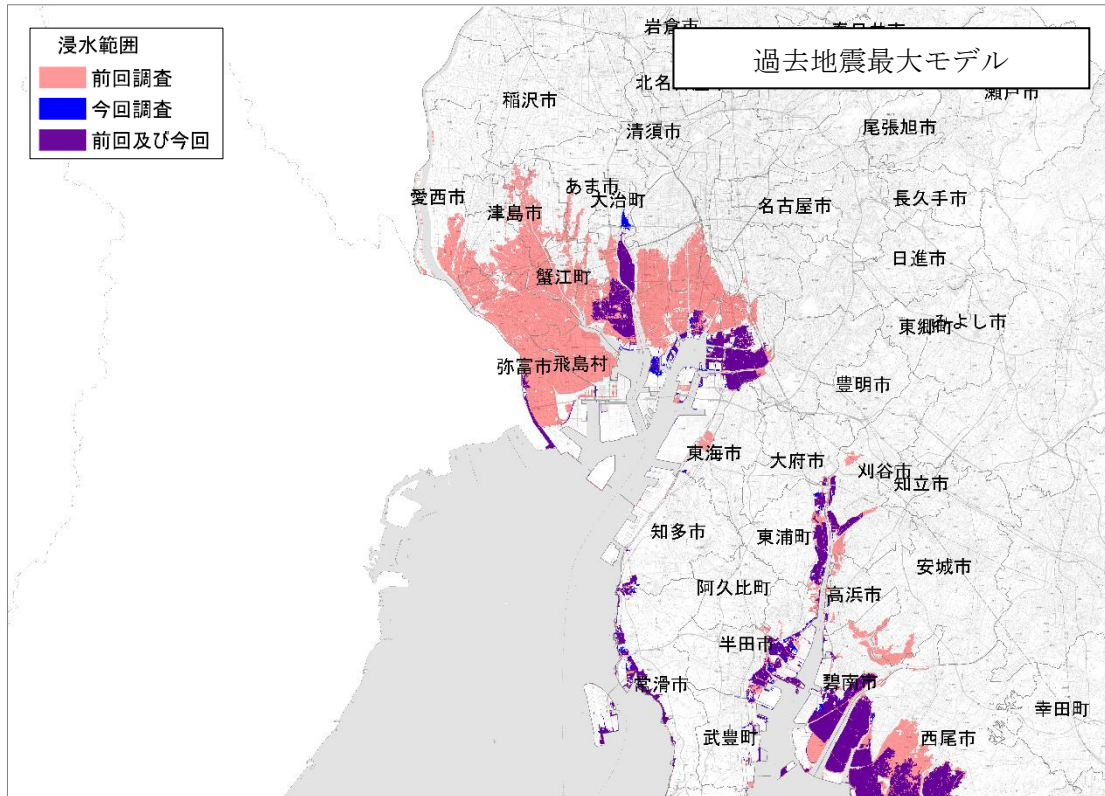


図 6-29 過去地震最大モデル 本調査と愛知県（2014）との最大浸水深の差分（今回-前回）

浸水範囲の重ね合わせ

愛知県西部



愛知県東部

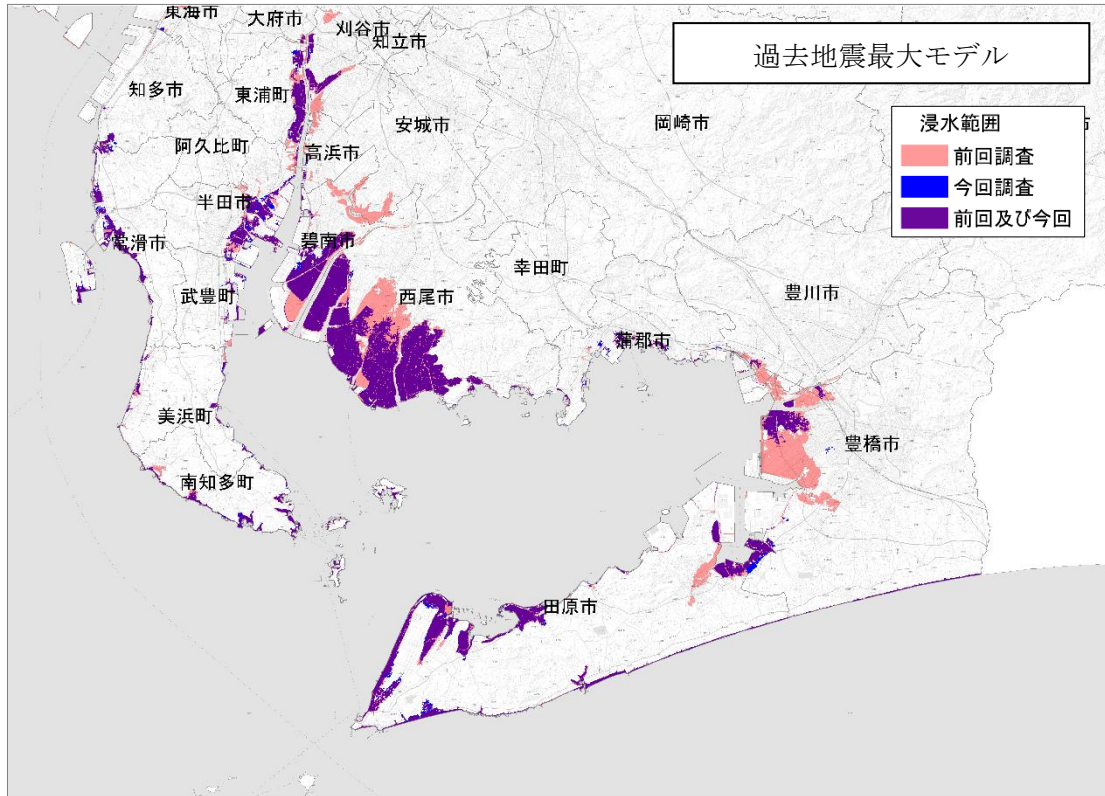
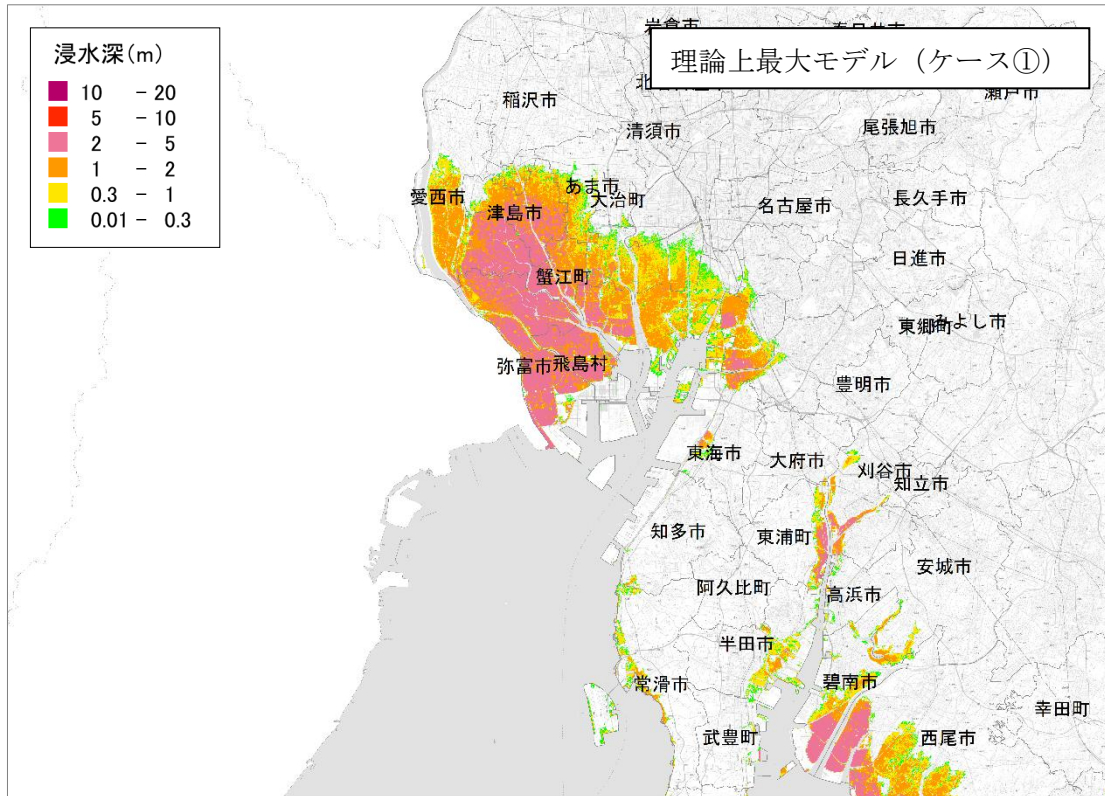


図 6-30 過去地震最大モデル 本調査と愛知県（2014）との浸水範囲の重ね合わせ

今回調査

愛知県西部



愛知県東部

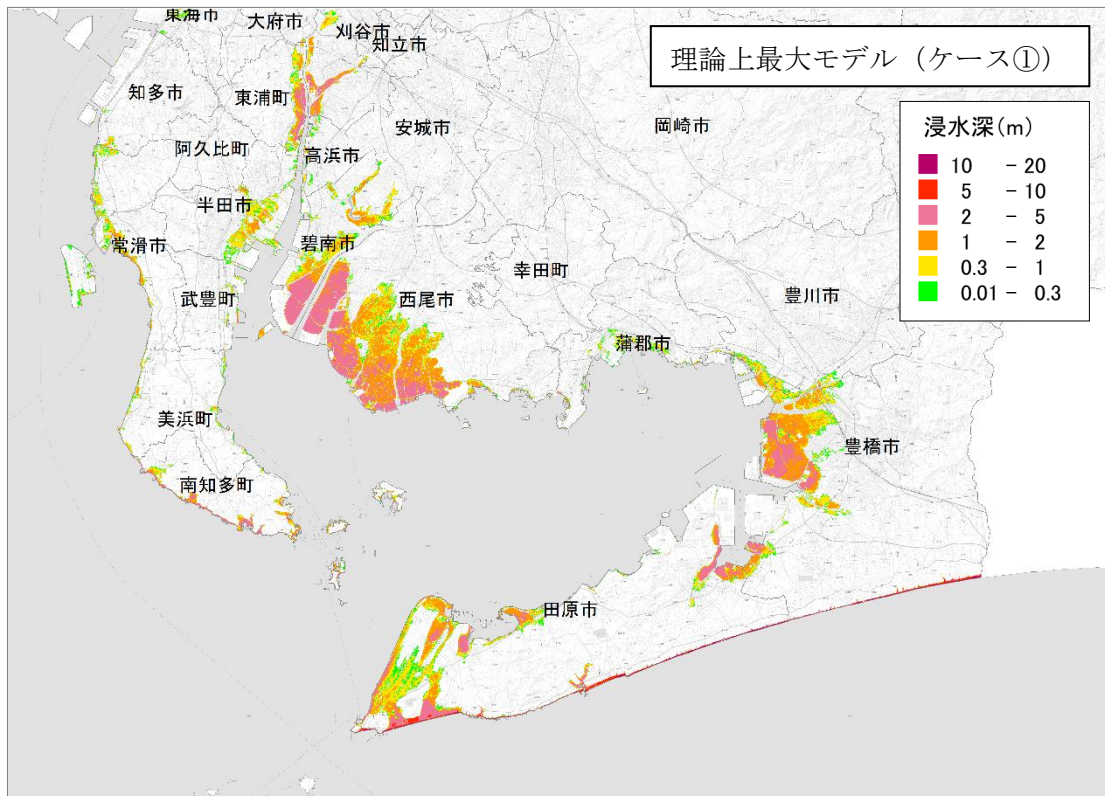
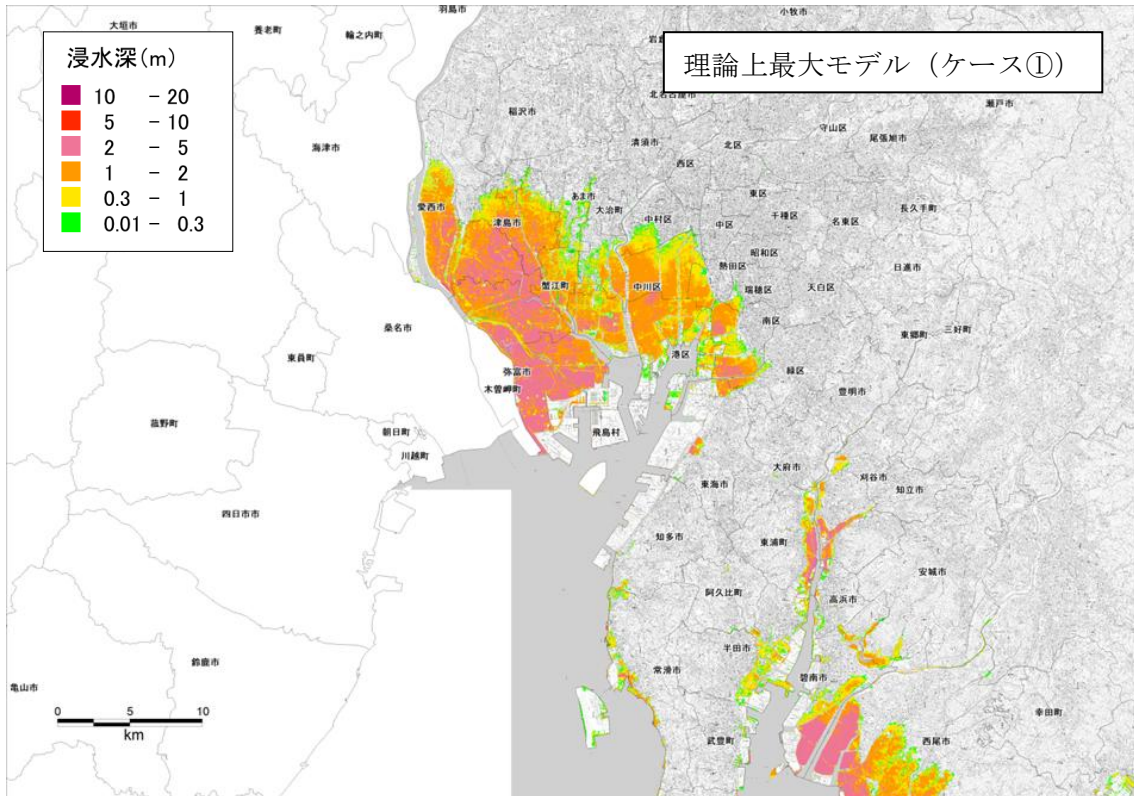


図 6-31 理論上最大モデル (ケース①) の最大浸水深分布

前回調査

愛知県西部



愛知県東部

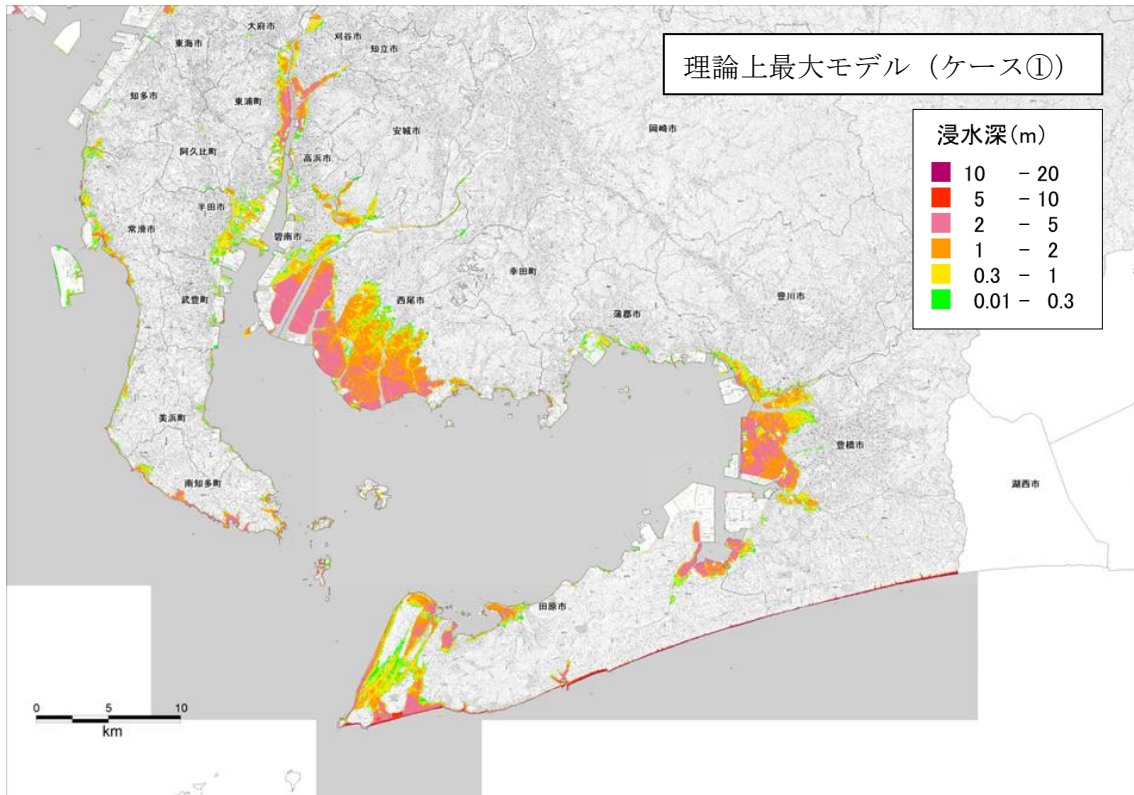
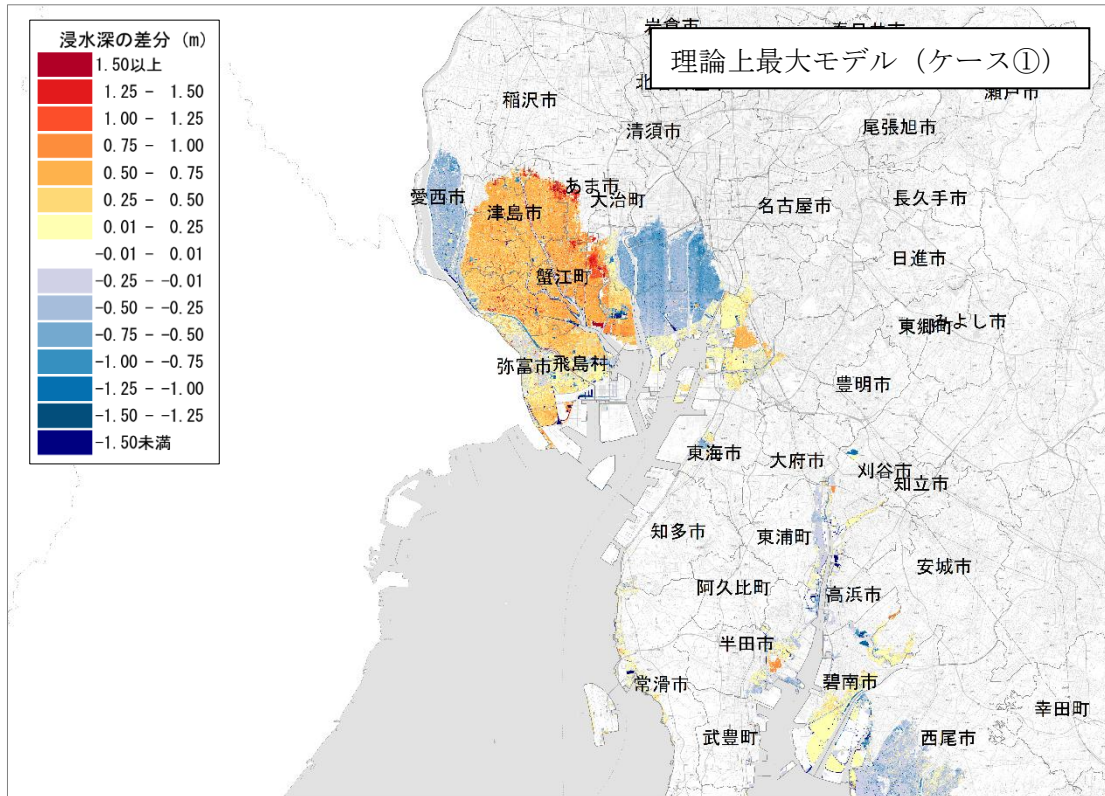


図 6-32 愛知県 (2014) の最大浸水深分布 (最大想定モデルの地震 (ケース①))

浸水深差分（今回-前回）

愛知県西部



愛知県東部

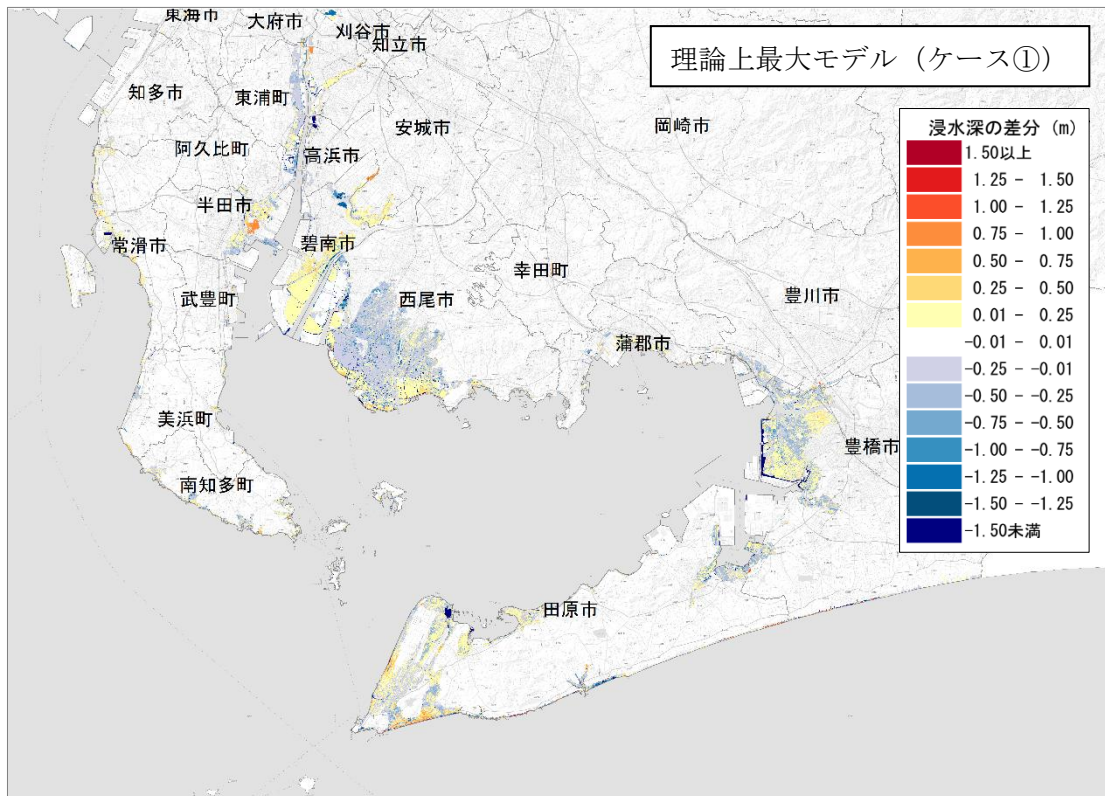
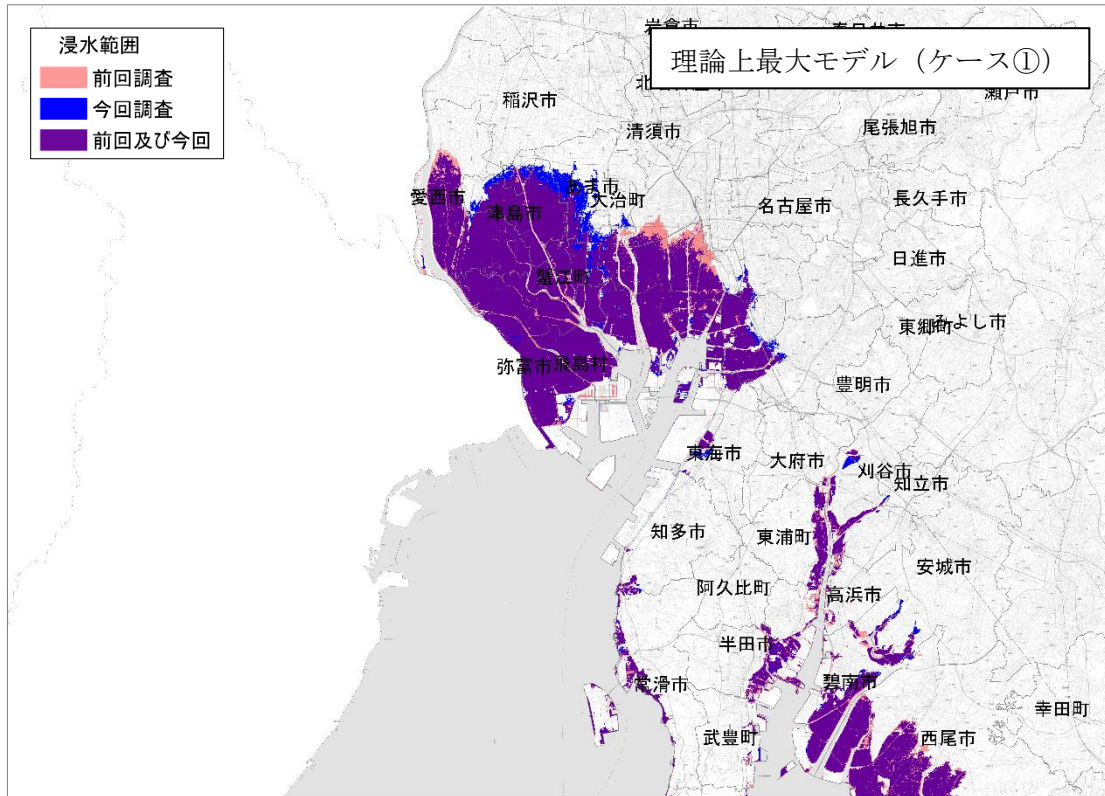


図 6-33 理論上最大モデル（ケース①） 本調査と愛知県（2014）との最大浸水深の差分（今回-前回）

浸水範囲の重ね合わせ

愛知県西部



愛知県東部

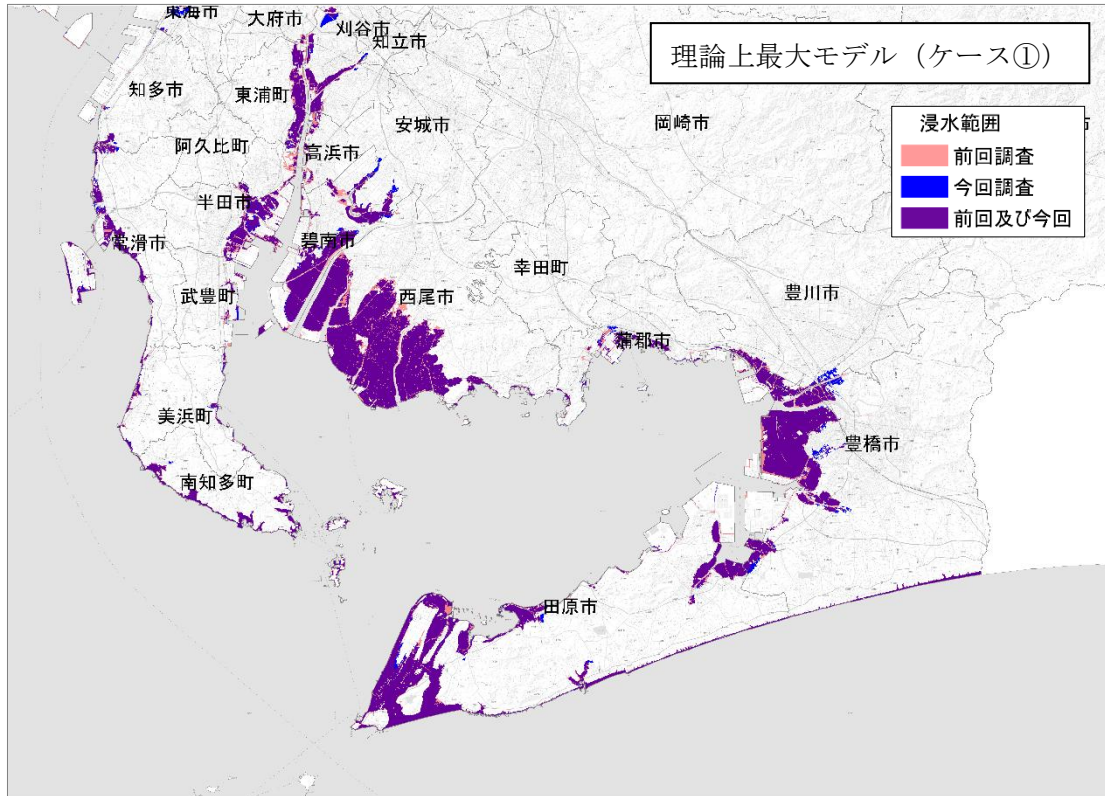
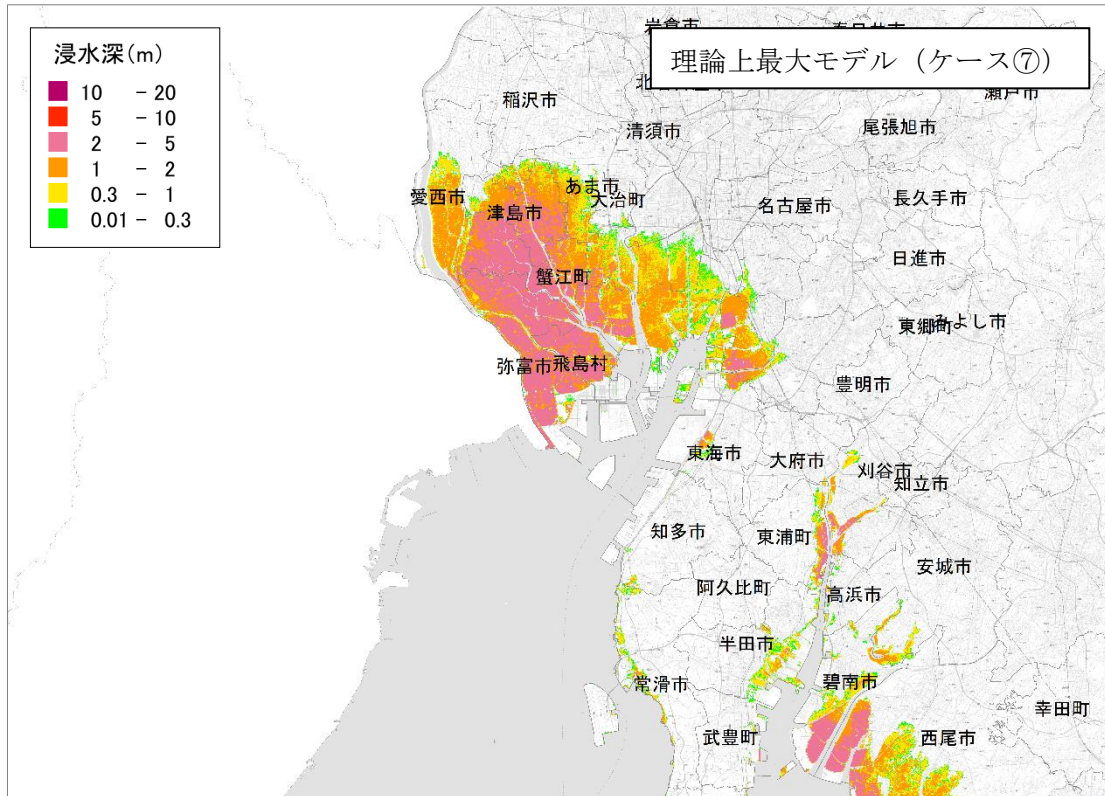


図 6-34 理論上最大モデル (ケース①) 本調査と愛知県 (2014) との浸水範囲の重ね合わせ

今回調査

愛知県西部



愛知県東部

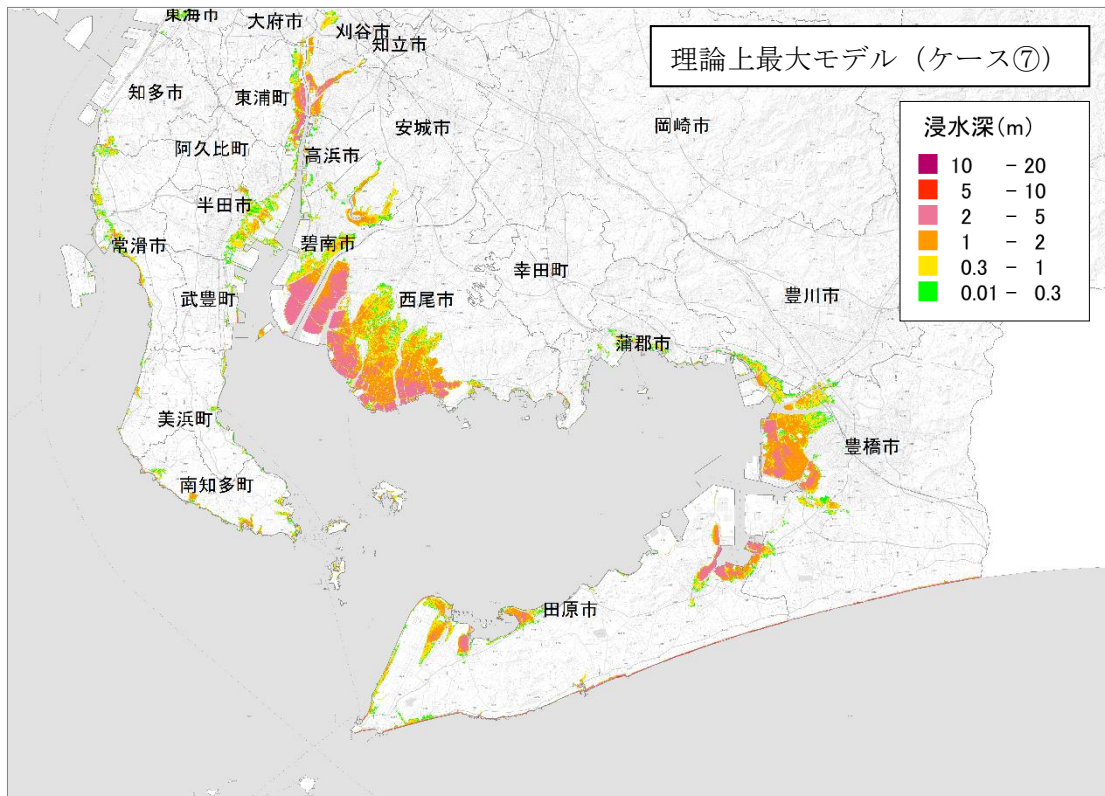
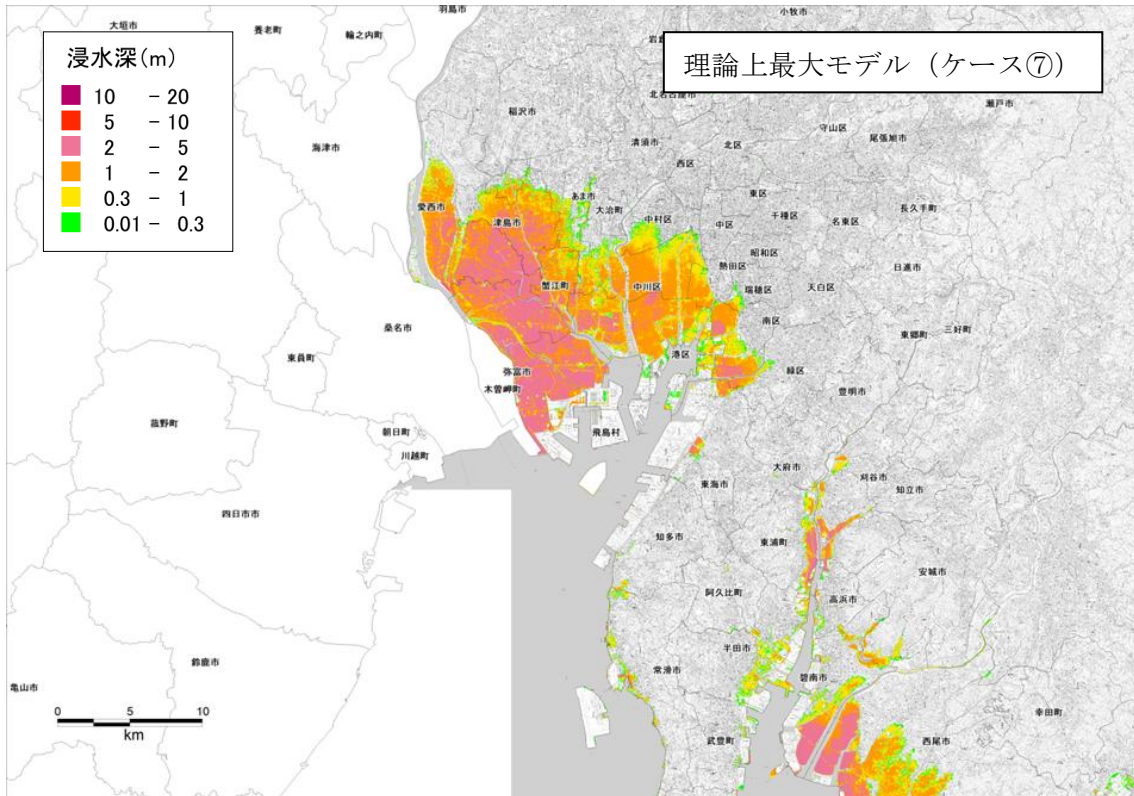


図 6-35 理論上最大モデル (ケース⑦) の最大浸水深分布

前回調査

愛知県西部



愛知県東部

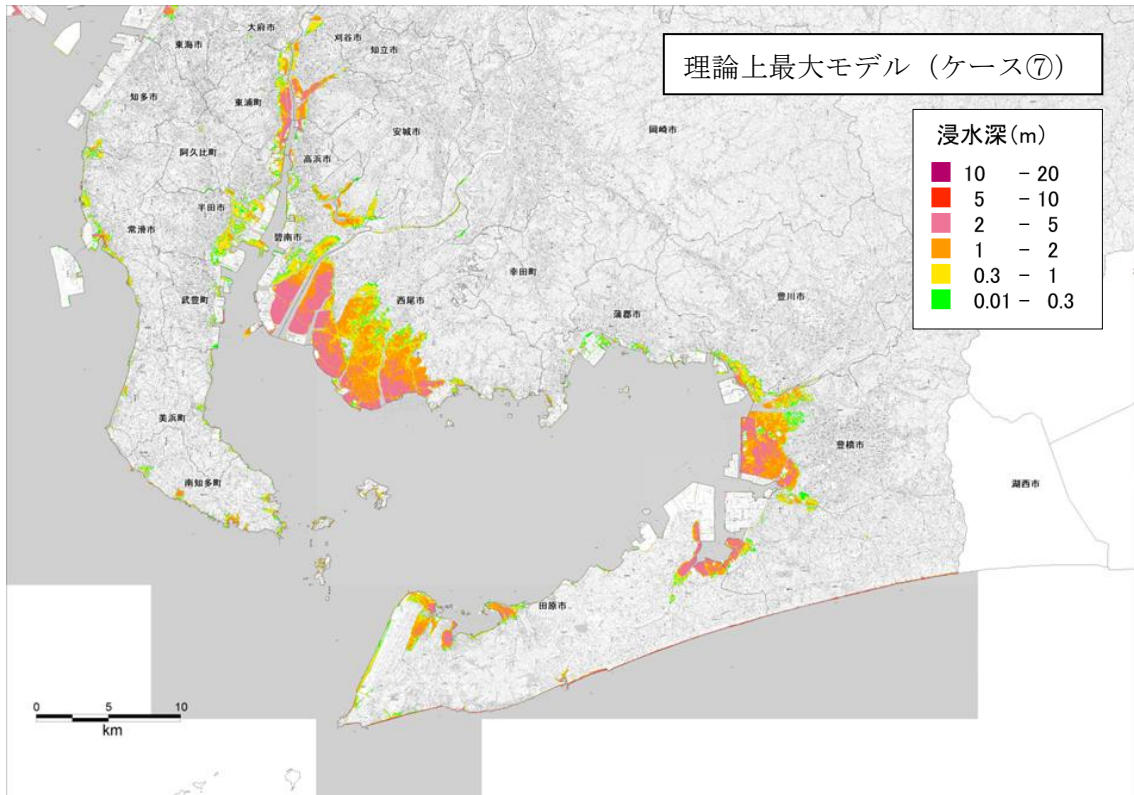
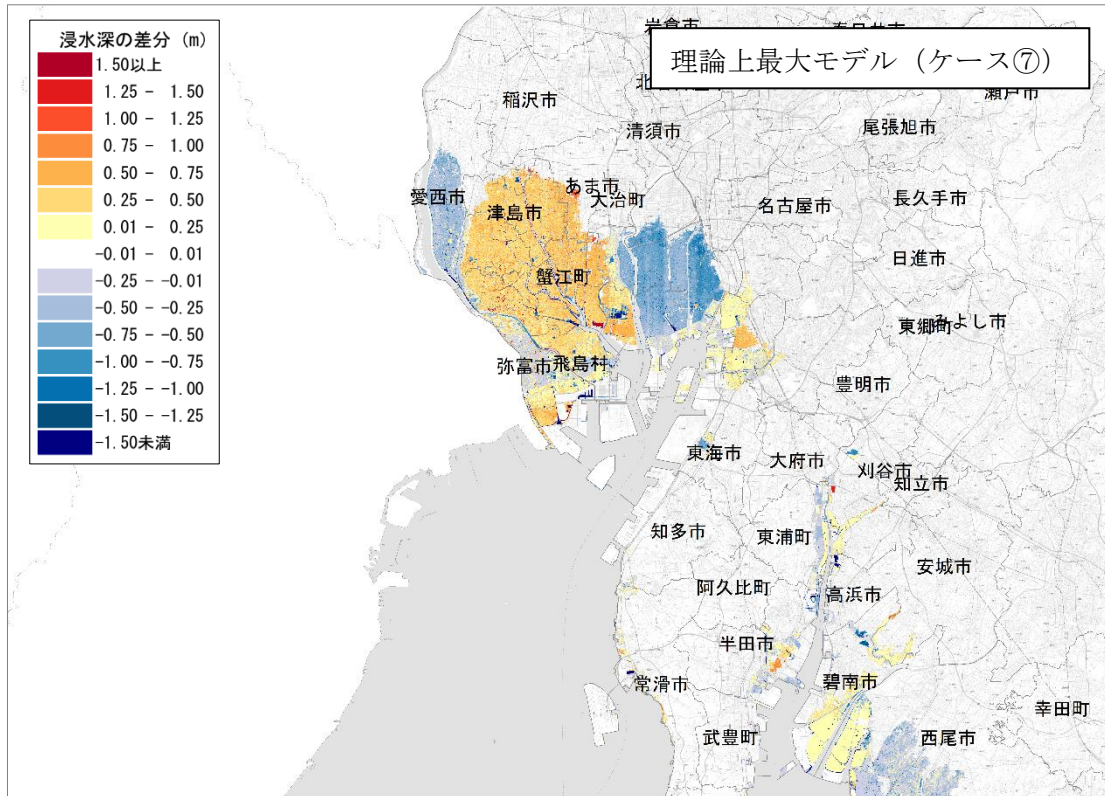


図 6-36 愛知県 (2014) の最大浸水深分布 (最大想定モデルの地震 (ケース⑦))

浸水深差分（今回-前回）

愛知県西部



愛知県東部

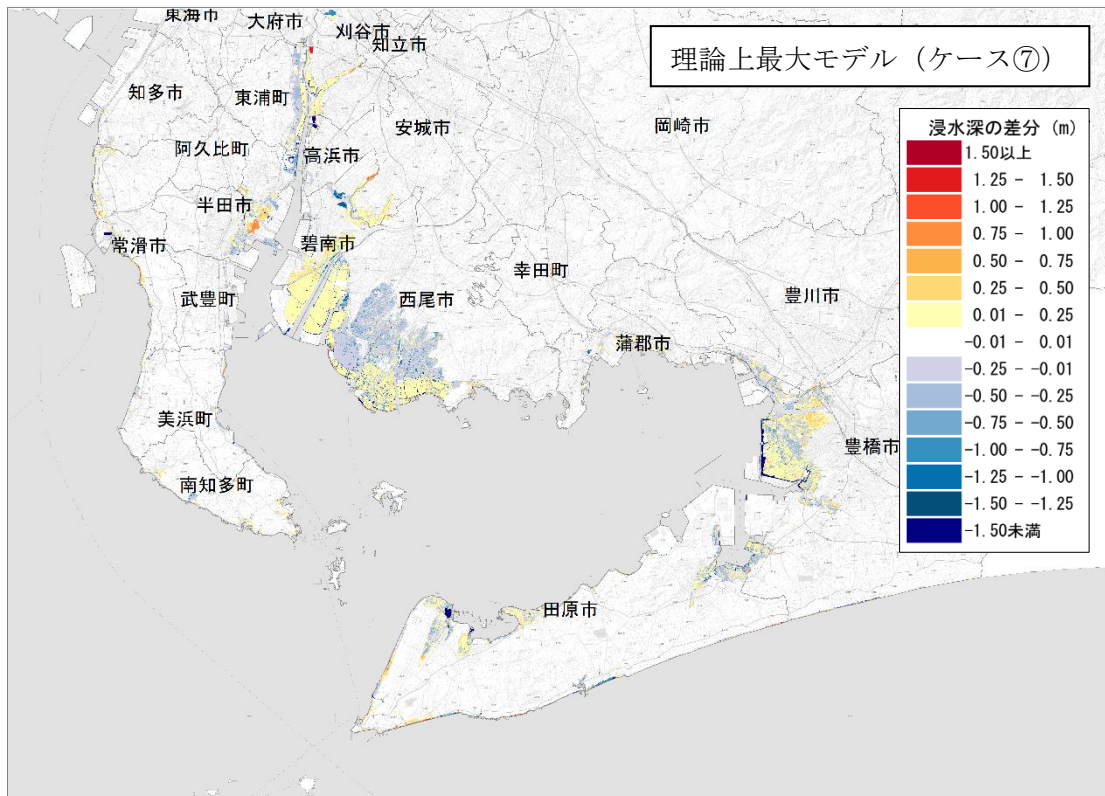
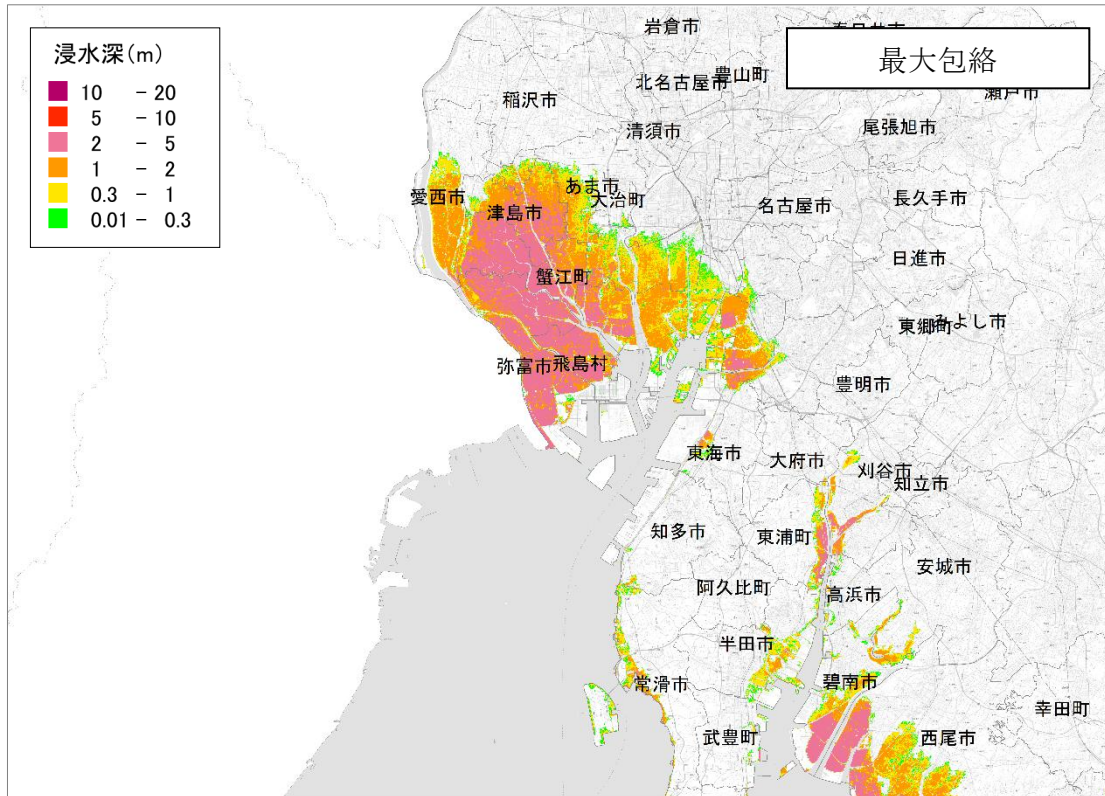


図 6-37 理論上最大モデル（ケース⑦） 本調査と愛知県（2014）との最大浸水深の差分（今回-前回）



今回調査

愛知県西部



愛知県東部

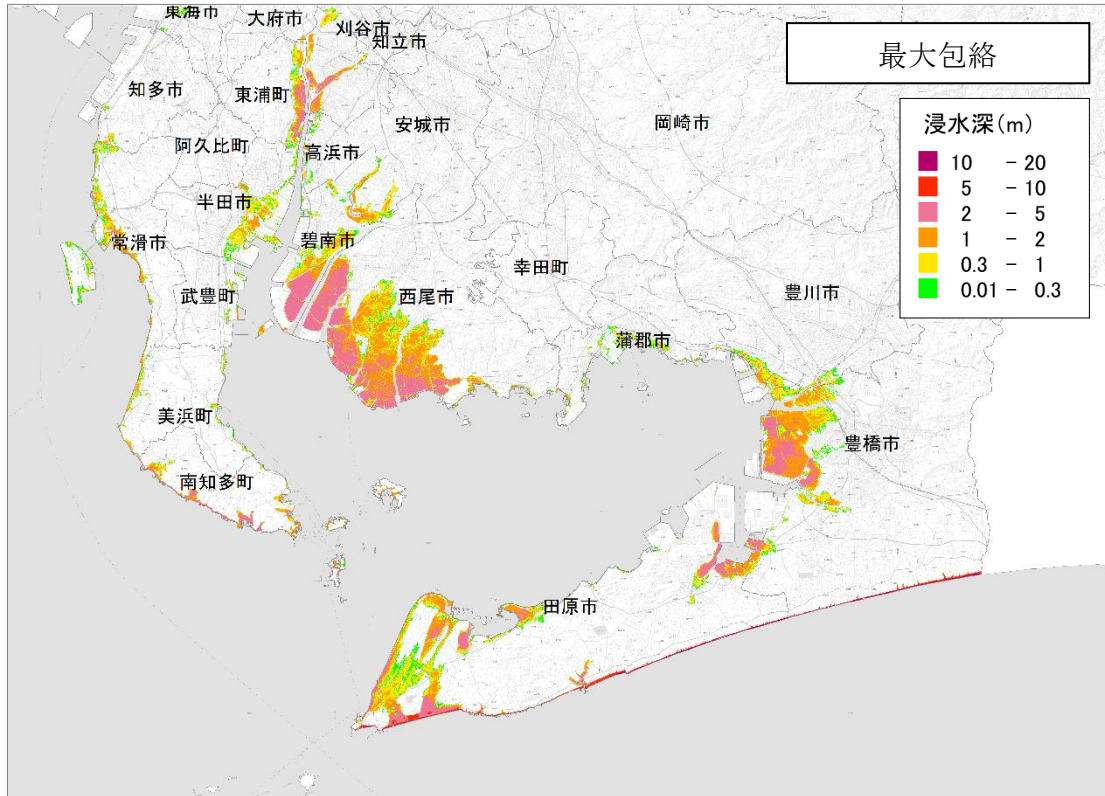
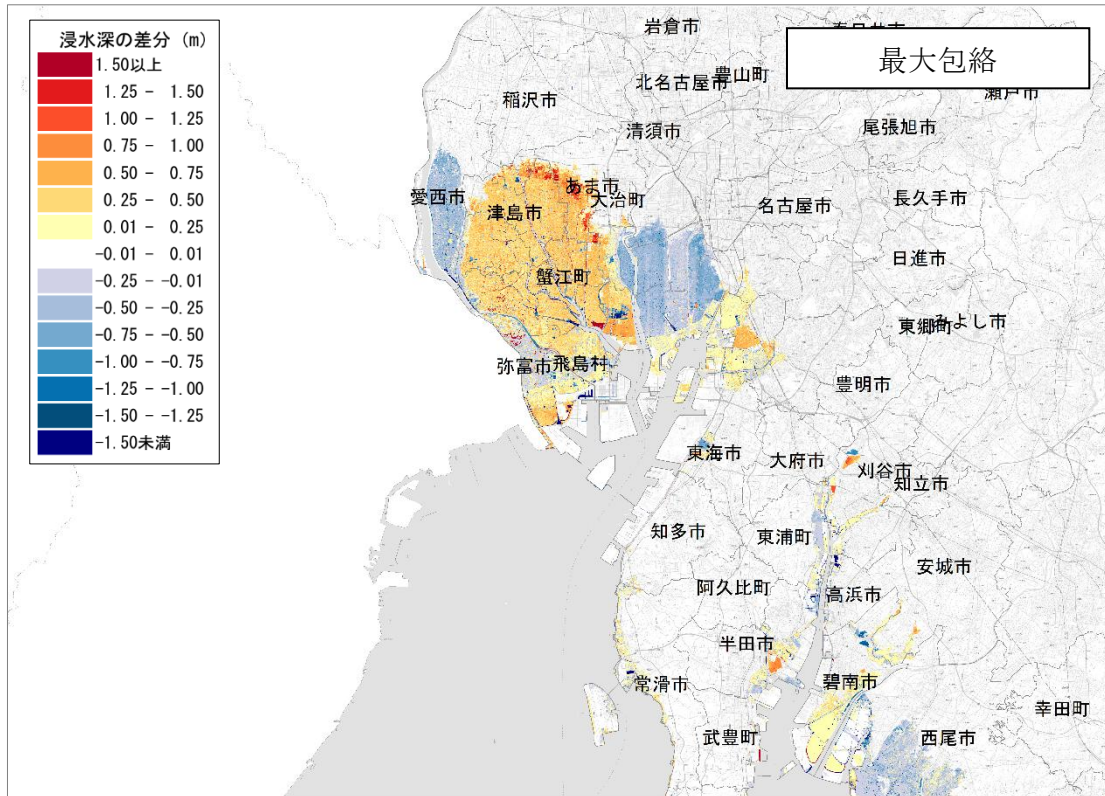


図 6-39 理論上最大モデルの最大浸水深分布 最大包絡

浸水深差分（今回-愛知県津波浸水想定（2014））

愛知県西部



愛知県東部

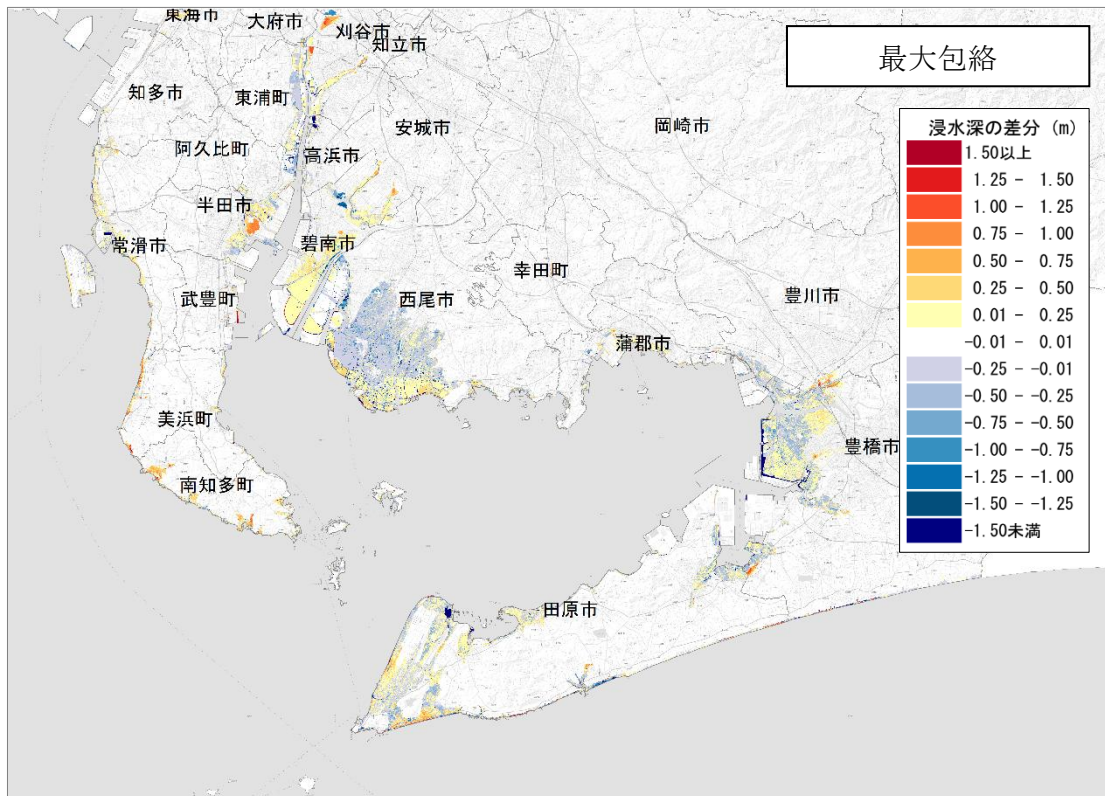


図 6-40 理論上最大モデル 本調査と愛知県津波浸水想定（2014）との最大浸水深の差分（今回-前回） 最大包絡



## **(2) 半割れ地震の予測結果**

西半割れ地震では、過去地震最大モデル、理論上最大モデルともに、浸水範囲は極めて狭くなっている。過去地震最大モデルの東半割れ地震の浸水面積は、全割れ地震と同程度である。理論上最大モデルの東半割れ地震では、全割れ地震と比べ浸水面積は狭くなっているものの、広い範囲で浸水が生じる予測結果となっている。

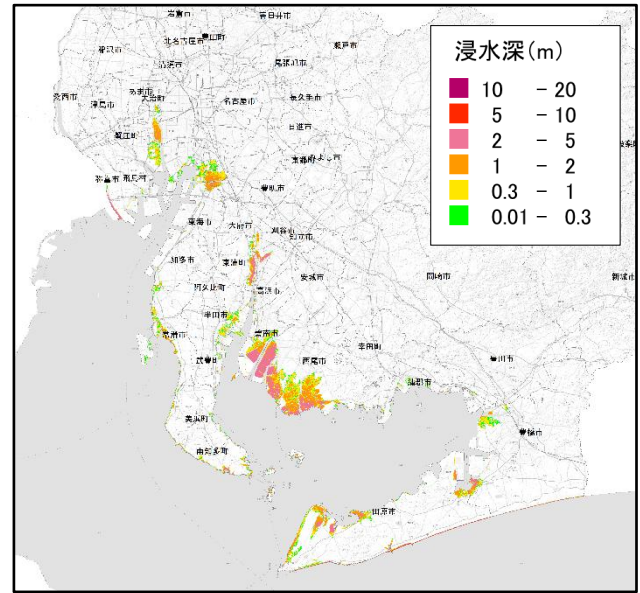
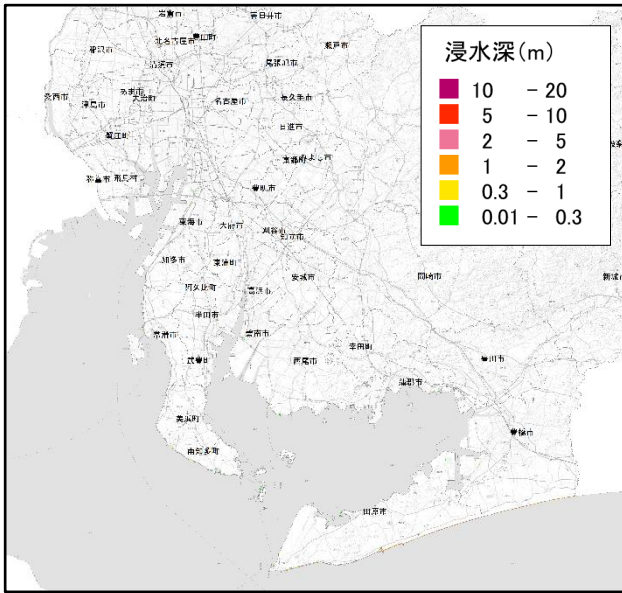


図 6-42 半割れ地震（過去地震最大モデル）の最大浸水深分布  
 （朔望平均満潮位 地殻変動量考慮）  
 （左：西半割れ地震、右：東半割れ地震）

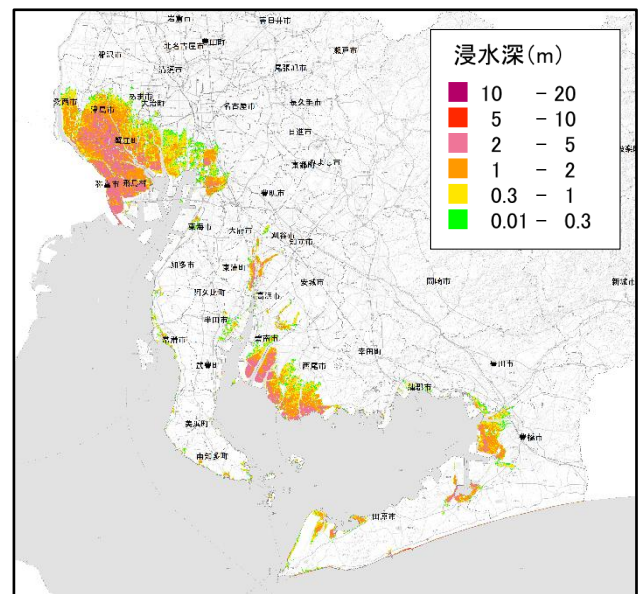
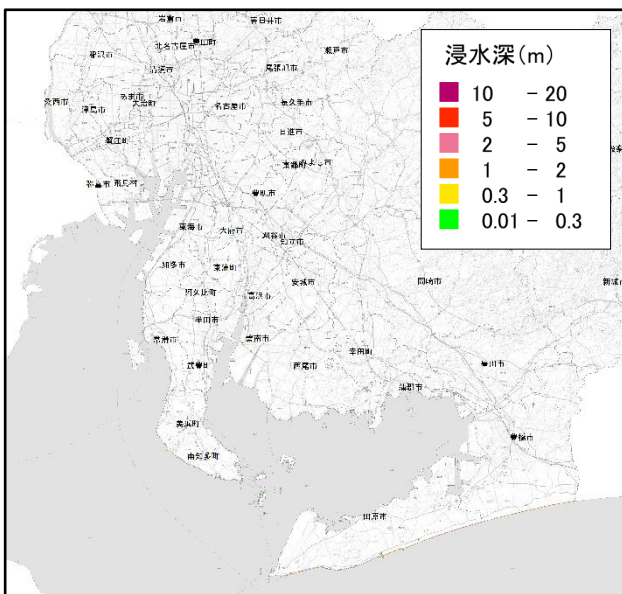


図 6-43 半割れ地震（理論上最大モデル）の最大浸水深分布  
 （朔望平均満潮位 地殻変動量考慮）  
 （左：西半割れ地震、右：東半割れ地震）

## 6.8. 浸水深が 30cm に達する時間の予測結果

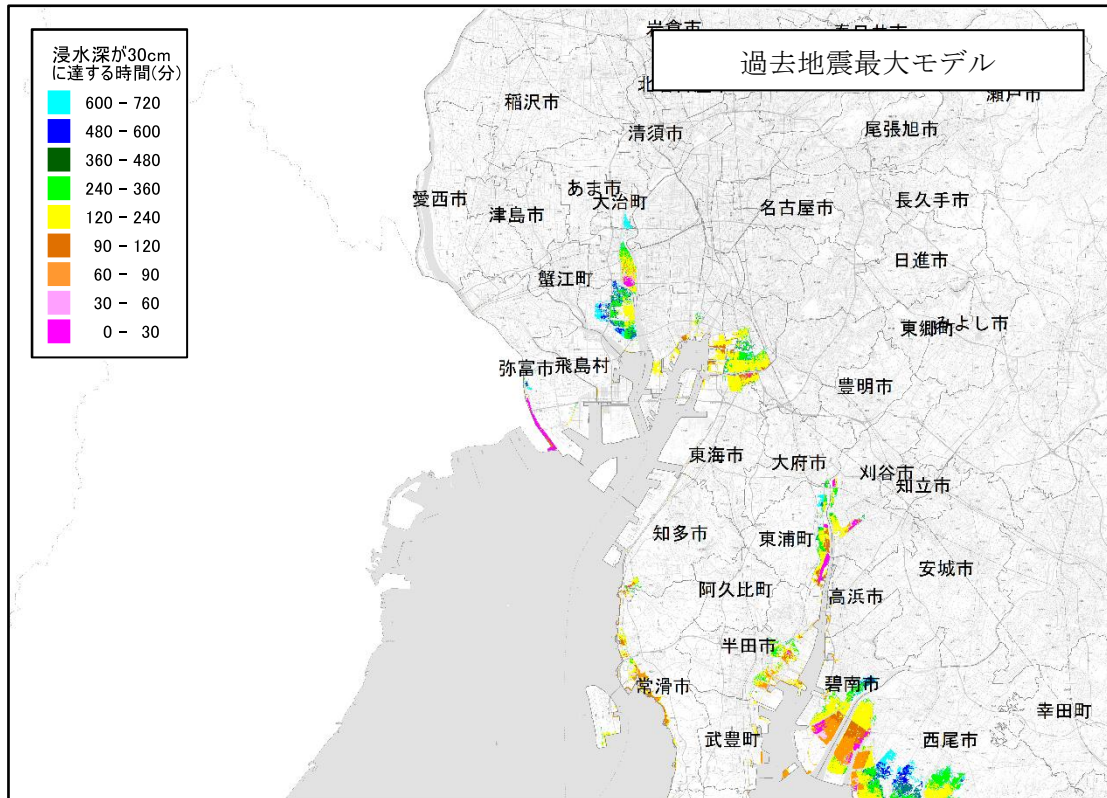
### (1) 全割れ地震の予測結果

理論上最大モデルにおいては、主にゼロメートル地帯を中心に、発災後間もなく浸水深が 30cm に達する地域がある。これは、ゼロメートル地帯の河川沿岸地域において、地震動による地盤の液状化等の影響によって堤防（土堰堤）が沈下し、発災後すぐに河川から浸水が始まるためである。また、津波の到達が早い沿岸部においても、早期に浸水が始まる。

一方で、過去地震最大モデルにおいては、堤防の耐震対策の効果により、発災後間もなく浸水深が 30cm に達する地域は、一部の沿岸部にとどまる。

今回調査

愛知県西部



愛知県東部

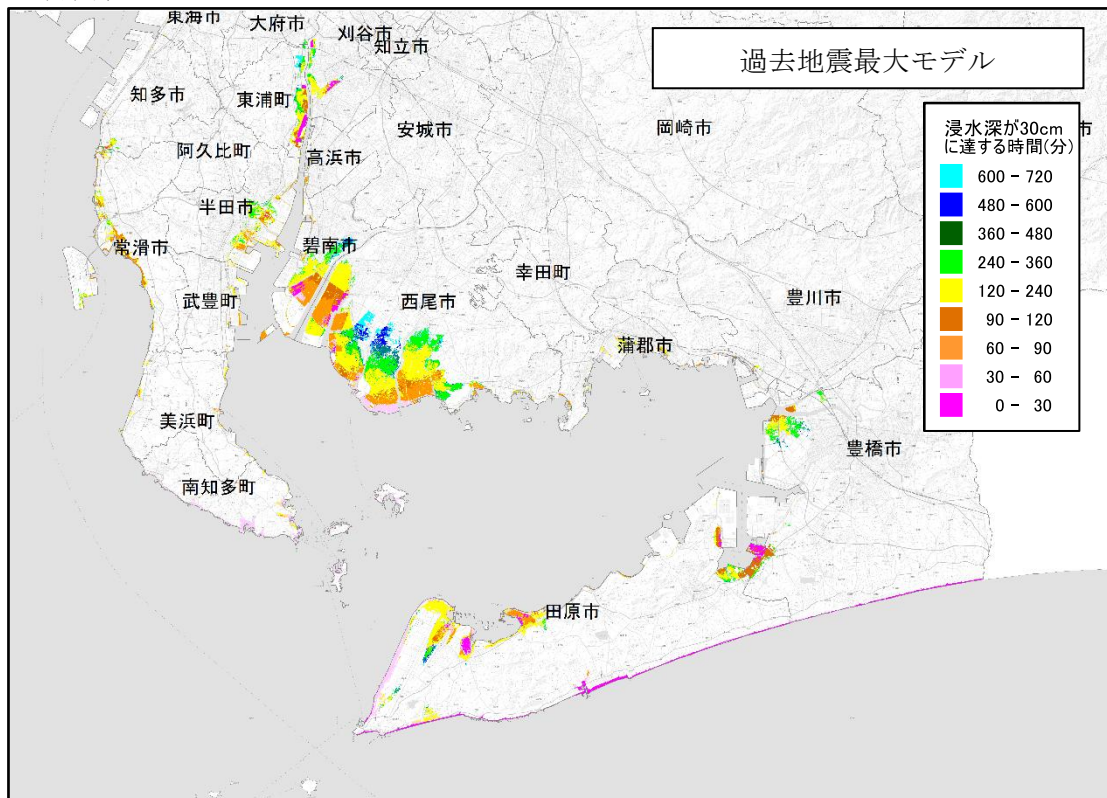
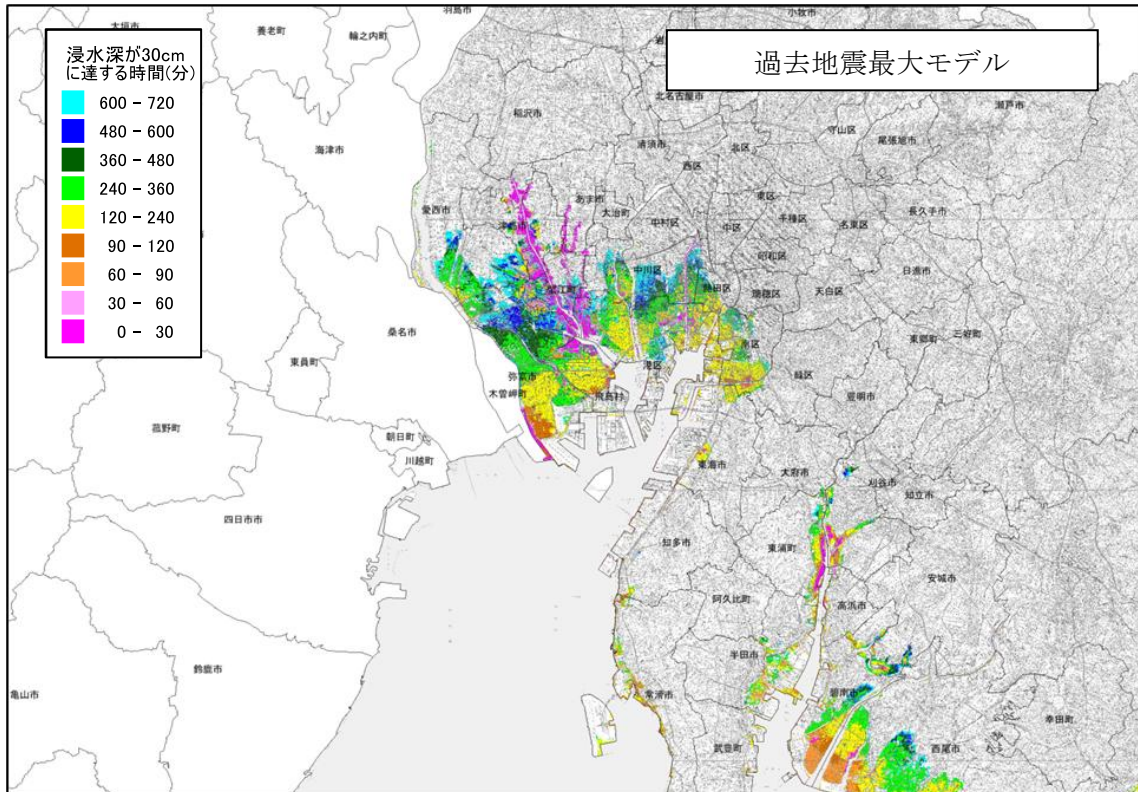


図 6-44 過去地震最大モデルにおける浸水深が 30cm に達する時間

前回調査

愛知県西部



愛知県東部

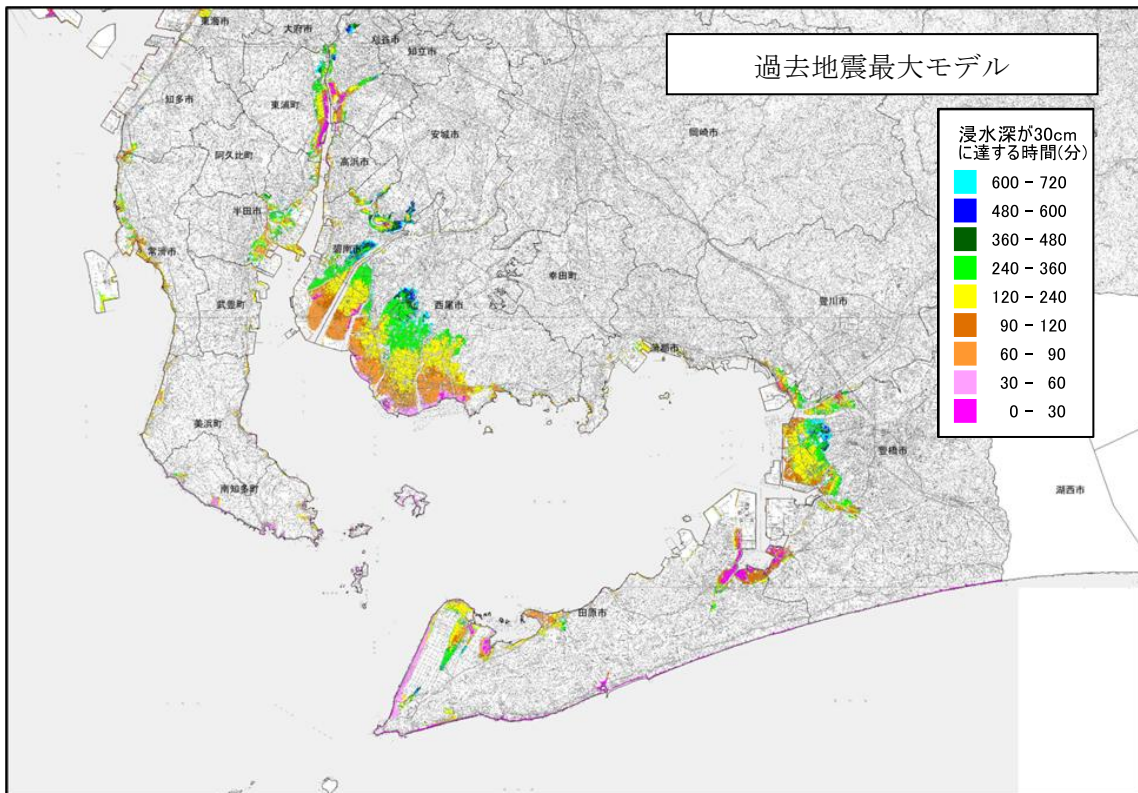
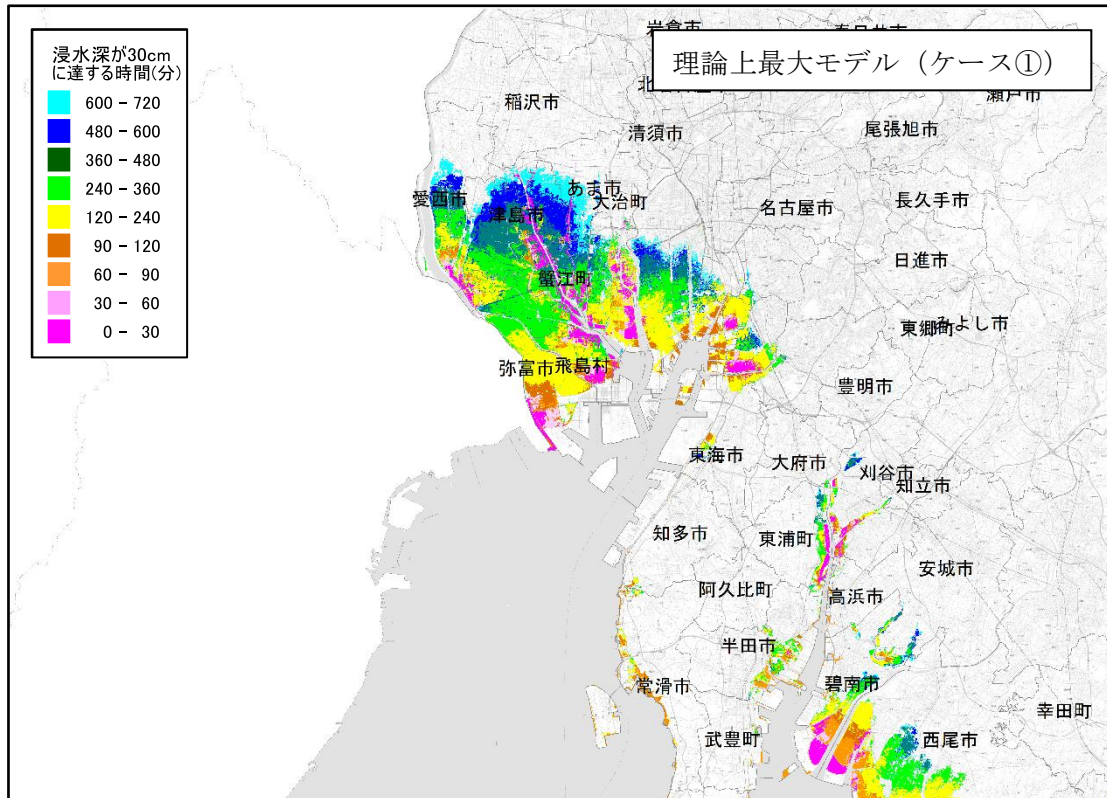


図 6-45 愛知県 (2014) における浸水深が 30cm に達する時間 (5 地震参考モデルの地震)

今回調査

愛知県西部



愛知県東部

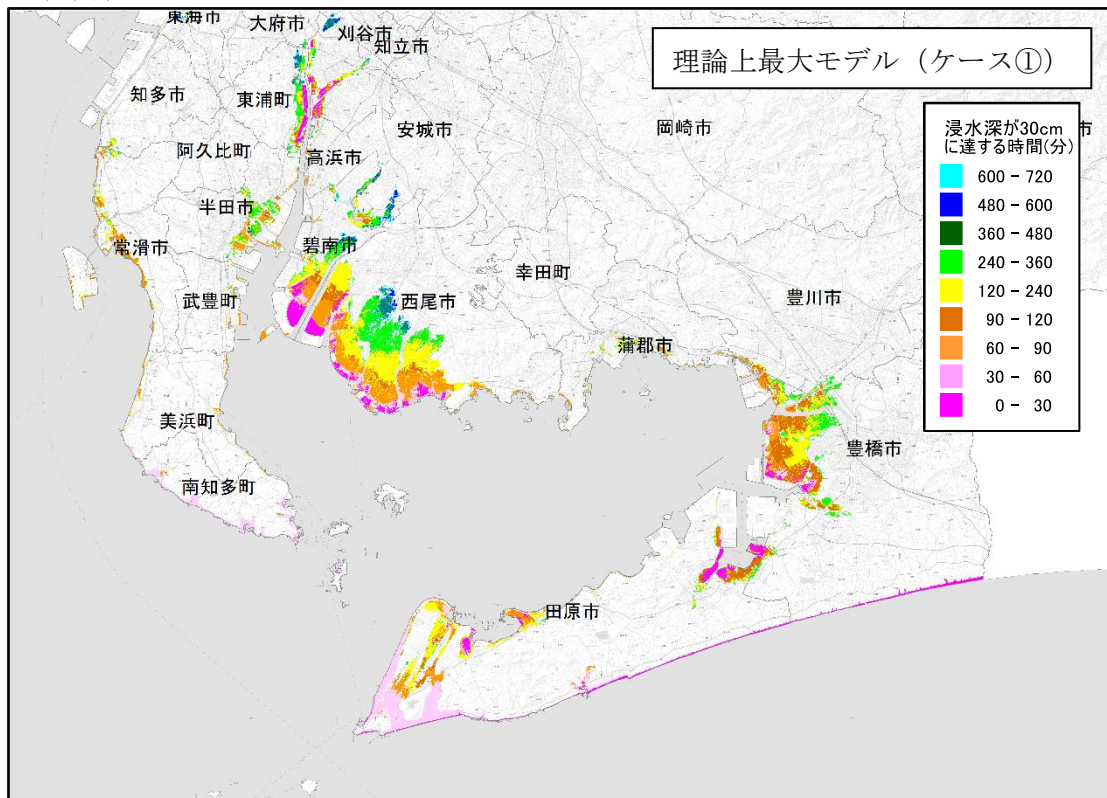
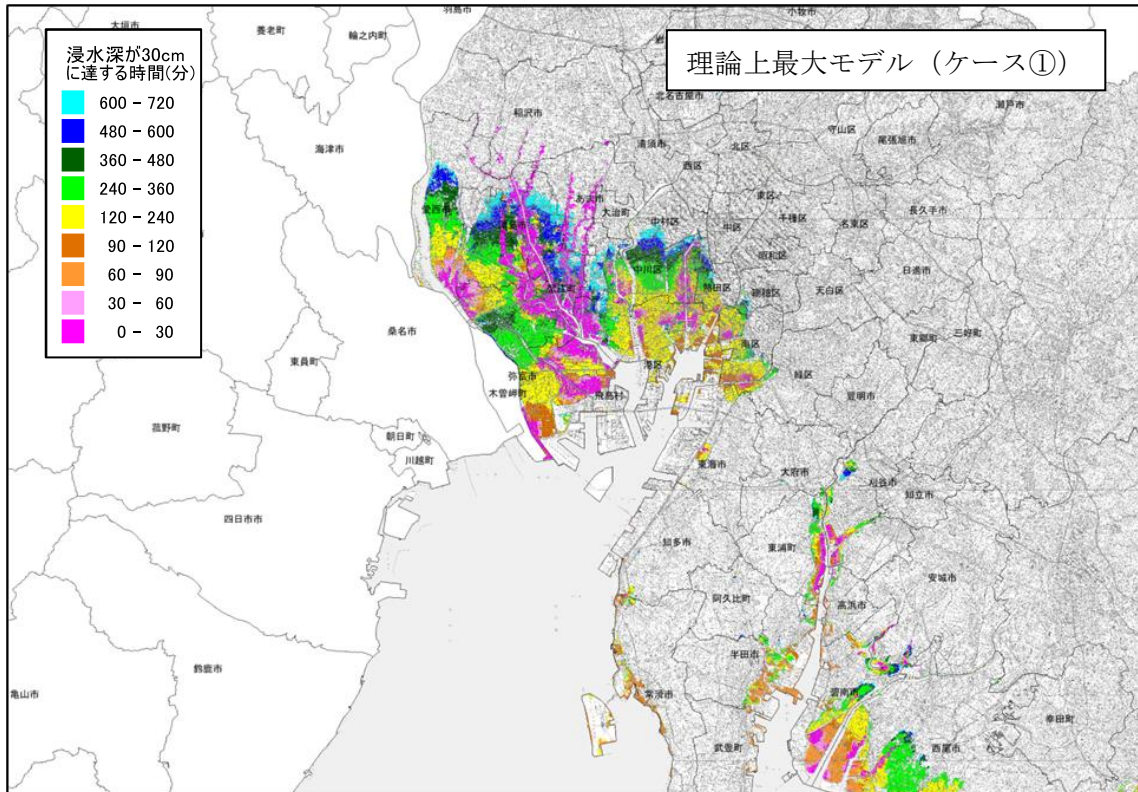


図 6-46 理論上最大モデル (ケース①) における浸水深が 30cm に達する時間

前回調査

愛知県西部



愛知県東部

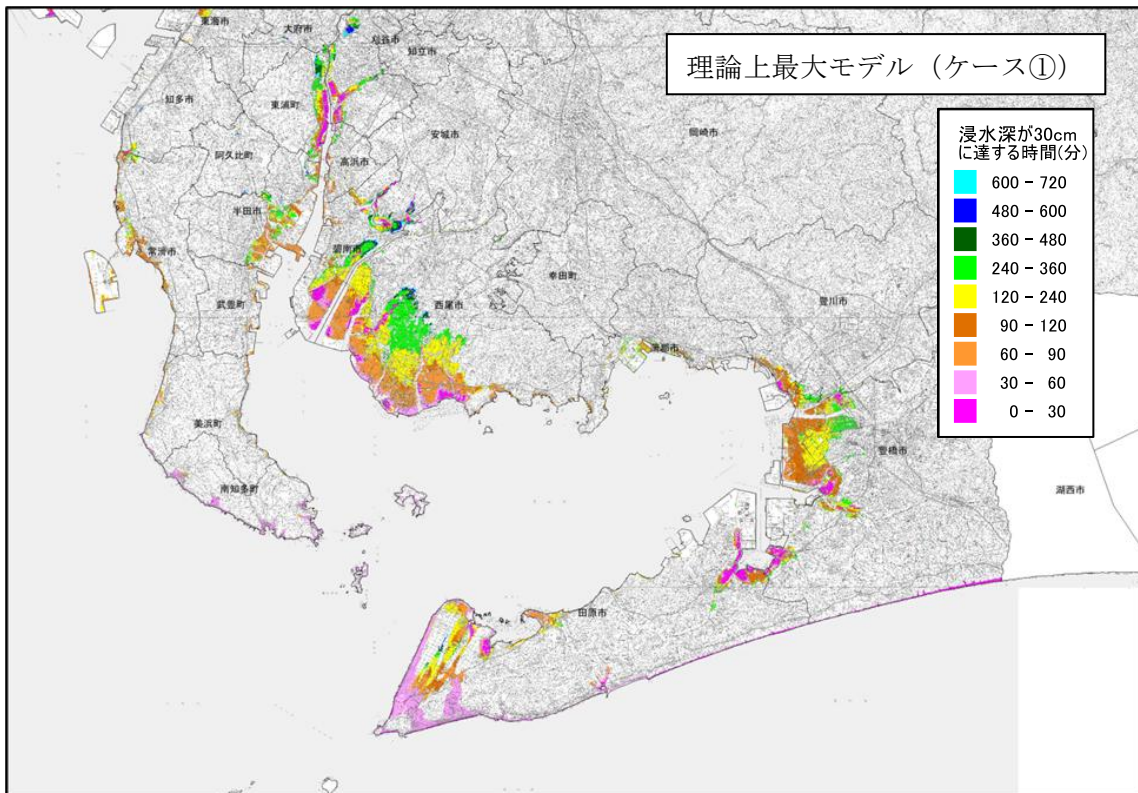
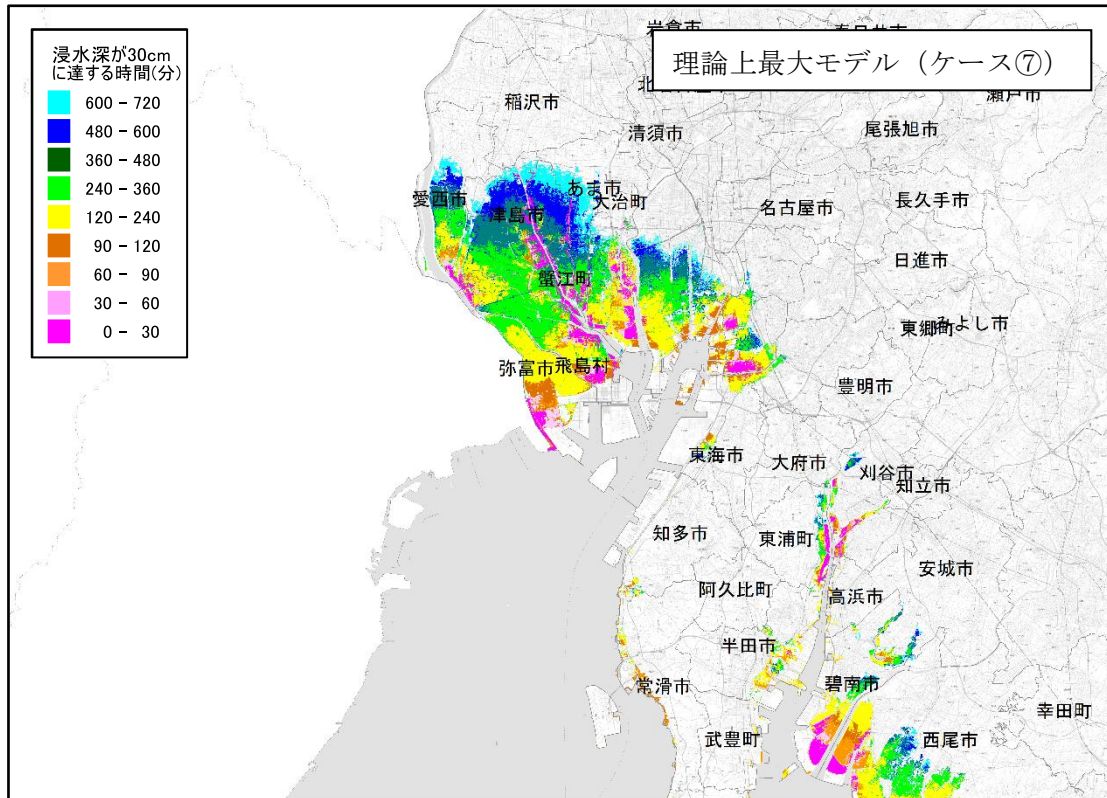


図 6-47 愛知県 (2014) における浸水深が 30cm に達する時間 (最大想定モデルの地震 (ケース①))

今回調査

愛知県西部



愛知県東部

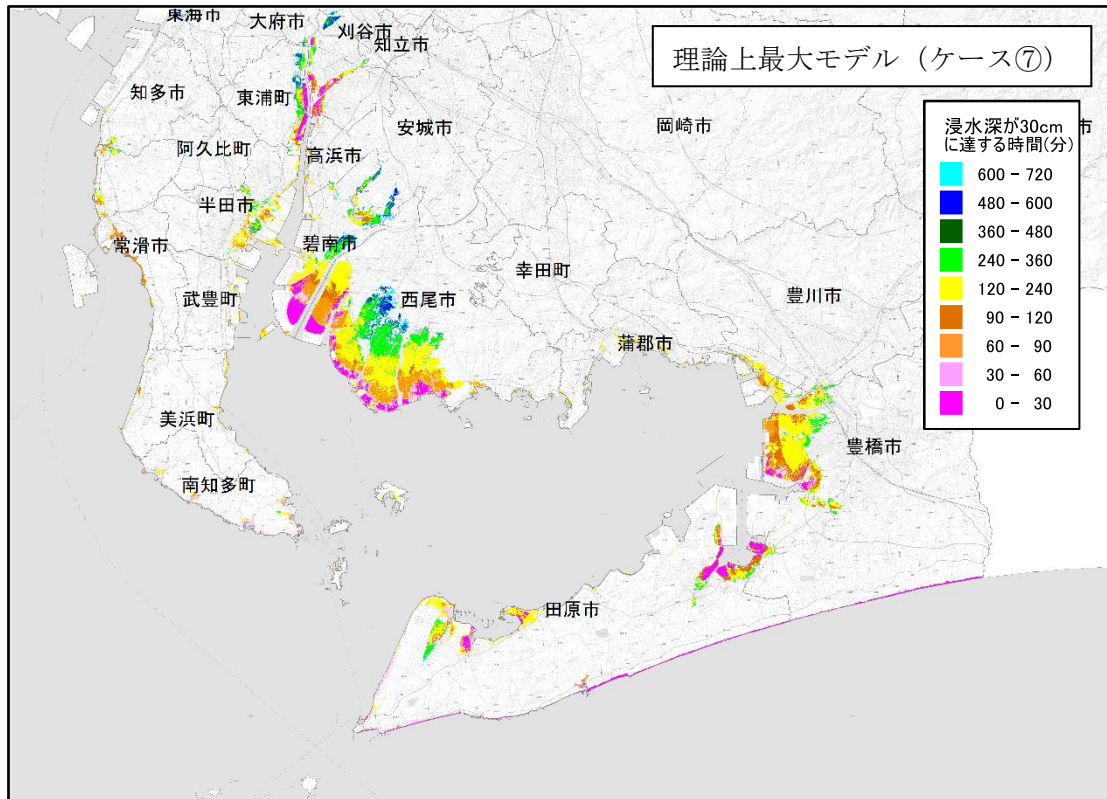
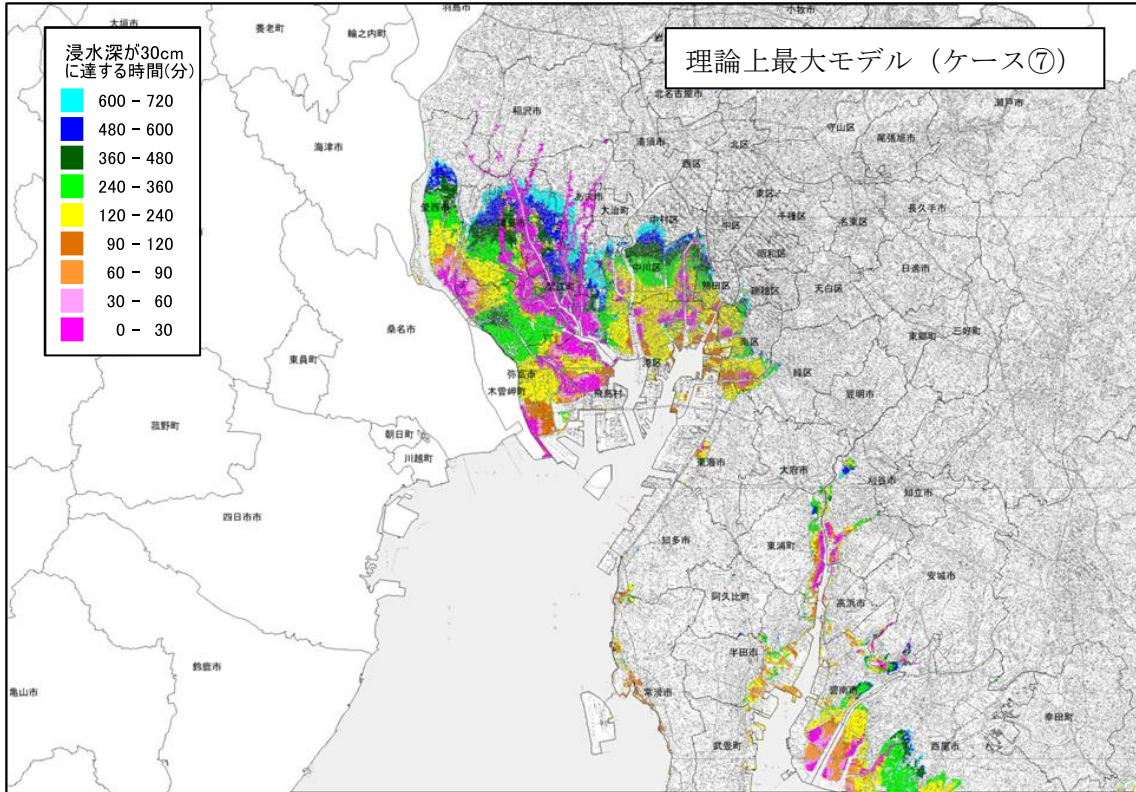


図 6-48 理論上最大モデル (ケース⑦) における浸水深が 30cm に達する時間

前回調査

愛知県西部



愛知県東部

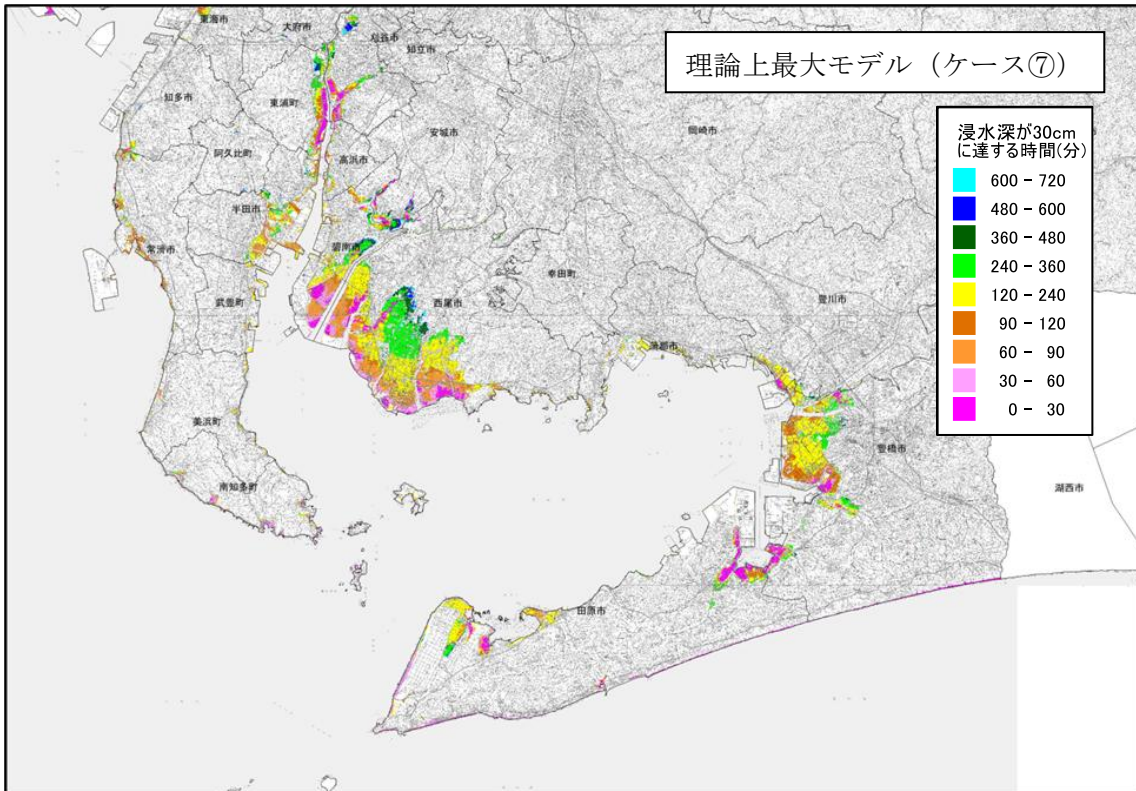
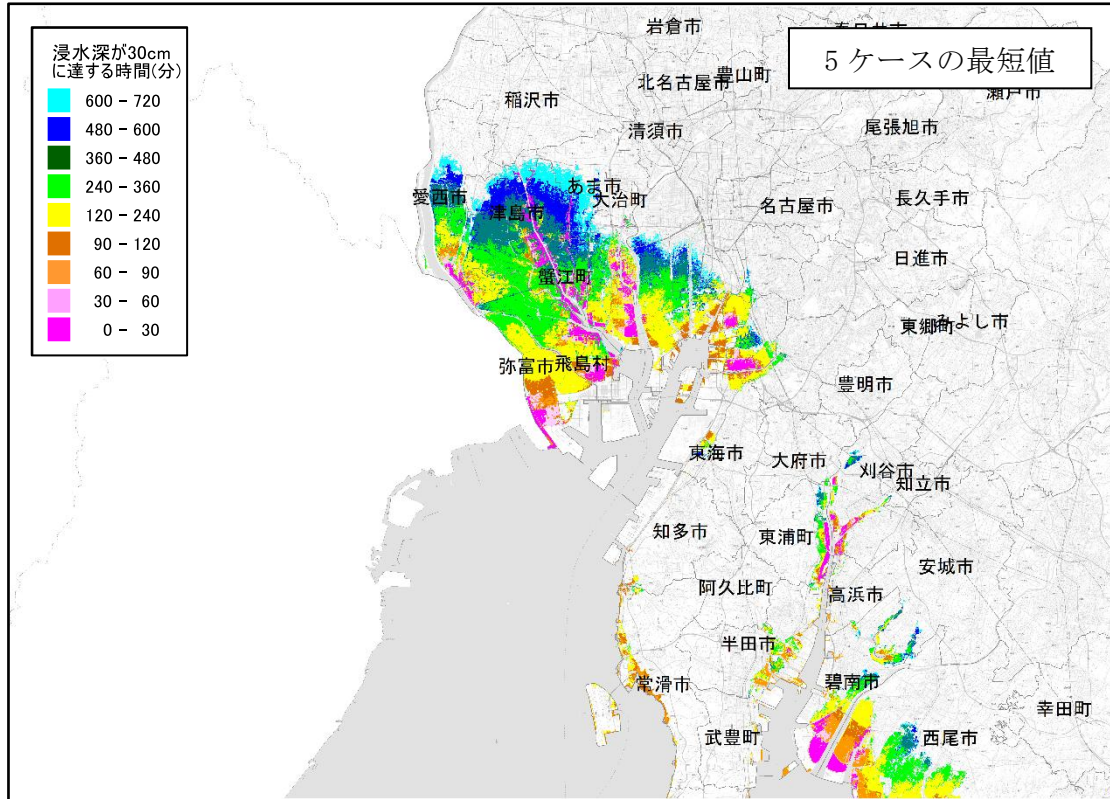


図 6-49 愛知県 (2014) における浸水深が 30cm に達する時間  
(最大想定モデルの地震 (ケース⑦))

今回調査

愛知県西部



愛知県東部

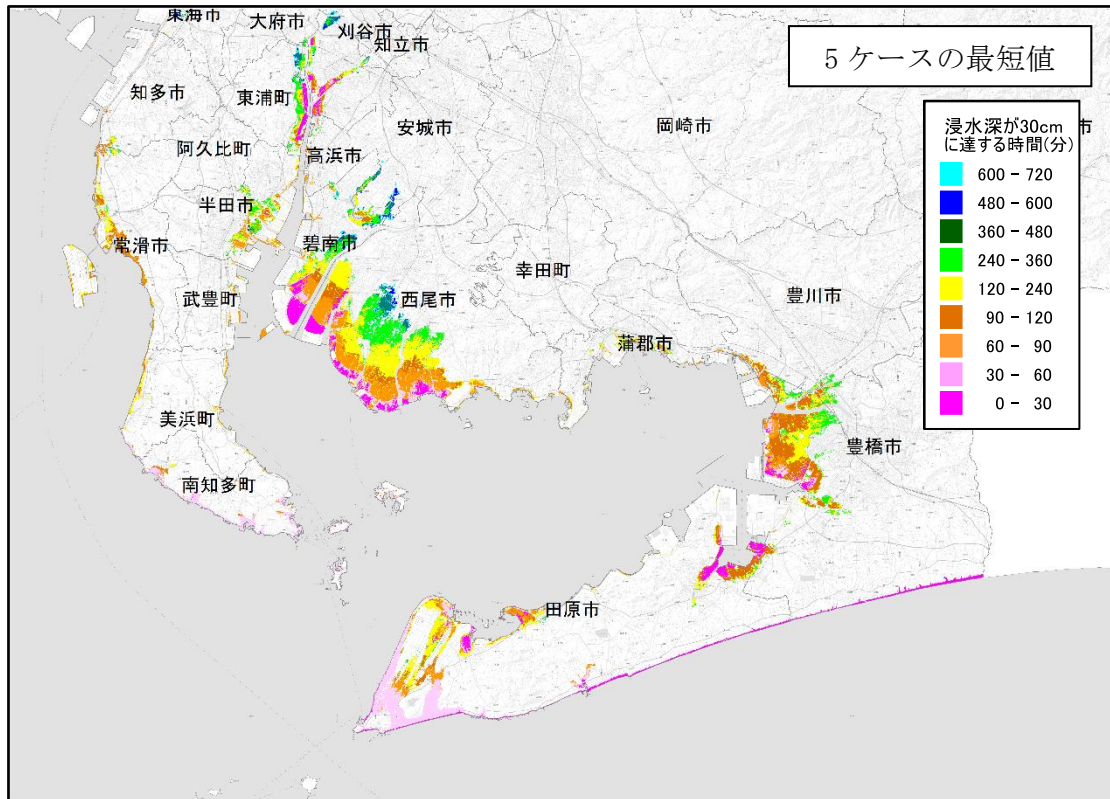


図 6-50 理論上最大モデルにおける浸水深が 30cm に達する時間 5 ケースの最短値

## (2) 半割れ地震の予測結果

西半割れ地震では、過去地震最大モデル、理論上最大モデルともに、浸水範囲は極めて狭く、発災後間もなく浸水深が 30cm に達する地域は一部の沿岸部に限られる。

過去地震最大モデルの東半割れ地震の浸水面積は、全割れ地震の同程度で、発災後間もなく浸水深が 30cm に達する地域は一部の沿岸部にとどまる。理論上最大モデルの東半割れ地震では、広い範囲で浸水が生じるため、発災後間もなく浸水深が 30 cm に達する地域がある。

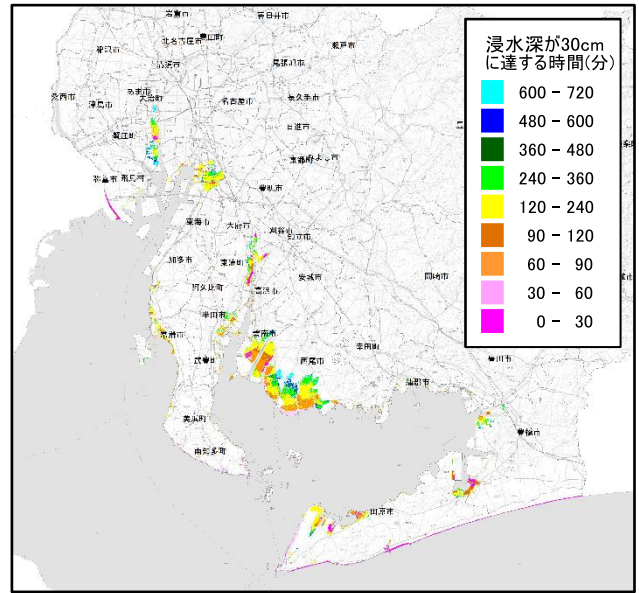
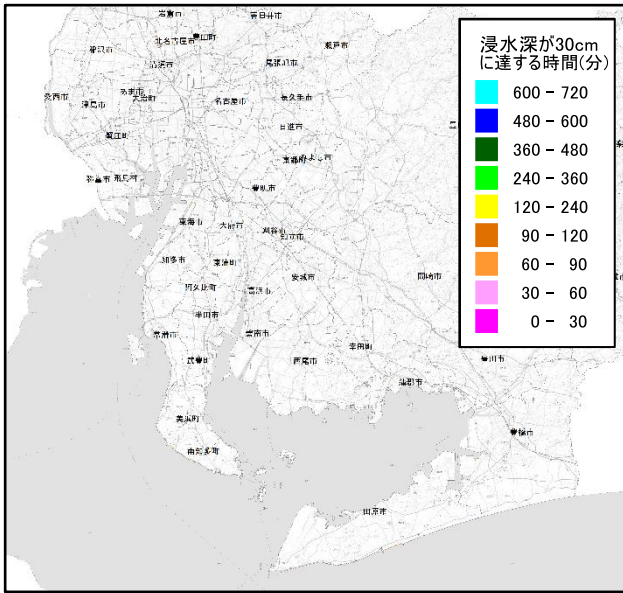


図 6-51 半割れ地震（過去地震最大モデル）における浸水深が 30cm に達する時間  
 （朔望平均満潮位 地殻変動量考慮）  
 （左：西半割れ地震、右：東半割れ地震）

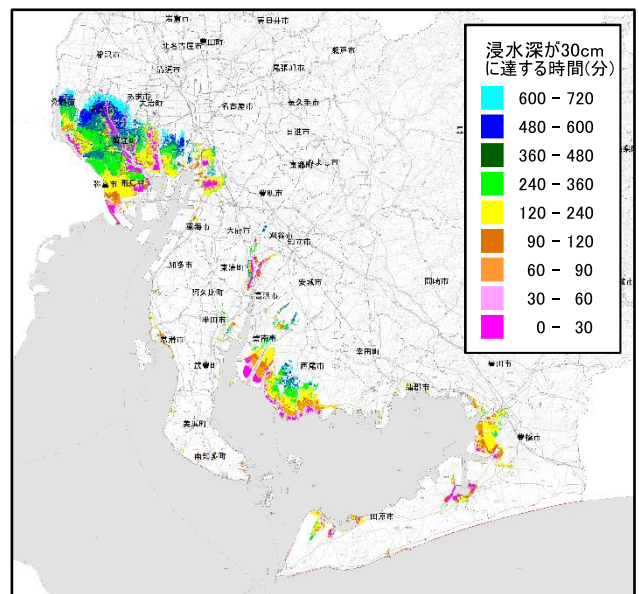
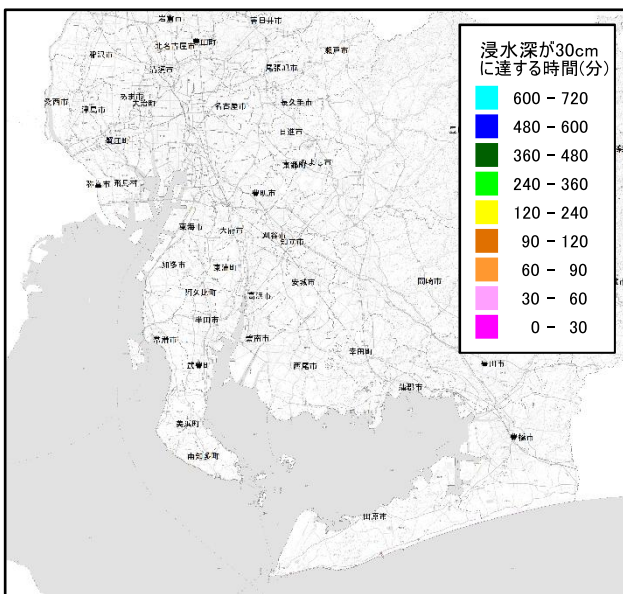


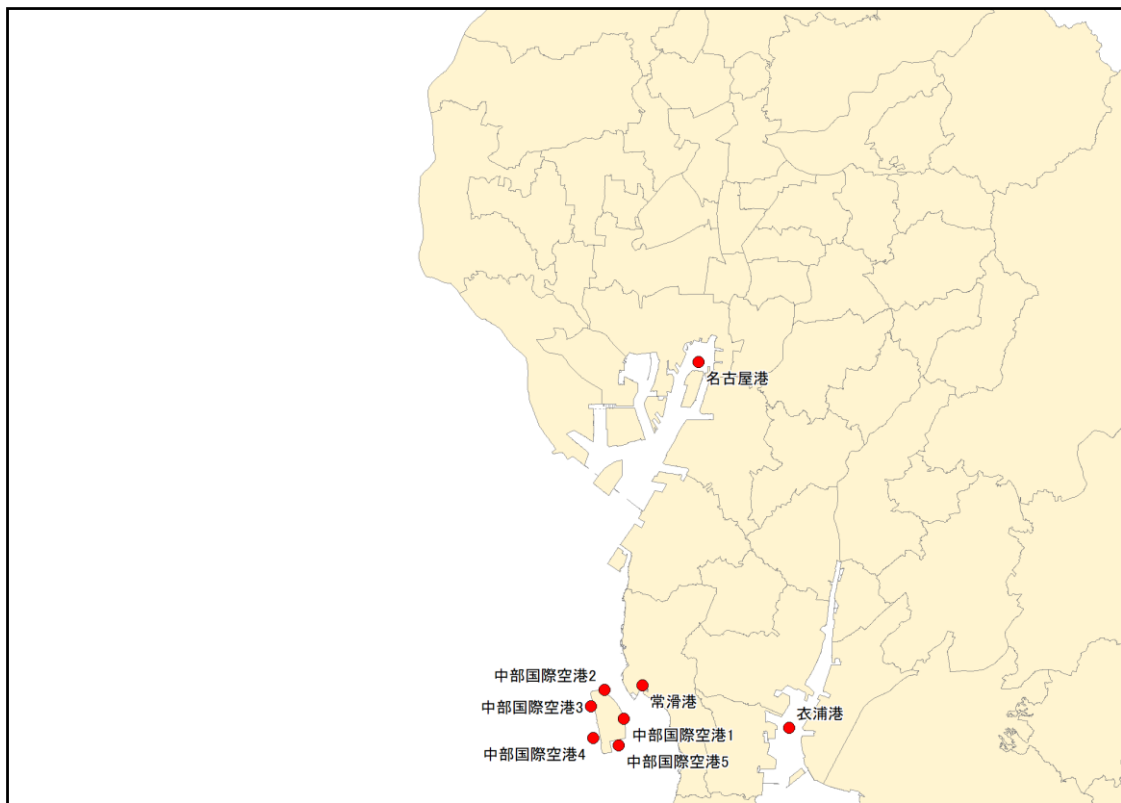
図 6-52 半割れ地震（理論上最大モデル）における浸水深が 30cm に達する時間  
 （朔望平均満潮位 地殻変動量考慮）  
 （左：西半割れ地震、右：東半割れ地震）

## 6.9. 主な波形出力地点（水位出力地点）における最高水位の予測結果

沿岸にどのような水位変動で津波が到達しているかを示すため、代表地点における水位の時間変化を示す波形を出力した。波形を出力する地点は、引き波を適切に計算できるよう（引き波が海底に達して波形を適切に出力することができなくなるように）、水深が深い、やや沖合としている。

図 6-53 に水位の時間変化を示す波形を出力する地点（水位出力地点）を示した。

水位出力地点 愛知県西部



水位出力地点 愛知県東部

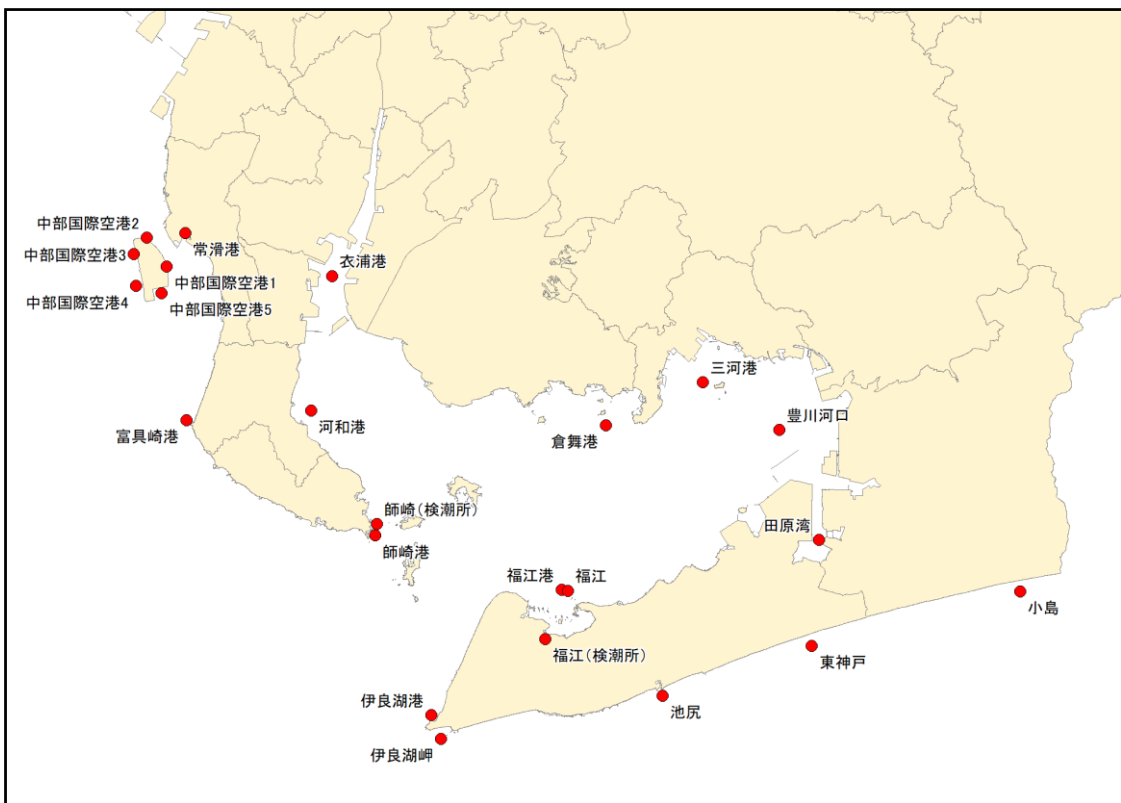


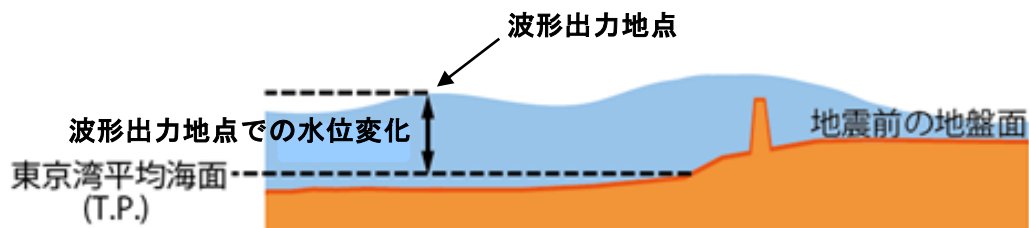
图 6-53 波形出力地点

表 6-7 に、水位出力地点における最高水位およびその出現時間を整理した。なお、水位の値は、朔望平均満潮位を含むが、地殻変動量は考慮していない。

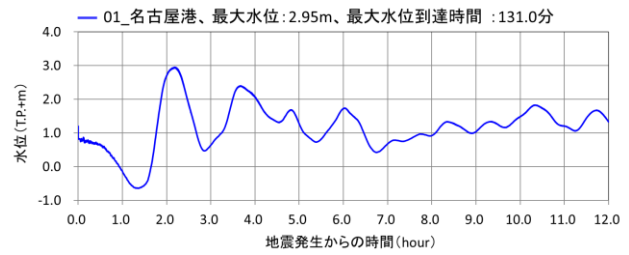
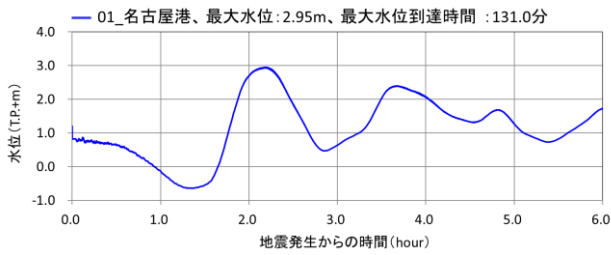
表 6-7 主な波形出力地点における最大水位

地名	過去地震最大モデル		理論上最大モデル											
	最高水位 (m)	出現時間 (分)	ケース1		ケース6		ケース7		ケース8		ケース9		左の5ケー スの最大値 (m)	左の5ケー スの最大値 の出現時間 (分)
			最高水位 (m)	出現時間 (分)	最高水位 (m)	出現時間 (分)	最高水位 (m)	出現時間 (分)	最高水位 (m)	出現時間 (分)	最高水位 (m)	出現時間 (分)		
名古屋港	3.0	131.0	2.9	121.6	2.8	120.9	2.7	117.7	2.8	122.4	2.8	121.9	2.9	121.6
常滑港	3.1	173.0	3.0	181.2	3.1	233.1	3.0	150.5	3.2	237.9	3.7	176.7	3.7	176.7
中部国際空港1	2.9	225.8	3.0	231.9	3.1	231.8	2.6	109.0	2.9	240.6	3.3	174.3	3.3	174.3
中部国際空港2	2.4	171.9	2.7	182.9	2.4	182.9	2.3	150.9	2.3	118.5	3.0	176.9	3.0	176.9
中部国際空港3	1.9	222.0	2.3	70.4	2.0	223.4	1.8	224.1	2.1	73.2	2.2	70.3	2.3	70.4
中部国際空港4	2.0	219.9	2.1	224.6	2.2	224.4	1.8	185.6	1.9	228.4	2.1	120.3	2.2	224.4
中部国際空港5	2.6	177.1	2.5	223.4	2.5	222.5	2.0	185.4	2.3	237.9	2.6	221.0	2.6	221.0
富具崎港	2.1	162.6	2.5	163.4	2.3	166.9	2.0	230.6	2.0	169.8	2.6	156.6	2.6	156.6
師崎港	2.2	147.5	2.6	49.4	2.2	49.6	2.0	46.0	2.3	52.5	2.6	49.3	2.6	49.4
師崎(検潮所)	2.1	146.9	2.3	49.9	1.9	221.6	1.9	228.3	2.2	275.2	2.3	49.8	2.3	49.9
衣浦港	2.0	175.1	1.9	248.4	2.0	247.8	2.0	211.2	2.0	247.1	1.8	77.5	2.0	247.8
河和港	1.8	219.6	2.0	140.0	1.9	233.8	2.0	201.4	1.8	233.0	1.9	162.4	2.0	140.0
倉舞港	2.1	132.6	2.4	134.0	2.3	137.2	2.3	202.3	2.3	140.8	2.8	131.4	2.8	131.4
三河港	1.9	245.9	2.0	249.6	2.0	249.8	2.1	218.2	1.9	250.1	1.9	213.2	2.1	218.2
豊川河口	1.9	251.4	1.9	158.9	1.8	158.4	2.0	223.2	1.8	232.7	1.8	155.5	2.0	223.2
田原湾	2.1	263.9	2.0	252.5	2.0	265.2	2.2	240.7	1.9	257.6	1.9	244.3	2.2	240.7
福江港	1.8	218.6	2.0	223.4	2.0	222.8	2.0	189.4	1.9	226.7	2.0	182.4	2.0	223.4
福江	1.8	218.0	2.0	223.3	2.0	222.9	2.0	189.7	1.9	227.0	2.0	183.3	2.0	223.3
福江(検潮所)	1.9	233.6	1.9	238.1	1.9	237.7	1.8	205.2	1.8	208.1	1.8	199.5	1.9	238.1
伊良湖港	2.5	32.0	3.6	36.8	3.0	96.5	2.5	163.9	3.0	41.7	3.4	37.1	3.6	36.8
伊良湖岬	4.8	30.0	11.1	37.1	7.3	37.1	4.4	82.6	7.2	39.8	10.1	37.1	11.1	37.1
池尻	5.9	118.1	8.6	33.1	8.1	32.6	5.0	76.4	8.3	35.3	7.9	33.2	8.6	33.1
東神戸	5.9	26.1	11.2	30.9	11.8	30.6	5.7	131.0	10.4	32.7	10.3	31.0	11.8	30.6
小島	4.5	22.0	9.9	27.6	9.7	27.6	5.0	23.7	7.3	28.8	7.4	27.6	9.9	27.6

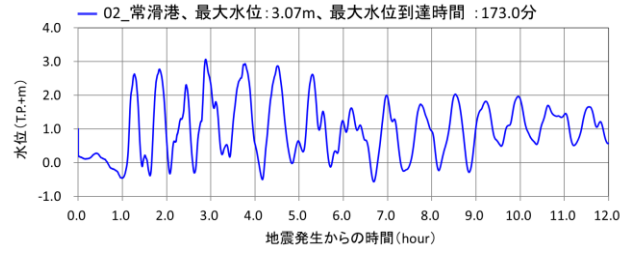
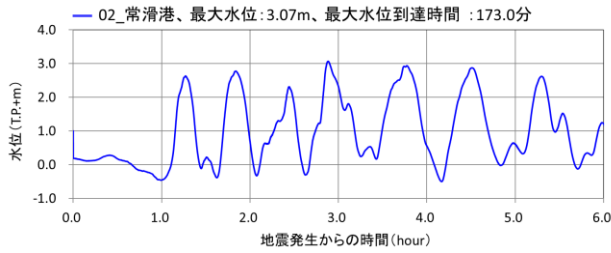
- ・最高水位は、陸からやや離れた位置における水位の最高値を示す。なお、地殻変動量は加味していない。
- ・最高水位は、小数点第二位を切り上げて示す。



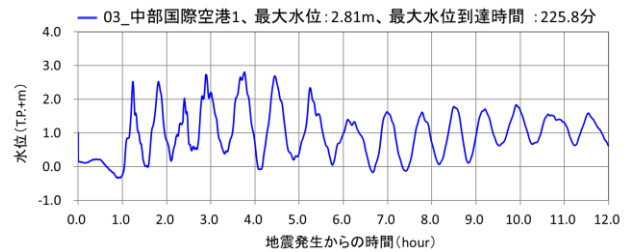
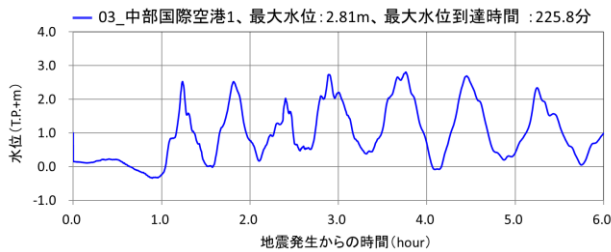
01\_名古屋港



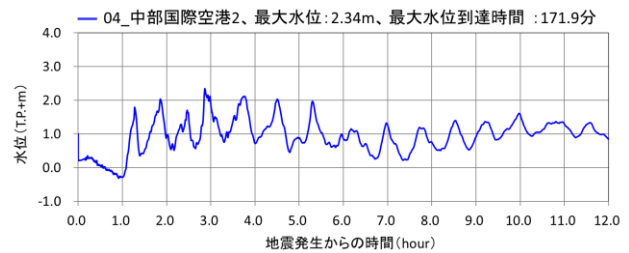
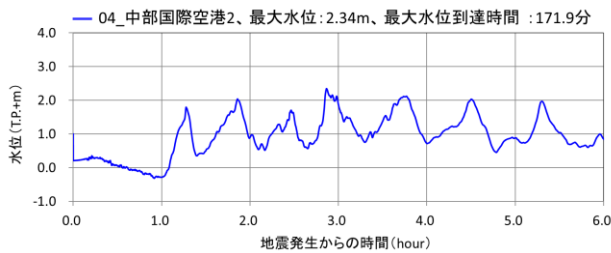
02\_常滑港



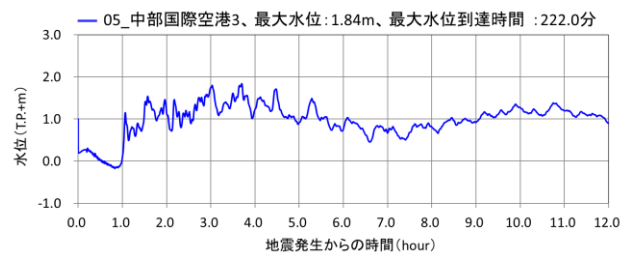
03\_中部国際空港 1



04\_中部国際空港 2



05\_中部国際空港 3



06\_中部国際空港 4

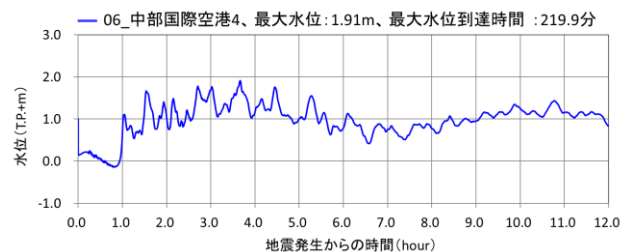
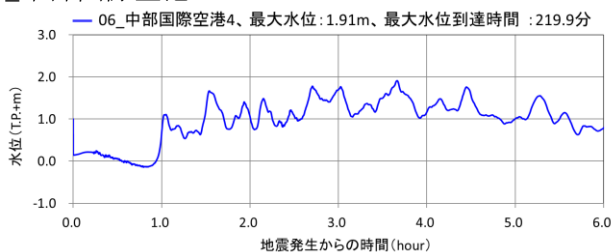
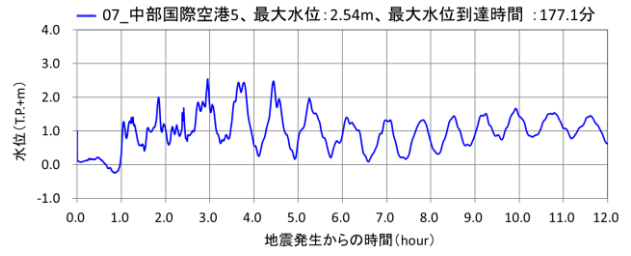
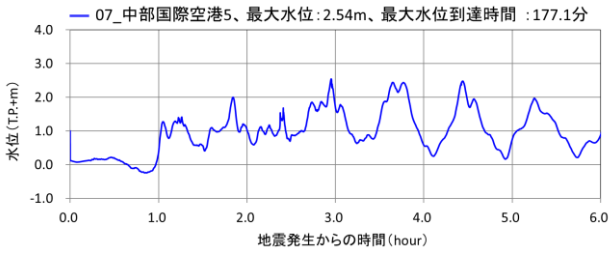


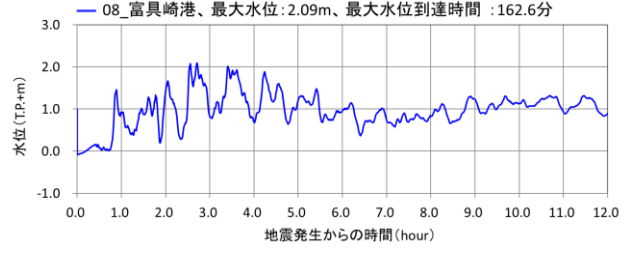
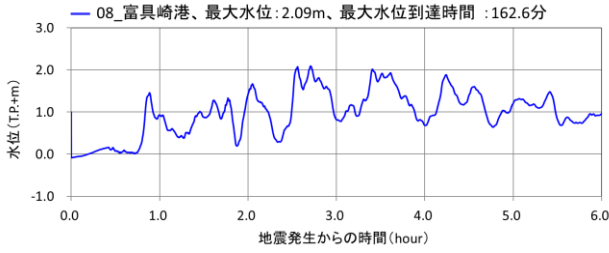
図 6-54(1) 津波波形時系列 (左側:6時間 右側:12時間) 過去地震最大モデル

注) 最大水位 (最高水位) は、陸からやや離れた位置における水位の最高値を示す。なお、地殻変動量は加味していない。いずれの波形も、0時に地盤変動 (沈下) に伴って水位も数 10 cm 低下している。

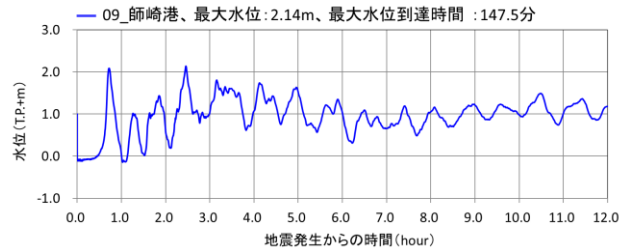
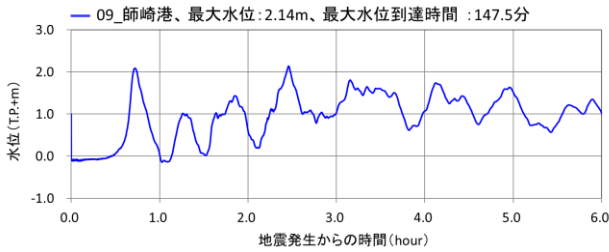
07\_中部国際空港5



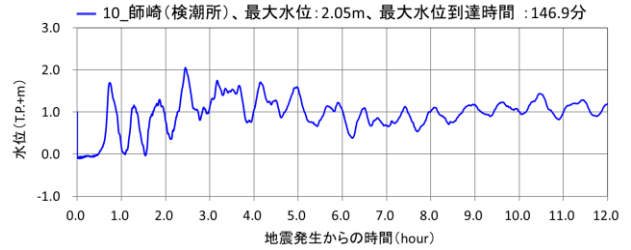
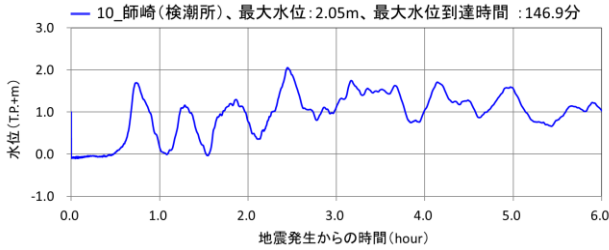
08\_富具崎港



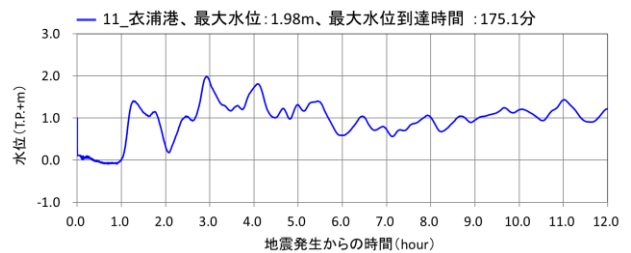
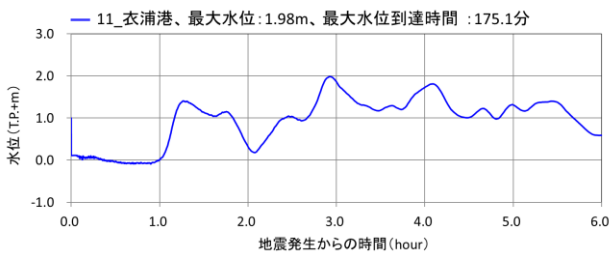
09\_師崎港



10\_師崎(検潮所)



11\_衣浦港



12\_河和港

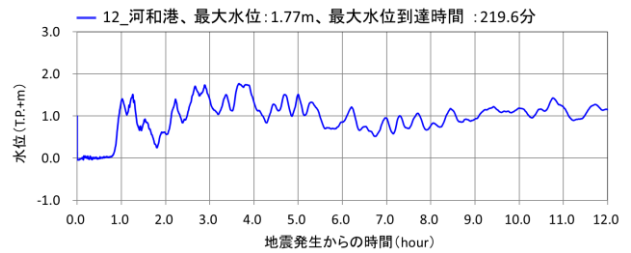
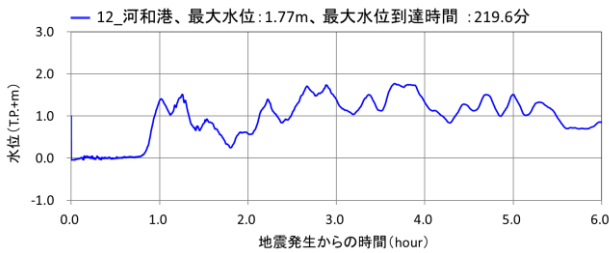
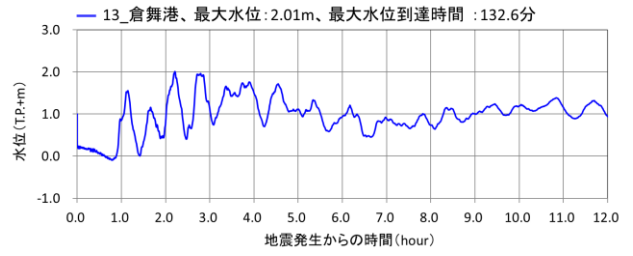
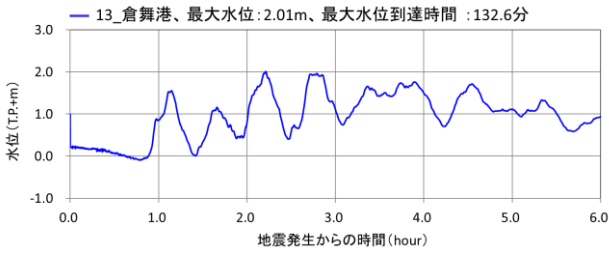


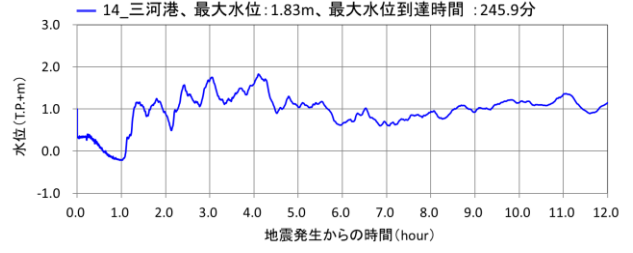
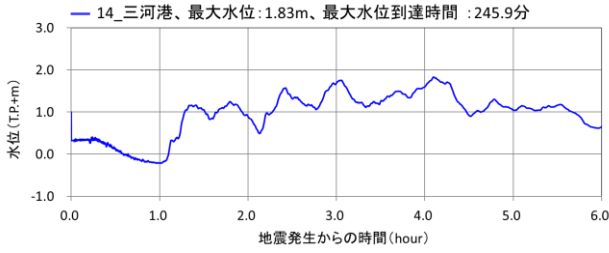
図 6-54 (2) 津波波形時系列 (左側:6時間 右側:12時間) 過去地震最大モデル

注) 最大水位 (最高水位) は、陸からやや離れた位置における水位の最高値を示す。なお、地殻変動量は加味していない。いずれの波形も、0時に地盤変動(沈下)に伴って水位も数10cm低下している。

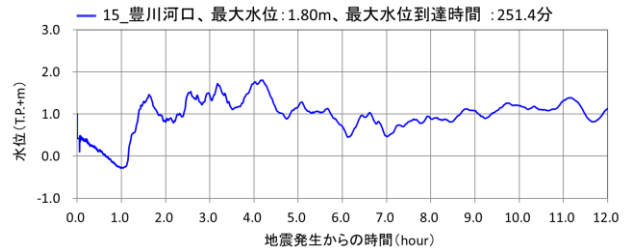
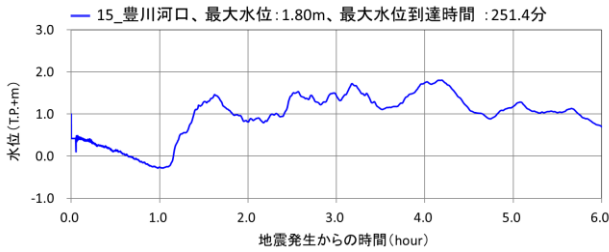
13\_倉舞港



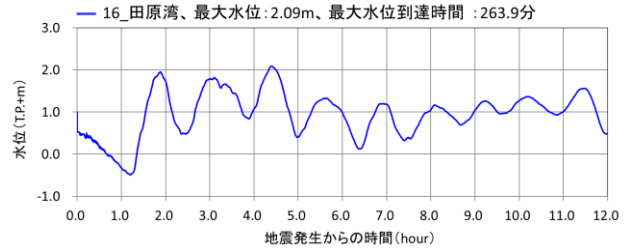
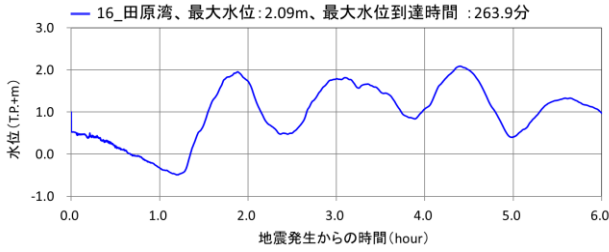
14\_三河港



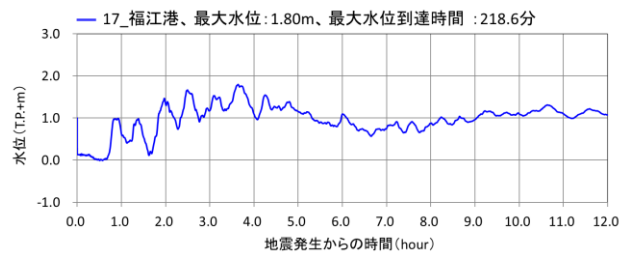
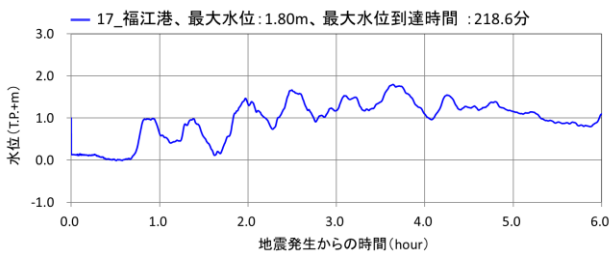
15\_豊川河口



16\_田原湾



17\_福江港



18\_福江

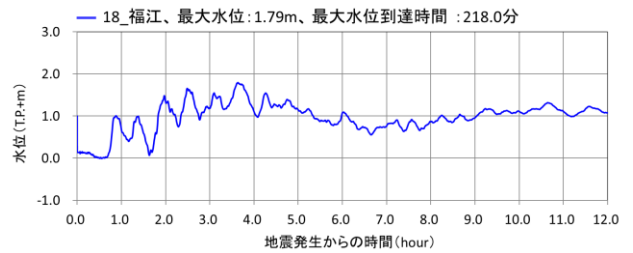
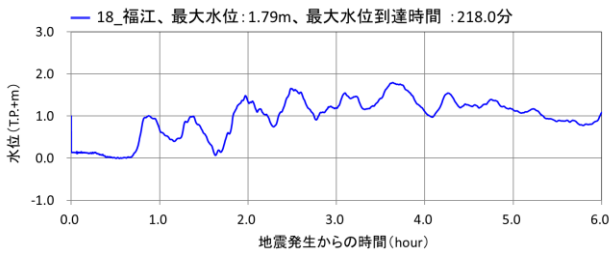
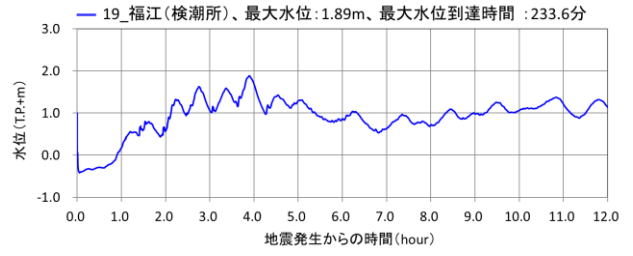
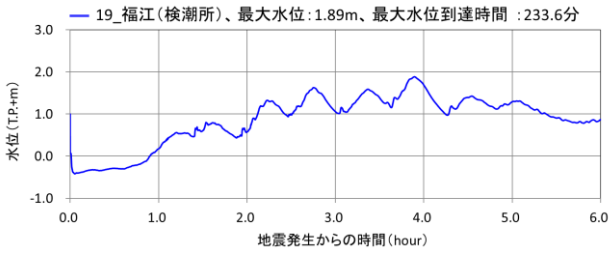


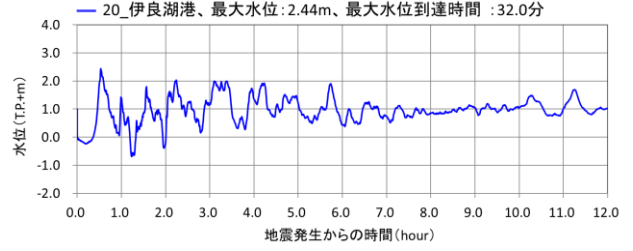
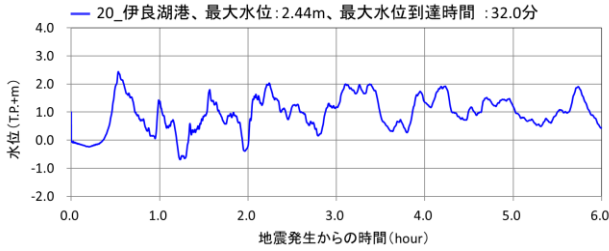
図 6-54 (3) 津波波形時系列 (左側:6時間 右側:12時間) 過去地震最大モデル

注) 最大水位 (最高水位) は、陸からやや離れた位置における水位の最高値を示す。なお、地殻変動量は加味していない。いずれの波形も、0時に地盤変動 (沈下) に伴って水位も数 10 cm 低下している。

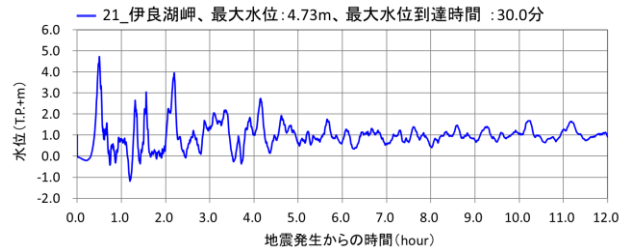
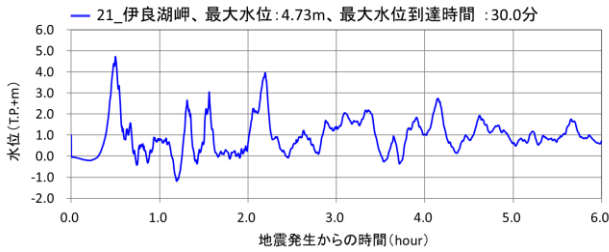
19\_福江 (検潮所)



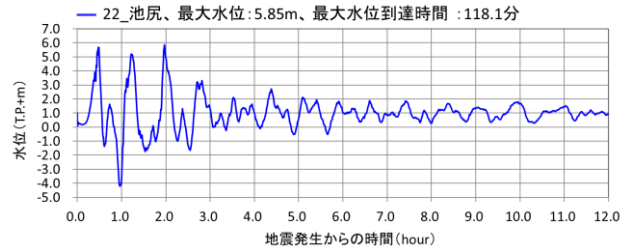
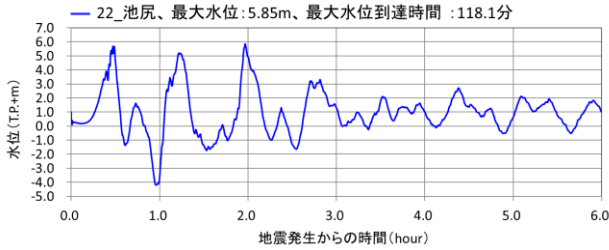
20\_伊良湖港



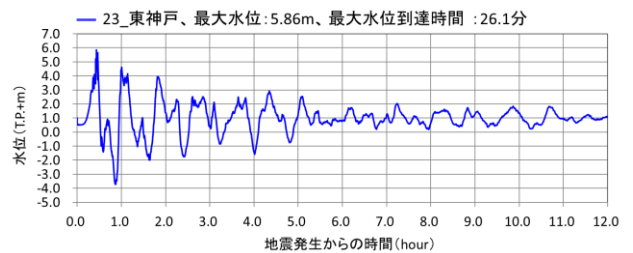
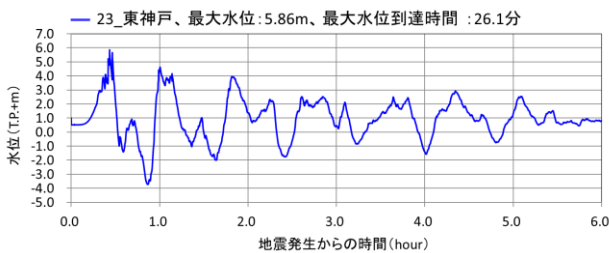
21\_伊良湖岬



22\_池尻



23\_東神戸



24\_小島

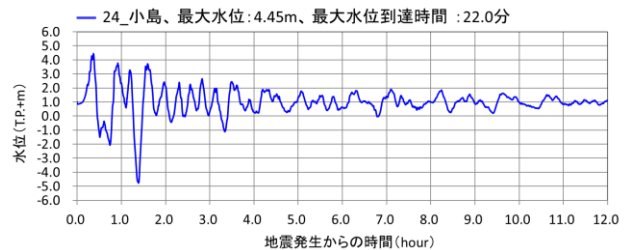
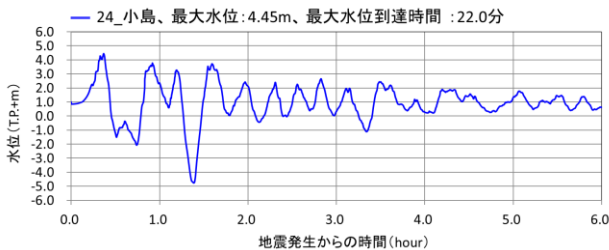
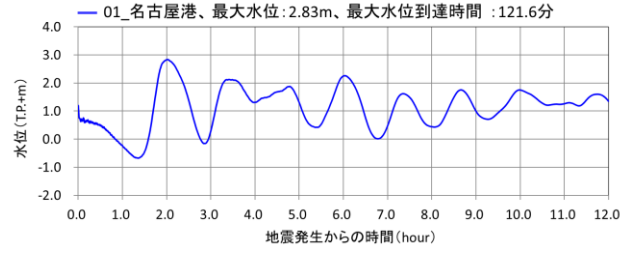
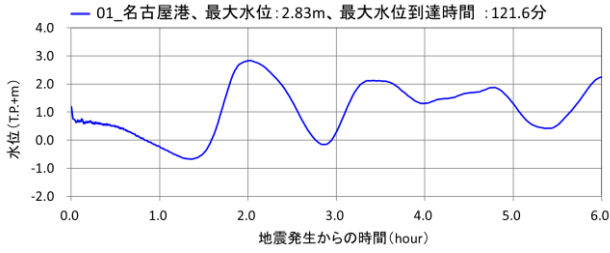


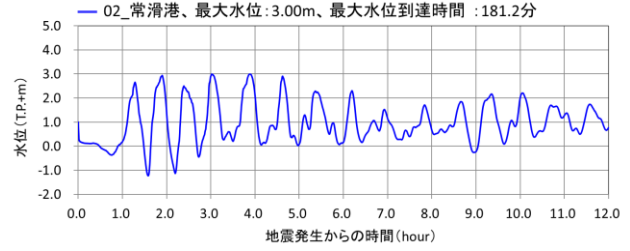
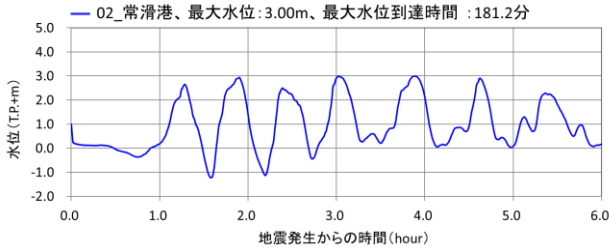
図 6-54 (4) 津波波形時系列 (左側:6 時間 右側:12 時間) 過去地震最大モデル

注) 最大水位 (最高水位) は、陸からやや離れた位置における水位の最高値を示す。なお、地殻変動量は加味していない。いずれの波形も、0 時に地盤変動 (沈下) に伴って水位も数 10 cm 低下している。

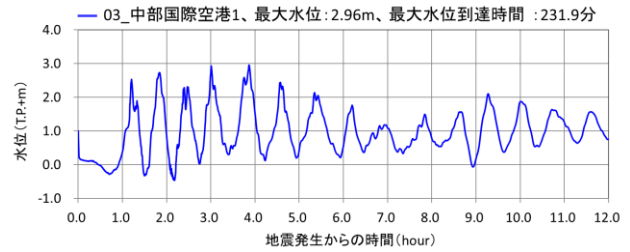
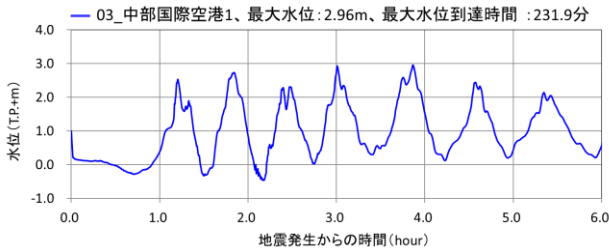
01\_名古屋港



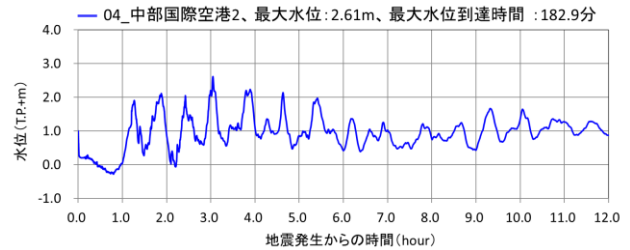
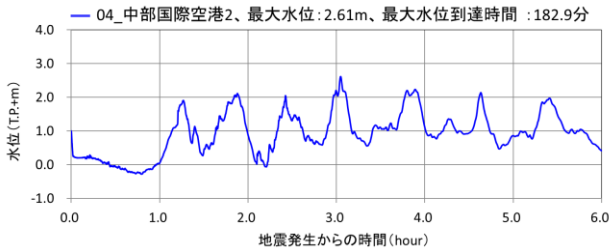
02\_常滑港



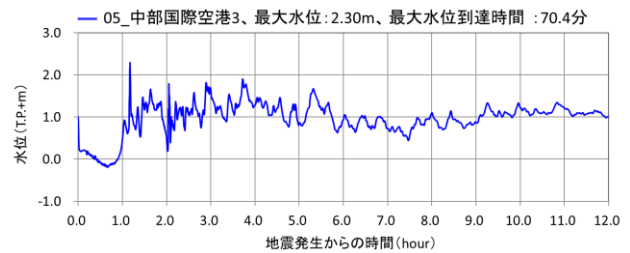
03\_中部国際空港 1



04\_中部国際空港 2



05\_中部国際空港 3



06\_中部国際空港 4

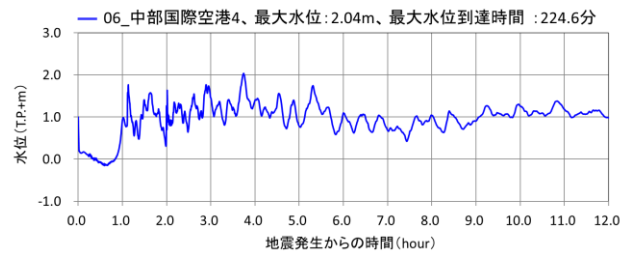
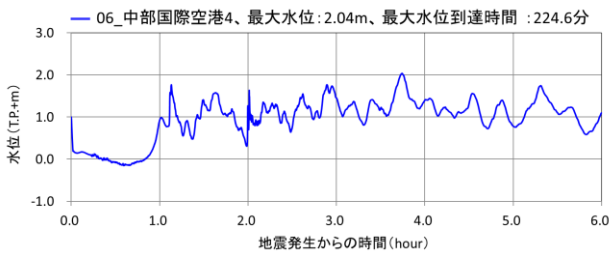
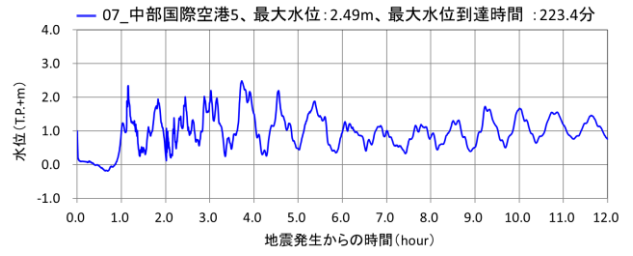
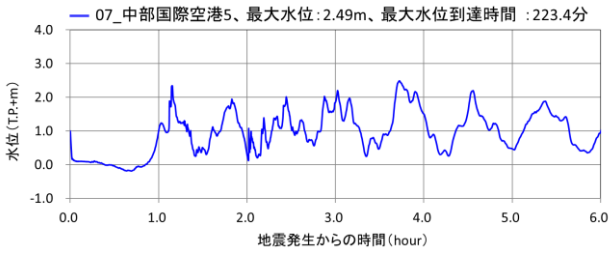


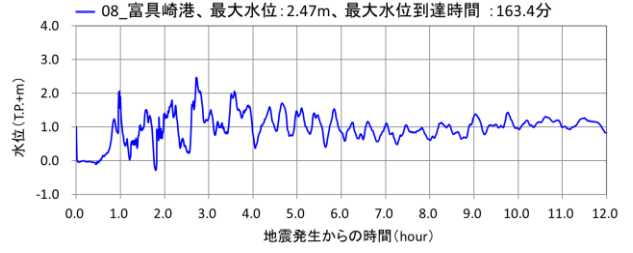
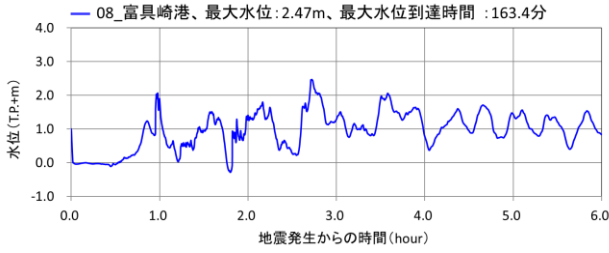
図 6-55(1) 津波波形時系列 (左側:6時間 右側:12時間) 理論上最大モデル (ケース①)

注) 最大水位 (最高水位) は、陸からやや離れた位置における水位の最高値を示す。なお、地殻変動量は加味していない。いずれの波形も、0時に地盤変動 (沈下) に伴って水位も数 10 cm 低下している。

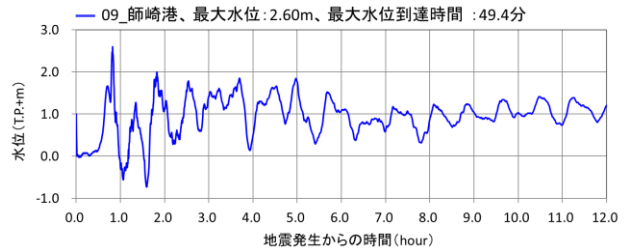
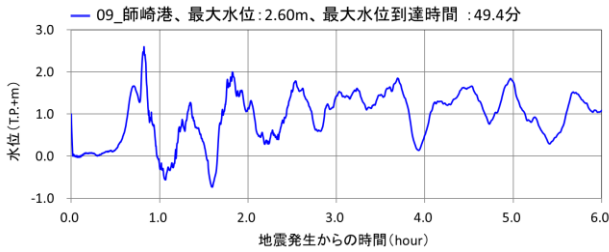
07\_中部国際空港 5



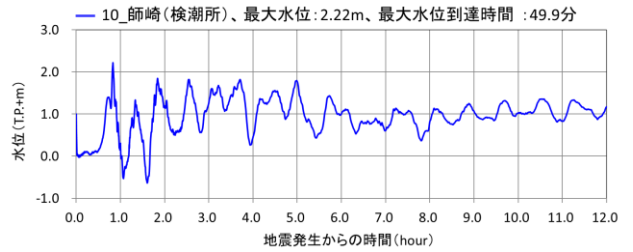
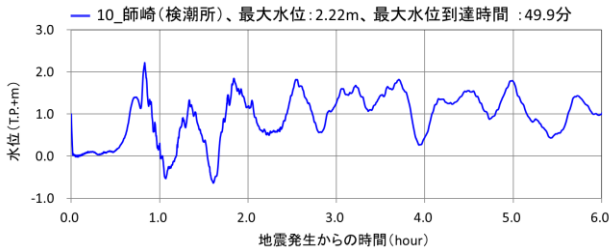
08\_富具崎港



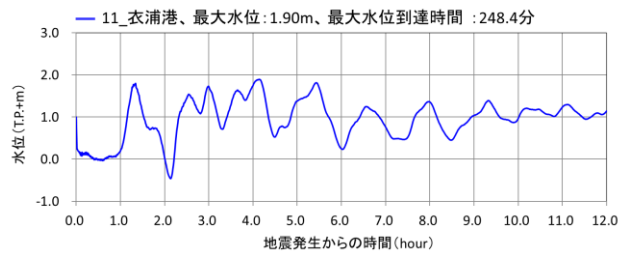
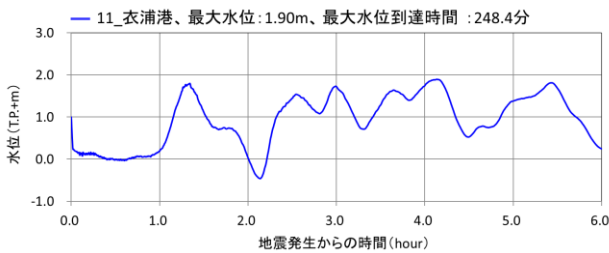
09\_師崎港



10\_師崎 (検潮所)



11\_衣浦港



12\_河和港

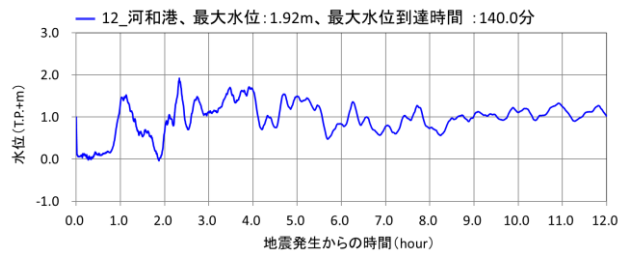
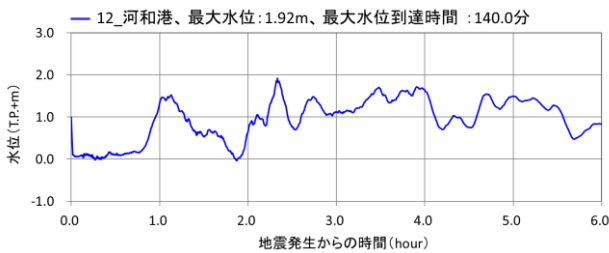
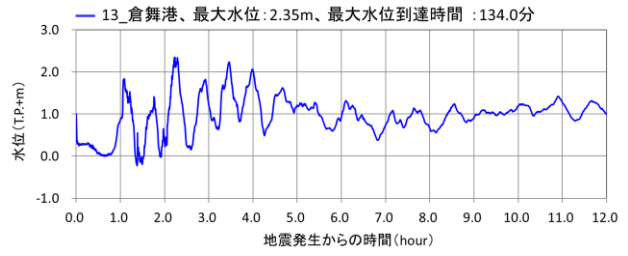
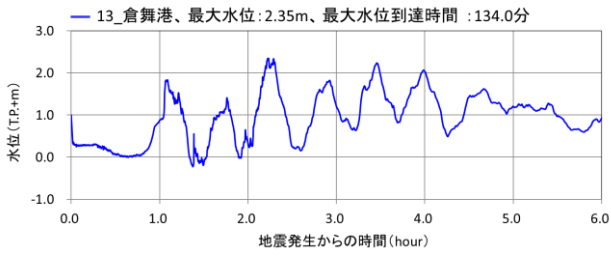


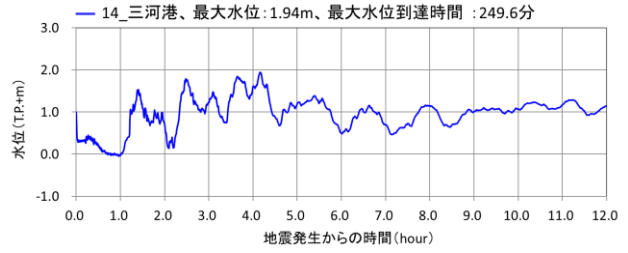
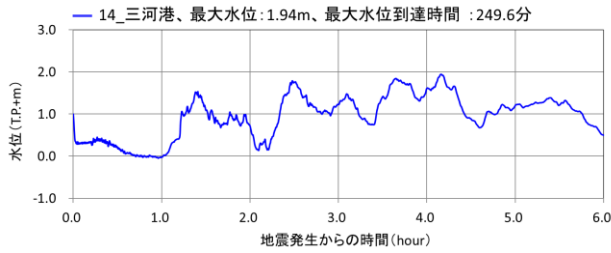
図 6-55(2) 津波波形時系列 (左側:6時間 右側:12時間) 理論上最大モデル (ケース①)

注) 最大水位 (最高水位) は、陸からやや離れた位置における水位の最高値を示す。なお、地殻変動量は加味していない。いずれの波形も、0時に地盤変動 (沈下) に伴って水位も数 10 cm 低下している。

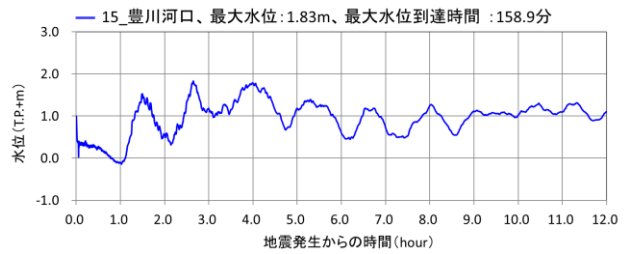
13\_倉舞港



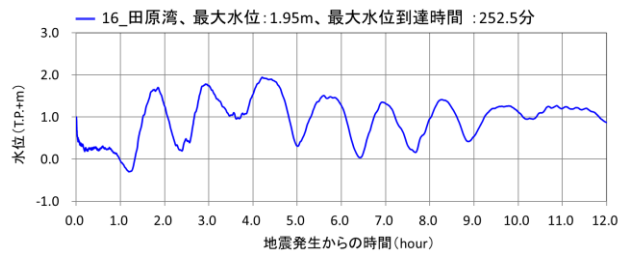
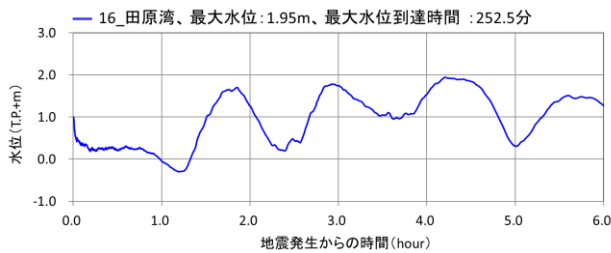
14\_三河港



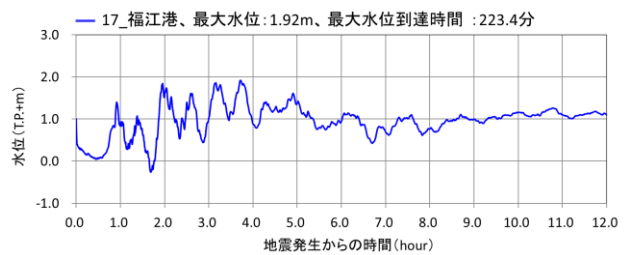
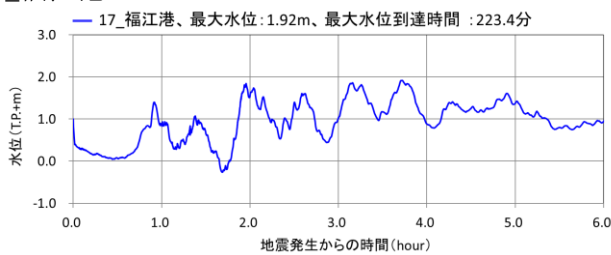
15\_豊川河口



16\_田原湾



17\_福江港



18\_福江

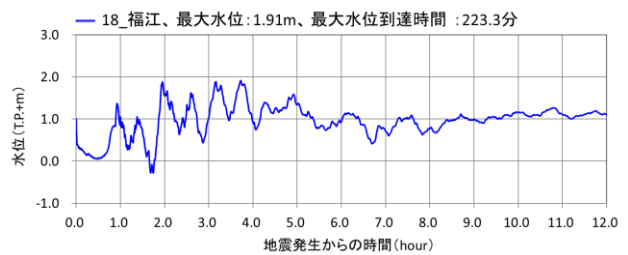
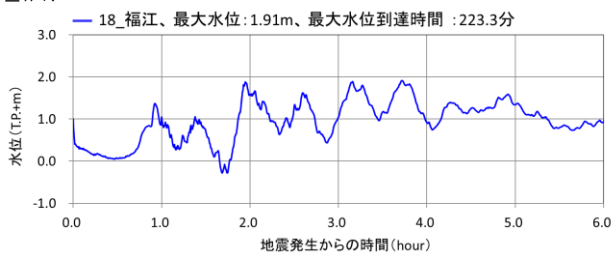
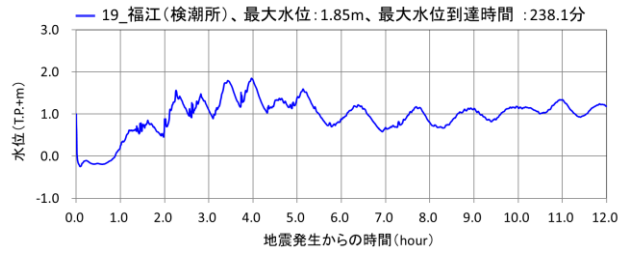
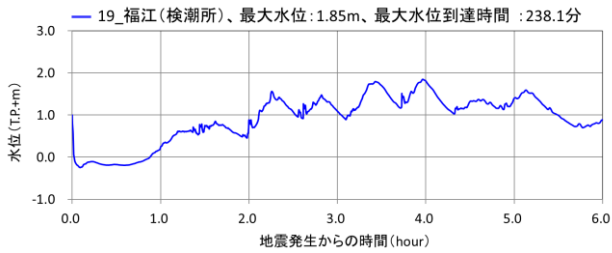


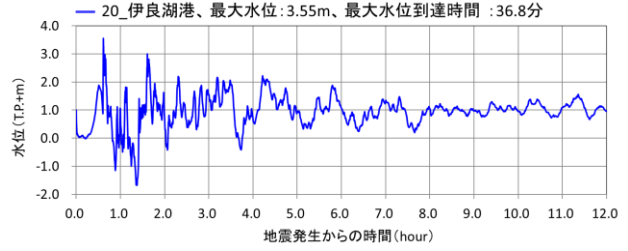
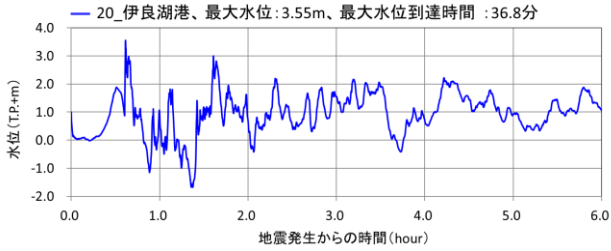
図 6-55(3) 津波波形時系列 (左側:6時間 右側:12時間) 理論上最大モデル (ケース①)

注) 最大水位 (最高水位) は、陸からやや離れた位置における水位の最高値を示す。なお、地殻変動量は加味していない。いずれの波形も、0時に地盤変動 (沈下) に伴って水位も数 10 cm 低下している。

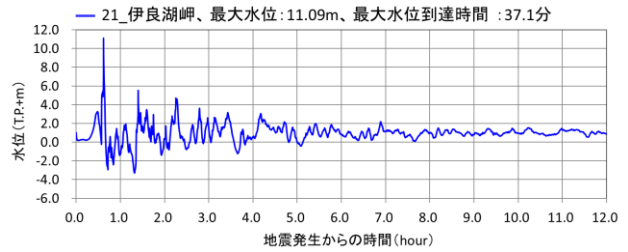
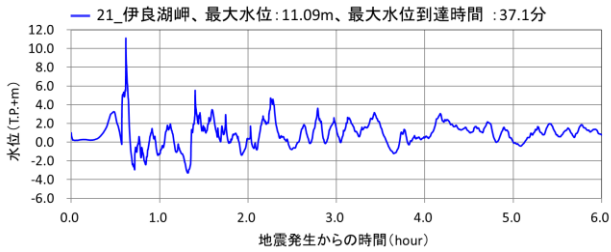
19\_福江 (検潮所)



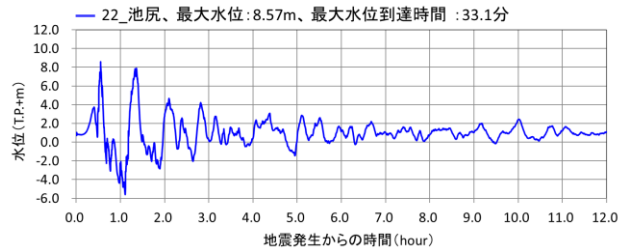
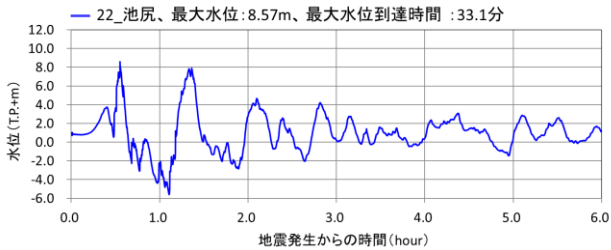
20\_伊良湖港



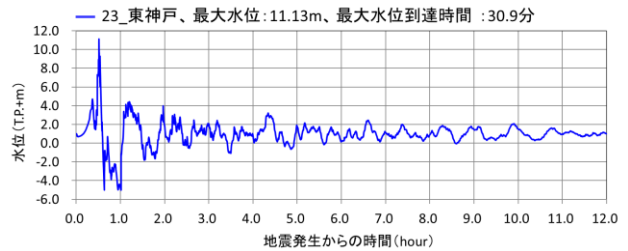
21\_伊良湖岬



22\_池尻



23\_東神戸



24\_小島

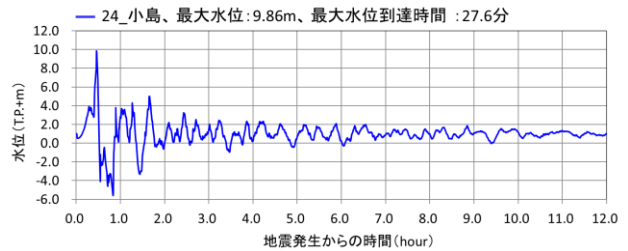
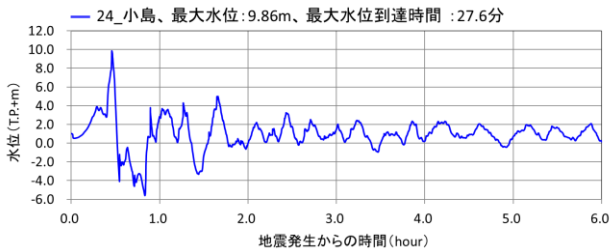
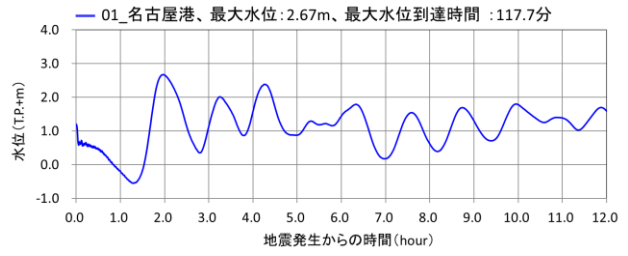
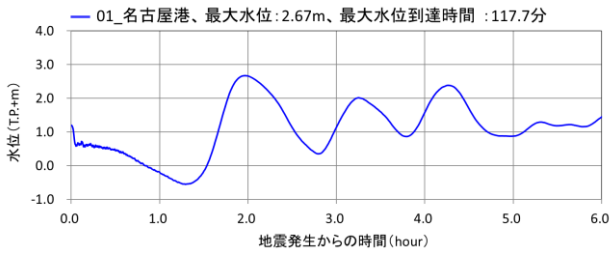


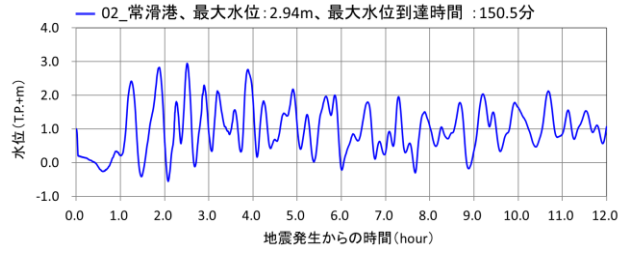
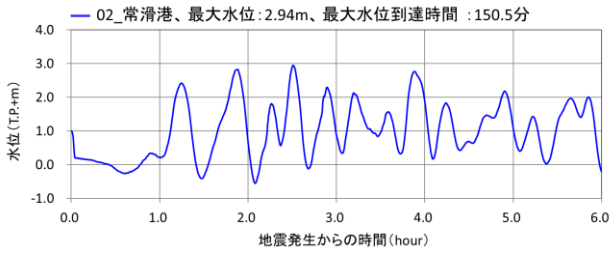
図 6-55(4) 津波波形時系列 (左側:6時間 右側:12時間) 理論上最大モデル (ケース①)

注) 最大水位 (最高水位) は、陸からやや離れた位置における水位の最高値を示す。なお、地殻変動量は加味していない。いずれの波形も、0時に地盤変動 (沈下) に伴って水位も数 10 cm 低下している。

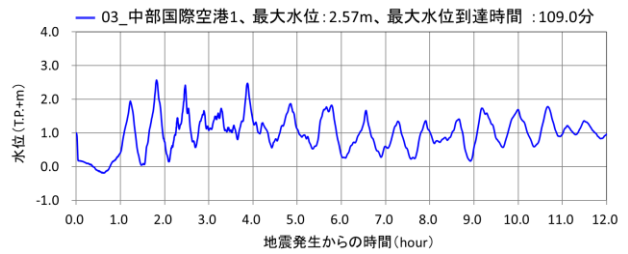
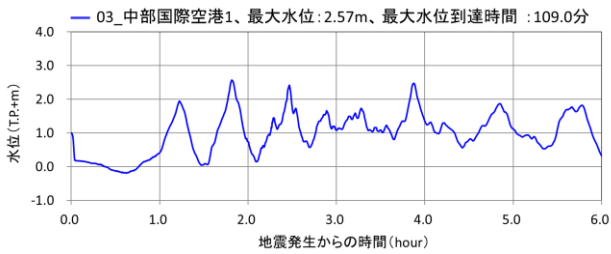
01\_名古屋港



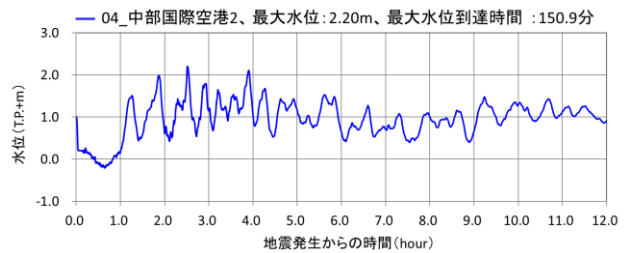
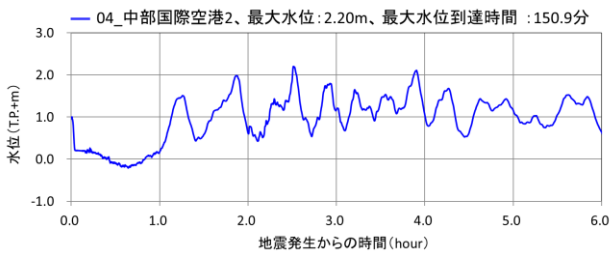
02\_常滑港



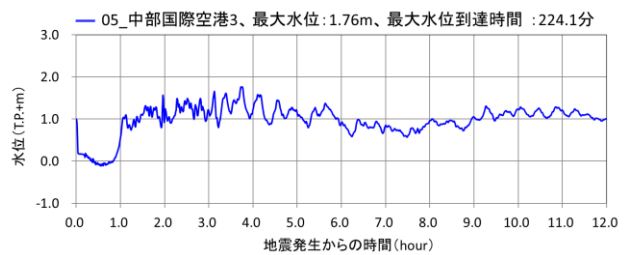
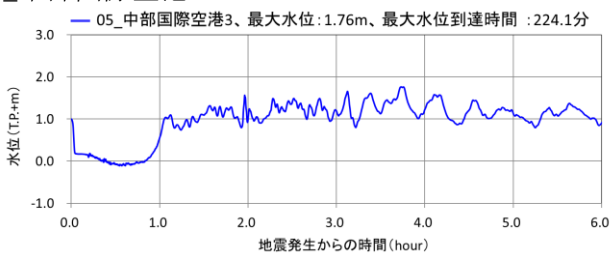
03\_中部国際空港 1



04\_中部国際空港 2



05\_中部国際空港 3



06\_中部国際空港 4

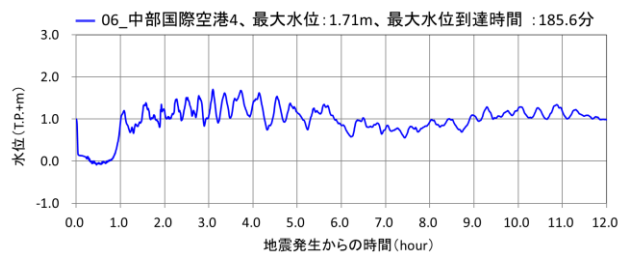
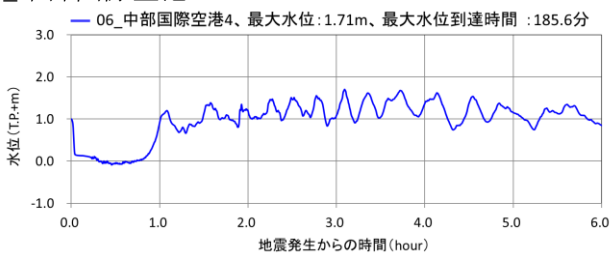
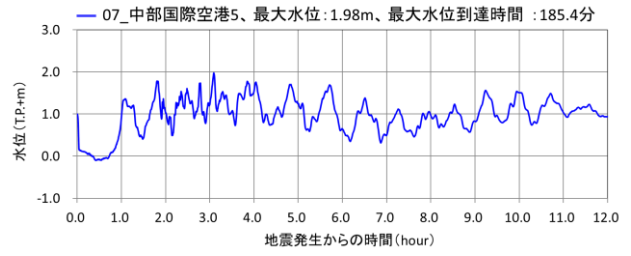
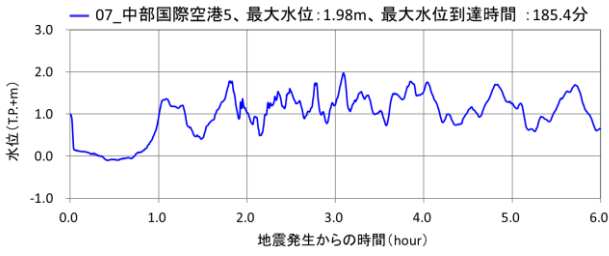


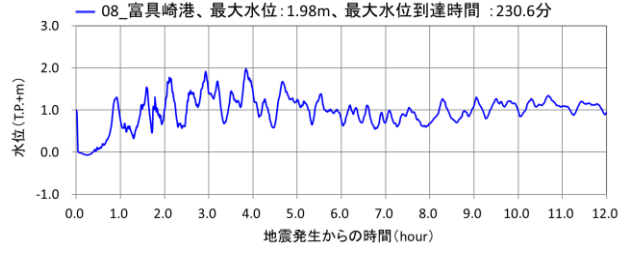
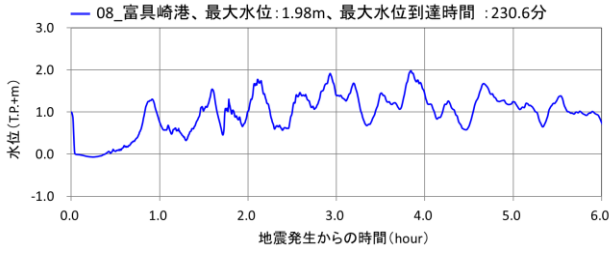
図 6-56(1) 津波波形時系列 (左側:6 時間 右側:12 時間) 理論上最大モデル (ケース⑦)

注) 最大水位 (最高水位) は、陸からやや離れた位置における水位の最高値を示す。なお、地殻変動量は加味していない。いずれの波形も、0 時に地盤変動 (沈下) に伴って水位も数 10 cm 低下している。

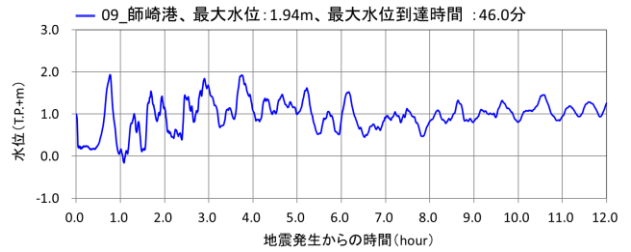
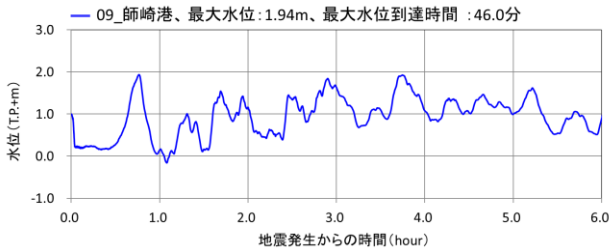
07\_中部国際空港5



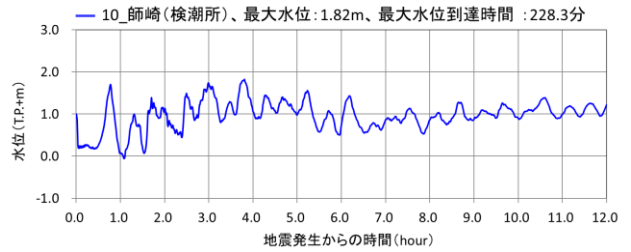
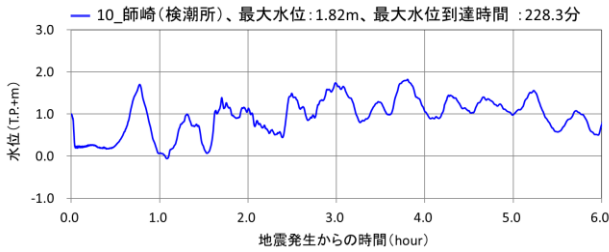
08\_富具崎港



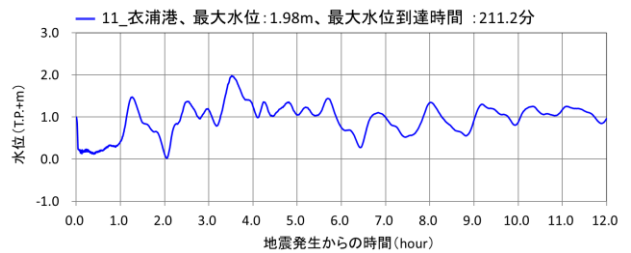
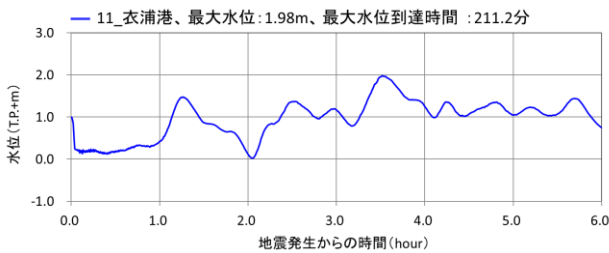
09\_師崎港



10\_師崎(検潮所)



11\_衣浦港



12\_河和港

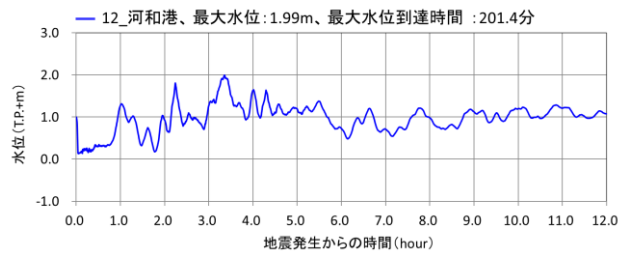
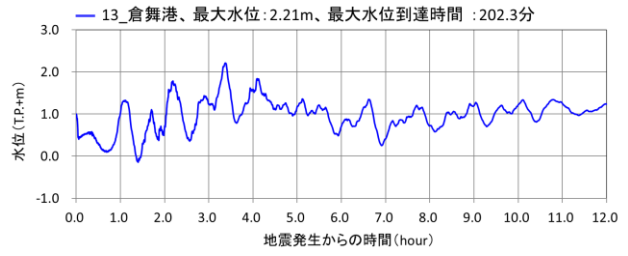
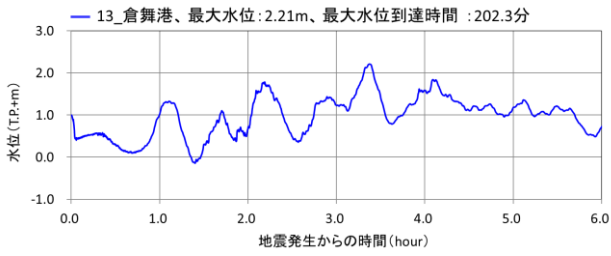


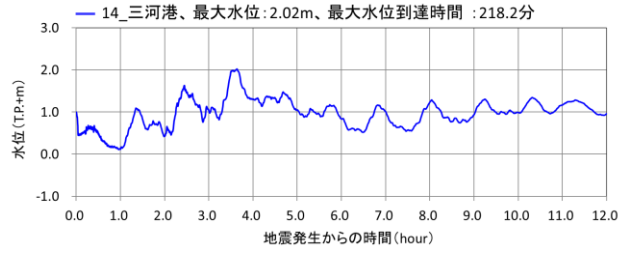
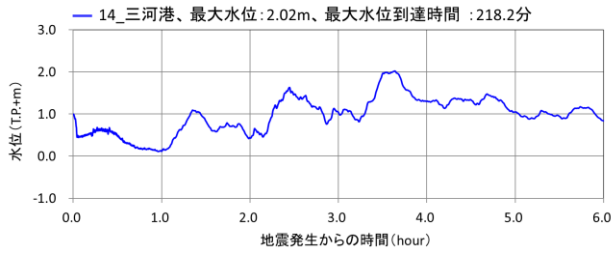
図 6-56(2) 津波波形時系列 (左側:6時間 右側:12時間) 理論上最大モデル(ケース⑦)

注) 最大水位(最高水位)は、陸からやや離れた位置における水位の最高値を示す。なお、地殻変動量は加味していない。いずれの波形も、0時に地盤変動(沈下)に伴って水位も数10cm低下している。

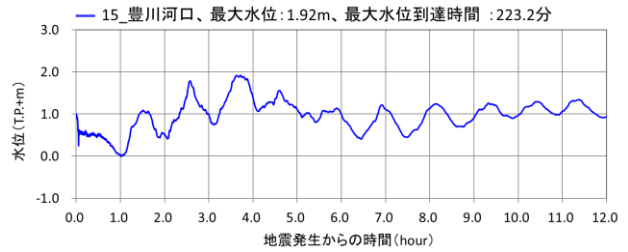
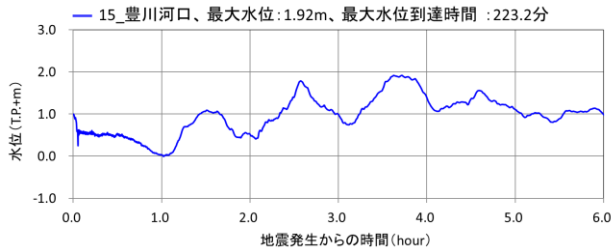
13\_倉舞港



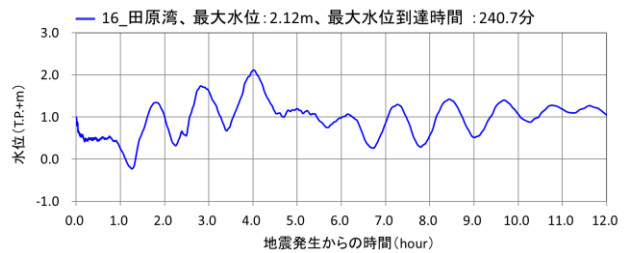
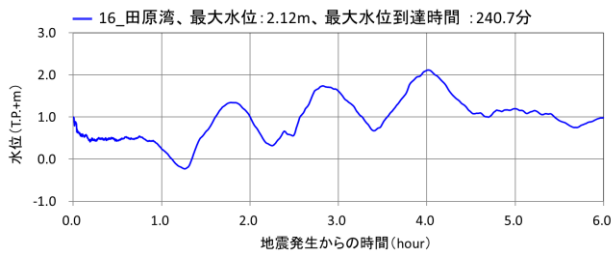
14\_三河港



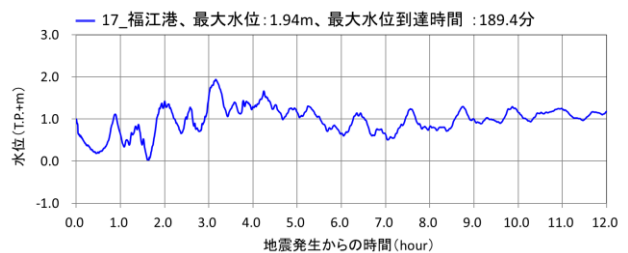
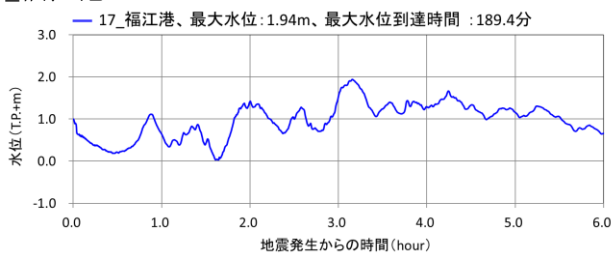
15\_豊川河口



16\_田原湾



17\_福江港



18\_福江

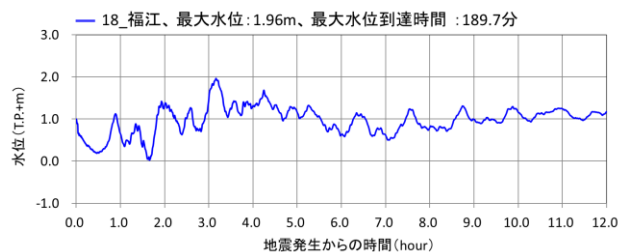
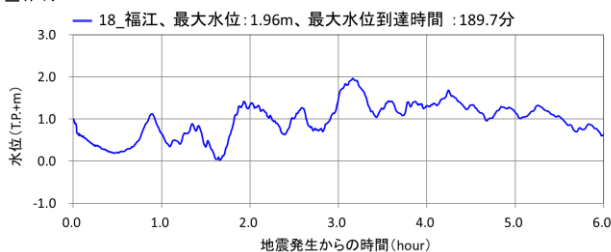
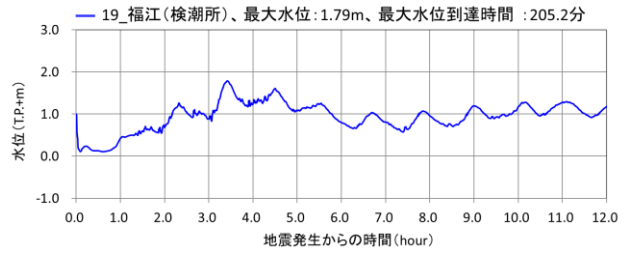
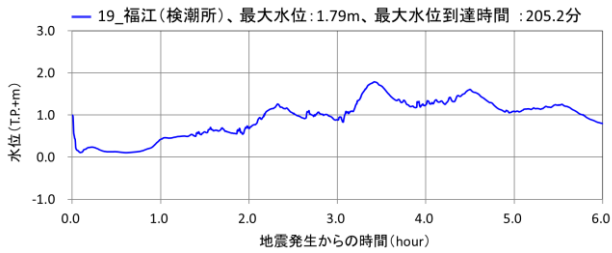


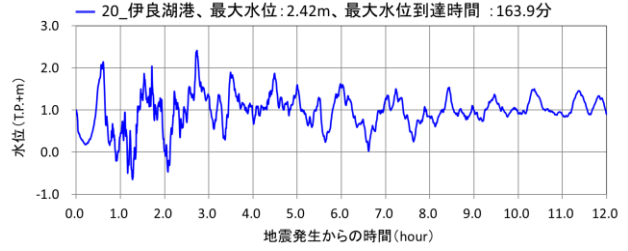
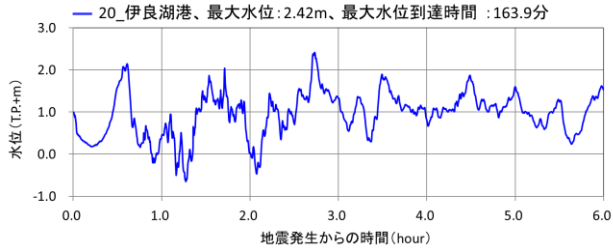
図 6-56(3) 津波波形時系列 (左側:6時間 右側:12時間) 理論上最大モデル (ケース⑦)

注) 最大水位 (最高水位) は、陸からやや離れた位置における水位の最高値を示す。なお、地殻変動量は加味していない。いずれの波形も、0時に地盤変動 (沈下) に伴って水位も数 10 cm 低下している。

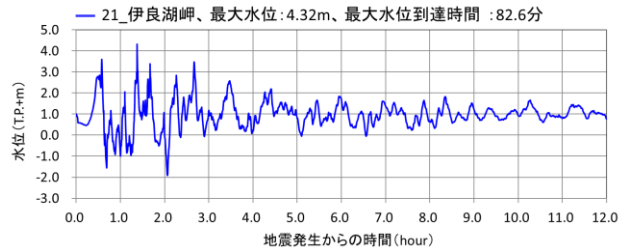
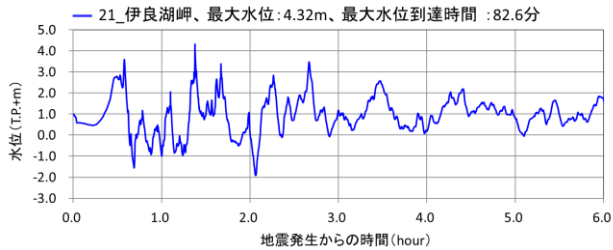
19\_福江 (検潮所)



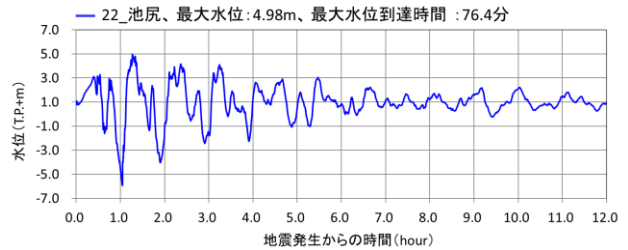
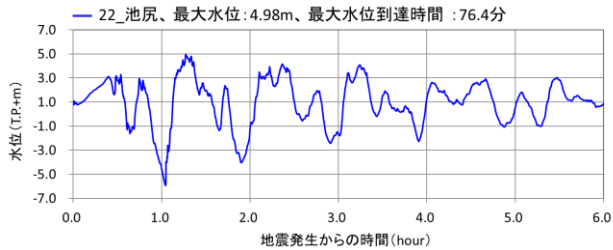
20\_伊良湖港



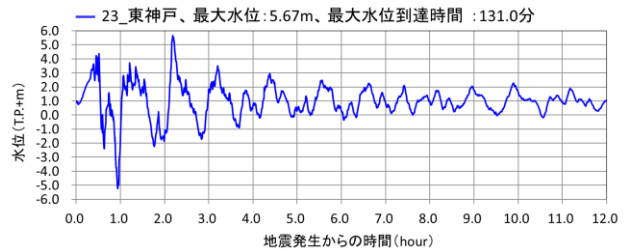
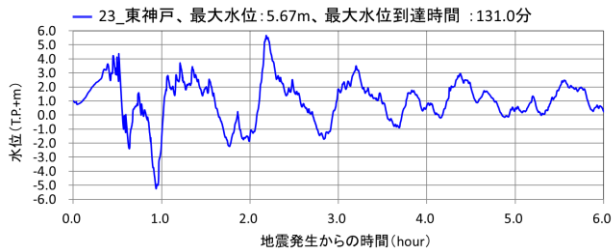
21\_伊良湖岬



22\_池尻



23\_東神戸



24\_小島

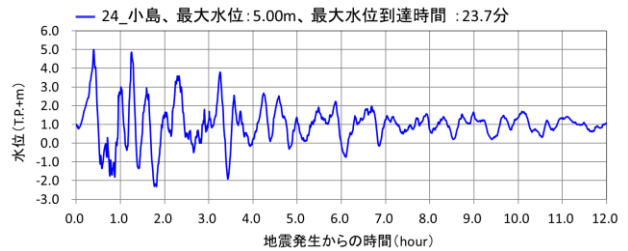
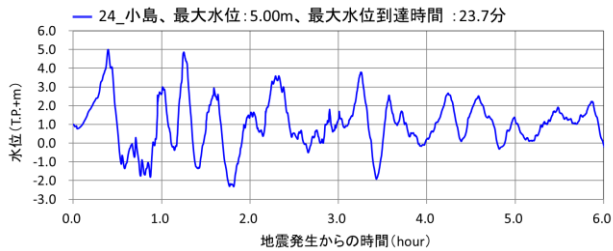


図 6-56(4) 津波波形時系列 (左側: 6 時間 右側: 12 時間) 理論上最大モデル (ケース⑦)

注) 最大水位 (最高水位) は、陸からやや離れた位置における水位の最高値を示す。なお、地殻変動量は加味していない。いずれの波形も、0 時に地盤変動 (沈下) に伴って水位も数 10 cm 低下している。

## 第2編 参考文献

- 愛知県(1997)：愛知県防災会議地震部会、愛知県活断層アトラス、平成9年9月.
- 愛知県(2014)：愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査報告書、平成26年5月.
- 飯田汲事(1978)：愛知県防災会議地震部会、昭和20年1月13日三河地震の震害と震度分布、昭和53年2月.
- 飯田汲事(1979)：愛知県防災会議地震部会、明治24年(1891年)10月28日濃尾地震の震害と震度分布、昭和54年.
- 一般社団法人 斜面防災対策技術協会「愛知県」、  
<https://www.jasdim.or.jp/gijutsu/kenbetsu/chiiki/aichi/aichi.html>、最終閲覧日：2026年4月27日
- 岩崎敏男、龍岡文夫、常田賢一、安田 進(1980)：地震時地盤液状化の程度の予測について、土と基礎、Vol. 28, No. 4, 23-29.
- 中央防災会議(2003)：「東南海、南海地震等に関する専門調査会」(第16回) 参考資料2 強震動と津波の高さの検討に関する資料集、平成15年12月16日.
- 亀井祐聡、森本 巖、安田 進、清水善久、小金井健一、石田栄介(2002)：東京低地における沖積砂質土の粒度特性と細粒分が液状化強度に及ぼす影響、地盤工学会論文報告集、Vol. 42, No. 4, 101-110.
- 近藤善教、坂田章吉、長沼和明、安江勝夫(1991)：日本の地盤 愛知県の地盤、地質と調査、2、28-43.
- 桑原 徹(1975)：濃尾傾動盆地と濃尾平野、URBAN KUBOTA, 11, 18-25.
- 建築基礎構造設計指針(2001)：日本建築学会、建築基礎構造設計指針、486p、2001年10月.
- 地震調査研究推進本部(2020)：震源断層を特定した地震の強震動予測手法(「レシピ」)
- 地震調査研究推進本部：愛知県の地震活動の特徴、  
[https://www.jishin.go.jp/regional\\_seismicity/rs\\_chubu/p23\\_aichi/](https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/rs_chubu/p23_aichi/)、最終閲覧日：2026年4月27日
- 童華南、山崎文雄(1996)：地震動強さ指標と新しい気象庁震度との対応関係、生産研究、Vol. 48, No. 11, 31-34.
- 内閣府(2012)：「南海トラフの巨大地震モデル検討会」(第二次報告)
- 内閣府(2015)：「南海トラフ沿いの巨大地震による長周期地震動に関する報告」
- 内閣府(2025)：「南海トラフ巨大地震モデル・被害想定手法検討会 地震モデル報告書」
- 日本道路協会(2025)：道路橋示方書・同解説(令和7年改訂版)、V上下部接続部編(耐震設計関係)

